

学 年

2

令和7年度

シラバス

令和7年度

# シラバス

SYLLABUS  
*for*  
STUDENTS



二

第2学年



日本歯科大学生命歯学部

日本歯科大学生命歯学部

番号		氏名	
----	--	----	--

令和7年度 第2学年  
シラバス Syllabus for students

本書の使い方	1
授業時間表	2
授業科目の履修時期と単位数	4
前学期授業科目	7
後学期授業科目	5 5



# 本書の使い方

本書は、学生諸君が履修すべき授業の概要をあらかじめ把握し、自ら積極的に受講する意欲を起こし、勉学の習慣を培うために作成した。

各授業を系統的に理解できるように、アウトラインをまとめてあるので、下記のとおり活用されたい。

## 記

- 1) 授業に際し、事前に該当授業のページに目を通しておくこと。
- 2) 授業に際し、本書を必ず持参し、必要に応じてチェックすること。
- 3) 欠席した場合には、該当授業のページを確認し、事後の補習に備えること。
- 4) やむを得ざる事情により休講した場合には、該当授業の変更を確認しておくこと。
- 5) 予習と復習の指針とすること。
- 6) 試験に際し、試験範囲等の系統的勉強の指針とすること。

※実務経験のある教員等による授業科目を示す。

なお、実務経験のある教員等による授業科目一覧は、シラバスの末尾部に示す。

## 令和7年度（第2学年 前学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時間 曜日	9:00 )	10:40 )	13:10 )	14:50 )	16:30 )
	10:30	12:10	14:40	16:20	18:00
月	微生物学 (高橋)	解剖学 (春原)	解剖学 (実習:春原)		※
火	スポーツ歯学 (統合:五味)	歯科理工学 (新谷)	生理学 (佐伯)	プロフェッショナリズム2 (菊池/添野)	※
水	生化学 (美原)	衛生・公衆衛生学 (講座代表者)	コミュニケーション概論 (実習:岩田)		※
木	歯学英语 (横山)	歯の解剖学 (春原/菊池)	歯の解剖学 (実習:春原/菊池)		※ 【編入学者】
金	薬理学 (筒井)	歯科法医学 (岩原)	組織学 (菊池)	臨床につなげる基礎学と教養 (菊池/添野)	※

- 1) 授業期間 令和7年4月4日(金)～令和7年7月18日(金)  
 (令和7年7月16日(水)～令和7年7月18日(金)は授業予備日)  
 (令和7年7月22日(火)～令和7年8月19日(火)は夏期休業)

2) 講 堂 142講堂

- 3) そ の 他 ①「※」は補講，特別授業，相互学習（ピア・サポート）等。  
 ②「※【編入学者】」は第1学年次科目「歯の解剖学」「病院医療概論」の補習。

## 令和7年度（第2学年 後学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時間 曜日	9:00 )	10:40 )	13:10 )	14:50 )	16:30 )
	10:30	12:10	14:40	16:20	18:00
月	病理学 (添野)	生命歯学探究 (添野/新谷)	生命歯学探究 (実習:添野/新谷)		※
火	衛生・公衆衛生学 (講座代表者)	歯科理工学 (新谷)	組織学 (菊池)	地域連携・在宅医療概論 (田村)	※
水	生理学 (佐伯)	生化学 (美原)	生化学 (実習:千葉)		※
木	薬理学 (筒井)	歯学英语 (横山)	生理学 (実習:佐伯)		※
金	微生物学 (高橋)	解剖学 (春原)	解剖学 (実習:春原)		※

- 1) 授業期間 令和7年9月22日(月)～令和7年12月23日(火)  
 令和8年1月5日(月)～令和8年1月9日(金)  
 (令和8年1月7日(水)～令和8年1月9日(金)は授業予備日)  
 (令和7年12月24日(水)～令和8年1月4日(日)は冬期休業)

2) 講 堂 142講堂

- 3) そ の 他 ①「※」は補講, 特別授業, 相互学習(ピア・サポート)等。  
 ②12月23日(火)は, 月曜日時間割を実施する。

4) 年間総合単位数 46.5単位

# 授業科目の履修時期と単位数

【2025年度第2学年以降】

授 業 科 目	単 位	1年		2年		3年		4年		5年		6年		学士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後			
心理学	3													
医療コミュニケーション学	1.5													
法学	1.5													
社会福祉学	1.5													
人類学	1.5													
医学英語	3													
国語表現	3													
数学	1.5													
スポーツ・健康学実技	1													
物理学	3													
化学	4.5													
化学実習	1													
生物学	4.5													
生物学実習	1													
医学統計学	1.5													
歯科医療情報学実習	1													
プロフェッショナルリズム1	1.5													
話し合い基盤型問題解決演習	1													
学習法基本概論	1.5													
病院医療概論	1.5													
食育学	1.5													
生命歯学概論	2													
発生と再生	1.5													
行動科学	1.5													
歯学英語	3													
解剖学	4.5													
解剖学実習	2													
歯の解剖学	3													
歯の解剖学実習	1													
組織学	4.5													
組織学実習	1													
生理学	4.5													
生理学実習	1													
生化学	4.5													
生化学実習	1													
微生物学	4.5													
微生物学実習	1													
薬理学	4.5													
薬理学実習	1													

授 業 科 目	単 位	1年		2年		3年		4年		5年		6年		学士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
衛生・公衆衛生学	3													
口腔保健学	3													
口腔衛生学	1.5													
衛生学・口腔衛生学実習	1													
歯科理工学	4.5													
歯科理工学実習	1													
病理学	4.5													
病理学実習	1													
スポーツ歯学	1													
プロフェッショナルリズム2	1.5													
臨床につながる基礎学と教養	1.5													
地域連携・在宅医療概論	1.5													
歯科法医学	1.5													
生命歯学探究	1.5													
生命歯学探究実習	1													
コミュニケーション概論実習	1													
歯科硬組織修復学	4.5													
歯科硬組織修復学実習	1													
歯内療法学	4.5													
歯内療法学実習	1													
歯周病学	4.5													
歯周病学実習	1													
全部床義歯補綴学	3													
全部床義歯補綴学実習	1													
部分床義歯補綴学	3													
部分床義歯補綴学実習	1													
歯冠補綴学	4.5													
歯冠補綴学実習	1													
口腔外科学	3													
口腔内科学	3													
口腔外科の基本手技実習	1													
歯科矯正学	3													
歯科矯正学実習	1													
小児歯科学	3													
小児歯科学実習	1													
歯科放射線学	4.5													
高齢者歯科学	1.5													
外科学	1.5													
内科学	1.5													
歯科麻酔・救急処置	3													

授 業 科 目	単 位	1年		2年		3年		4年		5年		6年		学 士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
総合基礎歯学	2								■					
統合臨床基礎学実習	1								■					
障害者歯科学	1								■					
口腔インプラント学	1.5								■					
総合歯科医学	3									■	■			
臨床実習	8									■	■			
基礎医学演習 1	1		■											
基礎医学演習 2	1				■									
総合基礎医学演習 1	1						■							
総合基礎医学演習 2	1							■						
臨床歯学探究	1										■			
総合科目①②③	3											■	■	
包括歯科医学①②	1													■

単位合計数	199.5単位
-------	---------

---

## 前学期授業科目

---

微生物学 .....	20
解剖学 .....	22
解剖学実習 .....	24
スポーツ歯学 .....	26
歯科理工学 .....	28
生理学 .....	30
プロフェッショナリズム2 .....	32
生化学 .....	34
衛生・公衆衛生学 .....	36
コミュニケーション概論実習 .....	38
歯学英语 .....	40
歯の解剖学 .....	42
歯の解剖学実習 .....	44
薬理学 .....	46
歯科法医学 .....	48
組織学 .....	50
臨床につなげる基礎学と教養 .....	52

(計 17科目)

Microbiology .....	20
Anatomy .....	22
Practice of Anatomy .....	24
Sports Dentistry .....	26
Dental Materials Science .....	28
Physiology .....	30
Professionalism .....	32
Biochemistry .....	34
Public Health .....	36
Introduction to Communication Practice .....	38
English for Dental Medicine .....	40
Oral Anatomy .....	42
Laboratory Practice in Dental Anatomy .....	44
Pharmacology .....	46
Forensic Dentistry .....	48
Histology .....	50
The course in fundamental education for clinical practices .....	52
(計 17科目)	

## 令和7年度（第2学年 前学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時間 曜日	9:00 )	10:40 )	13:10 )	14:50 )	16:30 )
	10:30	12:10	14:40	16:20	18:00
月	微生物学 (高橋)	解剖学 (春原)	解剖学 (実習:春原)		※
火	スポーツ歯学 (統合:五味)	歯科理工学 (新谷)	生理学 (佐伯)	プロフェッショナリズム2 (菊池/添野)	※
水	生化学 (美原)	衛生・公衆衛生学 (講座代表者)	コミュニケーション概論 (実習:岩田)		※
木	歯学英语 (横山)	歯の解剖学 (春原/菊池)	歯の解剖学 (実習:春原/菊池)		※ 【編入学者】
金	薬理学 (筒井)	歯科法医学 (岩原)	組織学 (菊池)	臨床につなげる基礎学と教養 (菊池/添野)	※

- 1) 授業期間 令和7年4月4日(金)～令和7年7月18日(金)  
 (令和7年7月16日(水)～令和7年7月18日(金)は授業予備日)  
 (令和7年7月22日(火)～令和7年8月19日(火)は夏期休業)

2) 講 堂 142講堂

- 3) その他 ①「※」は補講，特別授業，相互学習（ピア・サポート）等。  
 ②「※【編入学者】」は第1学年次科目「歯の解剖学」「病院医療概論」の補習。

# 準備学習 課題一覧

## 使い方

授業内容を確実に理解・修得できるよう、事前に各自で取り組んでおく課題を掲載します。各授業ユニットの受講前に確認・実施してください。単位科目の修得には、受講のみならず予習・復習を含めた十分な学習時間が必要です。

## 微生物学

月曜日 1限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	教科書「はじめに」「口絵」および p.2-11 を参照し予習する。	
ユニット2	配付資料および教科書 p.12-39 を参照し予習する。	
ユニット3	配付資料および教科書 p.20-21 40-46 を参照し予習する。	
ユニット4	配付資料および教科書 p.9-10 383-409 を参照し予習する。	
ユニット5	配付資料および教科書 p.370-382 を参照し予習する。	
ユニット6	配付資料および教科書 p.6-8 70-74 210-213 を参照し予習する。	
ユニット7	配付資料および教科書 p.216-226を参照し予習する。	
ユニット8	配付資料および教科書 p.48-52 58-64 217 232-235を参照し予習する。	
ユニット9	配付資料および教科書 p.28表2-3 p.53-56 を参照し予習する。	
ユニット10	配付資料および教科書 p.76-84を参照し予習する。	
ユニット11	配付資料および教科書 p.93-97を参照し予習する。	
ユニット12	配付資料および教科書 p.88-93を参照し予習する。	
ユニット13	配付資料および教科書 p.98-100を参照し予習する。	

## 解剖学

月曜日 2限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	口腔解剖学第3版P1-6を読み要点を確認する。	
ユニット2	口腔解剖学第3版P7-19を読み要点を確認する。	
ユニット3	口腔解剖学第3版P20-22を読み要点を確認する。	
ユニット4	口腔解剖学第3版P66-80を読み要点を確認する。	
ユニット5	口腔解剖学第3版P66-80を読み要点を確認する。	
ユニット6	口腔解剖学第3版P97-105を読み要点を確認する。	
ユニット7	口腔解剖学第3版P80-88を読み要点を確認する。	
ユニット8	口腔解剖学第3版P40-65を読み要点を確認する。	
ユニット9	口腔解剖学第3版P40-65を読み要点を確認する。	
ユニット10	口腔解剖学第3版P40-65を読み要点を確認する。	
ユニット11	口腔解剖学第3版P208-232を読み要点を確認する。	
ユニット12	口腔解剖学第3版P208-232を読み要点を確認する。	
ユニット13	ユニット1-12で学習した内容を改めて確認する。	

# 解剖学実習

月曜日 3・4限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	口腔解剖学第3版 P7-19を読み要点を確認する。	
ユニット2	口腔解剖学第3版 P9-13を読み要点を確認する。	
ユニット3	口腔解剖学第3版 P13-19を読み要点を確認する。	
ユニット4	Moodle上にあるレジメを読み要点を確認する。	
ユニット5	Moodle上にある解剖学実習室プリントを参照し、実習の手順を確認する。	
ユニット6	Moodle上にある解剖学実習室プリントを参照し、実習の手順を確認する。	
ユニット7	Moodle上にある解剖学実習室プリントを参照し、実習の手順を確認する。	
ユニット8	Moodle上にある解剖学実習室プリントを参照し、実習の手順を確認する。	
ユニット9	Moodle上にある解剖学実習室プリントを参照し、実習の手順を確認する。	
ユニット10	Moodle上にある解剖学実習室プリントを参照し、実習の手順を確認する。	
ユニット11	Moodle上にある解剖学実習室プリントを参照し、実習の手順を確認する。	
ユニット12	Moodle上にある解剖学実習室プリントを参照し、実習の手順を確認する。	
ユニット13	実習試験に向けた準備を行う。	

# スポーツ歯学

火曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット2	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット3	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット4	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット5	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット6	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット7	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット8	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット9	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット10	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット11	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット12	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット13	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	

# 歯科理工学

火曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	スタンダード歯科理工第8版の「歯科材料概論」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット2	スタンダード歯科理工第8版の「材料の種類と構造」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット3	スタンダード歯科理工第8版の「材料の性質」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット4	スタンダード歯科理工第8版の「生体材料の安全性と適合性」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット5	ユニット1～4の学習テーマについて復習する。	
ユニット6	スタンダード歯科理工第8版の「印象用材料」の「概要」、「印象採得の技術的考察」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット7	スタンダード歯科理工第8版の「印象用材料」の「寒天印象材」、「アルジネート印象材」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット8	スタンダード歯科理工第8版の「印象用材料」の「シリコーンゴム印象材」、「ポリエーテルゴム印象材」、「ポリサルファイドゴム印象材」、「酸化亜鉛ユージノール印象材」、「モデリングコンパウンド」、「ダイナミック印象材」、「咬合採得用材料」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット9	ユニット6～8の学習テーマについて復習する。	
ユニット10	スタンダード歯科理工第8版の「模型用材料」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット11	スタンダード歯科理工第8版の「義歯用材料」の「概要」、「床用レジン:加熱重合型床用メチルメタクリレートレジン」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット12	スタンダード歯科理工第8版の「義歯用材料」の「床用レジン:常温重合型床用メチルメタクリレートレジン、その他の床用レジン」、「人工歯」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット13	ユニット10～12の学習テーマについて復習する。	

# 生理学

火曜日 3 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	講義資料をダウンロードする。教科書p2-15を参考に要点を確認する。	
ユニット2	講義資料をダウンロードする。教科書p2-23, p50を参考に要点を確認する。	
ユニット3	講義資料をダウンロードする。教科書p23-42, p50を参考に要点を確認する。	
ユニット4	講義資料をダウンロードする。教科書第10章(p180-220)を参考に要点を確認する。	
ユニット5	講義資料をダウンロードする。教科書第10章(p180-220)を参考に要点を確認する。	
ユニット6	講義資料をダウンロードする。教科書p279-294を参考に要点を確認する。	
ユニット7	教科書, 講義資料等に目を通してこれまでの授業内容を把握する。	
ユニット8	講義資料をダウンロードする。教科書p42-50を参考に要点を確認する。	
ユニット9	講義資料をダウンロードする。教科書p356-372, p379-399を参考に要点を確認する。	
ユニット10	講義資料をダウンロードする。教科書p322-355を参考に要点を確認する。	
ユニット11	講義資料をダウンロードする。教科書p192-206, p220を参考に要点を確認する。	
ユニット12	講義資料をダウンロードする。教科書第24章(p426-441)を参考に要点を確認する。	
ユニット13	講義資料をダウンロードする。教科書p76-102を参考に要点を確認する。	

# プロフェッショナルリズム 2

火曜日 4 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	観察する, 推察する, 思考する, 伝える, とはどういうことか調べる。	
ユニット2	論理的に考える, 多面的に考える, 批判的に考える, について整理する。	
ユニット3	ストレスについて調べる。	
ユニット4	キャリア, 働き方(ワーク・ライフ・バランス)について調べる。	
ユニット5	PMDAについて調べる。	
ユニット6	前ユニットで学んだ内容を踏まえて周辺情報を調べる。	
ユニット7	これまでに学んだ「プロフェッション」について整理する。	
ユニット8	これまでに学んだ「プロフェッション」について整理する。	
ユニット9	ユニット4で学んだ内容を踏まえて歯科医師のキャリアについて考える。	
ユニット10	健康, 健康格差について調べる。	
ユニット11	SDHについて調べる。	
ユニット12	日本の医療, 他国の医療, 医療に関わる国際協力について調べる。	
ユニット13	日本の医療, 他国の医療, 医療に関わる国際協力について調べる。	

# 生化学

水曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	生体を構成する無機化合物, 特に微量成分の機能に関して学習しておく。	
ユニット2	「イラストレイテッド生化学」p.1~10を読んで要点を確認する。	
ユニット3	「イラストレイテッド生化学」p.15~23を読んで要点を確認する。	
ユニット4	「イラストレイテッド生化学」p.67~71を読んで要点を確認する。	
ユニット5	「イラストレイテッド生化学」p.71~73を読んで要点を確認する。	
ユニット6	「イラストレイテッド生化学」p.73~80を読んで要点を確認する。	
ユニット7	「イラストレイテッド生化学」p.107~114を読んで要点を確認する。	
ユニット8	「イラストレイテッド生化学」p.118から137を読んで要点を確認する。	
ユニット9	「イラストレイテッド生化学」p.93~104, p.141~149を読んで要点を確認する。	
ユニット10	「イラストレイテッド生化学」p.165~178を読んで要点を確認する。	
ユニット11	「イラストレイテッド生化学」p.153~161, p.193~200を読んで要点を確認する。	
ユニット12	「イラストレイテッド生化学」p.227~234, p.246~251, p.295~307を読んで要点を確認する。	
ユニット13	「イラストレイテッド生化学」p.237~245, p.253~258を読んで要点を確認する。	

# 衛生・公衆衛生学

水曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット2	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット3	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット4	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット5	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット6	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット7	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット8	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット9	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット10	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット11	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット12	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット13	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	

# コミュニケーション概論実習

水曜日 3・4限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	医療におけるコミュニケーションの重要性について調べ、自分の考えを発言できるようにしておく。	
ユニット2	尊敬語、謙譲語、丁寧語について調べる。前回学習した内容を踏まえて、歯科医療に従事する者として必要な態度について内省し、発言できるようにしておく。	
ユニット3	前回までに学習した内容を踏まえて、歯科医療に従事する者として必要な態度について内省し、発言できるようにしておく。	
ユニット4	前回までに学習した内容を踏まえて、歯科医療に従事する者として必要な態度について内省し、発言できるようにしておく。	
ユニット5	前回までに学習した内容を踏まえて、歯科医療に従事する者として必要な態度について内省し、発言できるようにしておく。	
ユニット6	コーチングについて調べる。前回までに学習した内容を踏まえて、歯科医療に従事する者として必要な態度について内省し、発言できるようにしておく。	
ユニット7	前回までに学習した内容を踏まえて、歯科医療に従事する者として必要な態度について内省し、発言できるようにしておく。	
ユニット8	前回までに学習した内容を踏まえて、歯科医療に従事する者として必要な態度について内省し、発言できるようにしておく。	
ユニット9	論文「失語症のある人のための意思疎通支援」を読んでおく。 <a href="https://www.niph.go.jp/journal/data/66-5/201766050007.pdf">https://www.niph.go.jp/journal/data/66-5/201766050007.pdf</a>	
ユニット10	前回までに学習した内容を踏まえて、歯科医療に従事する者として必要な態度について内省し、発言できるようにしておく。	
ユニット11	前回までに学習した内容を踏まえて、歯科医療に従事する者として必要な態度について内省し、発言できるようにしておく。	
ユニット12	前回までに学習した内容を踏まえて、歯科医療に従事する者として必要な態度について内省し、発言できるようにしておく。	
ユニット13	前回までに学習した内容を踏まえて、歯科医療に従事する者として必要な態度について内省し、発言できるようにしておく。	

## 歯学英语

木曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	歯科学生のための医学英語『Dental Terminology』の項を確認する。	
ユニット2	歯科学生のための医学英語『Oral Hygiene』の項を確認する。	
ユニット3	歯科学生のための医学英語『Oral Hygiene』の項を確認する。	
ユニット4	歯科学生のための医学英語『Toothache』の項を確認する。	
ユニット5	歯科学生のための医学英語『Toothache』の項を確認する。	
ユニット6	歯科学生のための医学英語『Severe Dental Anxiety』の項を確認する。	
ユニット7	歯科学生のための医学英語『Severe Dental Anxiety』の項を確認する。	
ユニット8	歯科学生のための医学英語『Periodontal Disease』の項を確認する。	
ユニット9	歯科学生のための医学英語『Periodontal Disease』の項を確認する。	
ユニット10	歯科学生のための医学英語『Dental Implant』の項を確認する。	
ユニット11	歯科学生のための医学英語『Dental Implant』の項を確認する。	
ユニット12	歯科学生のための医学英語『Cleft Lip』の項を確認する。	
ユニット13	歯科学生のための医学英語『Cleft Lip』の項を確認する。	

## 歯の解剖学

木曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	「歯の解剖学 第22版」p35-59を一読する。	
ユニット2	「歯の解剖学 第22版」p59-78を一読する。	
ユニット3	「歯の解剖学 第22版」p78-109を一読する。	
ユニット4	「歯の解剖学 第22版」p137-156を一読する。	
ユニット5	レジュメをダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット6	レジュメをダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット7	口腔解剖学第3版p106-107, 口腔顎顔面解剖ノート第2版の2, 3, 4, 5を読み要点を確認する。	
ユニット8	口腔顎顔面解剖ノート第2版の15, 16(余裕があれば2, 3, 8も)を読み骨の名称を確認する。	
ユニット9	口腔顎顔面解剖ノート第2版の18, 19(余裕があれば3, 6, 7も)を読み骨の名称を確認する。	
ユニット10	口腔顎顔面解剖ノート第2版の2, 3, 6, 7, 8を読み骨の名称および管, 孔, 裂を確認する。	
ユニット11	口腔顎顔面解剖ノート第2版の8, 13, 14, 17, 19(余裕があれば2, 7も)を読み骨の名称を確認する。	
ユニット12	口腔解剖学第3版p143-148を読み要点を確認する。	
ユニット13	口腔解剖学第3版p139, p258-260口腔顎顔面解剖ノート第2版の20を読み要点を確認する。	

# 歯の解剖学実習

木曜日 3・4限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p53, 54を読み、ノギスとエバンスの使い方を一読する。	
ユニット2	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p20, p52-60を読み、歯の計測、展開図の作製、上顎右側中切歯の形態について確認する。	
ユニット3	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p20, p52-60を読み、上顎右側中切歯の形態、歯型彫刻法について確認する。	
ユニット4	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p20-24, 上下顎中切歯、側切歯、犬歯の形態について確認する。	
ユニット5	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p25-26, p109-116を読み、上顎右側第一小臼歯の形態、歯型彫刻法について確認する。	
ユニット6	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p25-29を読み、上下顎小臼歯の形態について確認する。	
ユニット7	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p28-29, p147-155を読み、上顎右側第一大臼歯の形態、歯型彫刻法について確認する。	
ユニット8	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p28-30を読み、上顎大臼歯の形態について確認する。	
ユニット9	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p30-31, p167-175を読み、下顎右側第一大臼歯の形態、歯型彫刻法について確認する。	
ユニット10	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p30-32を読み、下顎大臼歯の形態について確認する。	
ユニット11	「歯の解剖学 第22版」p35-111, 「歯の解剖学と歯型彫刻法」p20-32を読み、要点を確認する。	
ユニット12	ユニット2から10までの実習内容を復習する。	
ユニット13	「歯の解剖学 第22版」p113-136を読み、要点を確認する。	

# 薬理学

金曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	歯科薬物療法学 p1-4, p13-17 を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット2	歯科薬物療法学 p5-12 を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット3	歯科薬物療法学 p18-24 を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット4	歯科薬物療法学 p18-24 を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット5	歯科薬物療法学 p25-34 を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット6	歯科薬物療法学 p25-34 を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット7	歯科薬物療法学 p35-40 を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット8	歯科薬物療法学 p40-47 を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット9	歯科薬物療法学 p47-51 を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット10	中間試験の準備をする。Key Words (p56-57の範囲)を理解する。	
ユニット11	歯科薬物療法学 p57-61 を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット12	歯科薬物療法学 p63-75 を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット13	歯科薬物療法学 p81-89 を読み, Key Wordsを理解する。	

# 歯科法医学

金曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	「臨床法医学テキスト 第2版」(以下, 教科書とする)p3の「個体死」とmoodleにあげる「死亡診断書(死体検案書)記入マニュアル」を確認する。	
ユニット2	教科書p21-23の「病死体と異状死体(変死体)」を確認する。	
ユニット3	教科書p37-46の「早期死体現象」「晩期(後期)死体現象」を確認する。	
ユニット4	教科書p46-52の「特殊(異常)死体現象」「晩期(後期)死体現象」を確認する。	
ユニット5	教科書p168-174の「子どもの虐待をめぐって」を読み, 虐待死の実態を確認する。	
ユニット6	教科書p206-209の「身体的虐待, ネグレクトの歯科的評価」を読み, 歯科医師が行える対応を確認する。	
ユニット7	教科書p121-124の「窒息の基礎」「窒息と窒息死の機序」を確認する。	
ユニット8	教科書p71-78の「損傷の一般的事項」「鈍的創傷」「鋭器による創傷」を読み, 自分が経験した損傷について考える。	
ユニット9	moodleにあげる資料を確認し, 個人識別に有用な自分の特徴点を考える。	
ユニット10	moodleにあげる資料を確認し, 個人識別に有用な自分の歯科的特徴点を考える。	
ユニット11	moodleにあげる資料を確認する。	
ユニット12	moodleにあげる資料を確認し, 被災者(生体)の状況を考える。	
ユニット13	moodleにあげる資料を確認する。	

# 組織学

金曜日 3限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p5-47を読み、要点を確認する。	
ユニット2	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p5-47を読み、要点を確認する。	
ユニット3	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p49-68を読み、要点を確認する。	
ユニット4	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p69-83を読み、要点を確認する。	
ユニット5	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p147-171を読み、要点を確認する。	
ユニット6	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p83-88を読み、要点を確認する。	
ユニット7	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p88-95, p318-321を読み、要点を確認する。	
ユニット8	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p97-109を読み、要点を確認する。	
ユニット9	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p111-126を読み、要点を確認する。	
ユニット10	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p111-126を読み、ユニット9と関連付けて、要点を確認する。	
ユニット11	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p127-146を読み、要点を確認する。	
ユニット12	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p173-177,p184-190を読み、要点を確認する。	
ユニット13	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p177-184,p190-195を読み、要点を確認する。	

# 臨床につながる基礎学と教養

金曜日 4限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	
ユニット2	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	
ユニット3	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	
ユニット4	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	
ユニット5	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	
ユニット6	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	
ユニット7	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	
ユニット8	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	
ユニット9	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	
ユニット10	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	
ユニット11	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	
ユニット12	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	
ユニット13	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	

# 微生物学

月曜日 9:00~10:30

## 本学期的学習目標 (GIO)

微生物学の基本的な理解のために、細菌の分類、形態、生化学、遺伝学について知る。また、化学療法、滅菌・消毒、宿主側の生体防御機構と寄生体側の病原因子について理解する。その上で、微生物学各論で、個々の微生物の形態、構造、機能、病原因子を理解し、疾患の診断、治療、及び予防を行うのに必要な知識を修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

石原和幸 他 編集	口腔微生物学	第8版	学建書院
-----------	--------	-----	------

## 担当者一覧

高橋幸裕, 才木桂太郎, 田代有美子

## 学習方略

- 講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [50%]       論述試験 [40%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 (小テスト [10%])

## オフィスアワー

日時: 月~金 16:30~18:00  
場所: 本館5階 微生物学研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月7日	高橋 幸裕	ユニット1: 微生物学入門	1) 微生物学とは何かを述べる。 2) 病原微生物学の歴史を記述する。
4月14日	才木桂太郎	ユニット2: 細菌の分類・形態と生理・生化学	1) 細菌の分類と形態を説明する。 2) 細菌の微細構造について列記する。 3) エネルギー代謝について述べる。 4) 増殖と培養について説明する。 5) 鞭毛運動と走化性について述べる。
4月21日	才木桂太郎	ユニット3: 遺伝と分子生物学	1) 遺伝子の複製と形質発現について述べる。 2) プラスミドとファージを記述する。 3) 遺伝子の伝播について説明する。 4) 代謝の遺伝的調節について説明する。
5月12日	才木桂太郎	ユニット4: 化学療法	1) 抗菌薬の種類を列挙する。 2) 抗菌薬の作用機序について述べる。 3) 抗菌薬耐性の機序を述べる。 4) 抗菌薬耐性の遺伝学について記述する。
5月19日	才木桂太郎	ユニット5: 滅菌・消毒	1) 滅菌と消毒について述べる。 2) バイオハザードについて述べる。 3) 院内感染について知る。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月26日	才木桂太郎	ユニット6：免疫・生体防御学入門	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 免疫学の発達の歴史を述べる。</li> <li>2) 免疫の概念について説明する。</li> <li>3) 自然免疫と獲得免疫の異同を記述する。</li> </ol>
6月2日	才木桂太郎	ユニット7：感染と感染症・生体防御	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 感染と感染症について説明する。</li> <li>2) 自然免疫の種類と機能の概要について述べる。</li> <li>3) 獲得免疫の種類と機能の概要について述べる。</li> </ol>
6月9日	才木桂太郎	ユニット8：細菌の病原性	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 寄生体側から見た細菌のビルレンス（病原性）の概要について述べる。</li> <li>2) 付着因子，侵入因子，抵抗性因子を分類する。</li> <li>3) 付着因子，侵入因子，抵抗性因子の病原性を説明する。</li> </ol>
6月16日	才木桂太郎	ユニット9：内毒素・外毒素	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 内毒素と外毒素を比較する。</li> <li>2) 内毒素の構造を説明する。</li> <li>3) 内毒素の病原性を説明する。</li> <li>4) 外毒素を分類する。</li> <li>5) 外毒素の病原性と作用機序を説明する。</li> </ol>
6月23日	田代有美子	ユニット10：グラム陽性球菌	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) <i>Staphylococcus</i>属，化膿レンサ球菌，肺炎レンサ球菌の基本的な構造と性状を説明する。</li> <li>2) <i>Staphylococcus</i>属，化膿レンサ球菌，肺炎レンサ球菌の感染機構と病原性を説明する。</li> <li>3) <i>Staphylococcus</i>属，化膿レンサ球菌，肺炎レンサ球菌による感染症の種類，予防，診断および治療を説明する。</li> </ol>
6月30日	田代有美子	ユニット11：グラム陽性桿菌-1	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ジフテリア菌，リステリア，放線菌の基本的な構造と性状を説明する。</li> <li>2) ジフテリア菌，リステリア，放線菌の感染機構と病原性を説明する。</li> <li>3) ジフテリア，リステリア症，放線菌症の予防，診断および治療を説明する。</li> </ol>
7月7日	田代有美子	ユニット12：グラム陽性桿菌-2	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 破傷風菌，ボツリヌス菌，ウエルシュ菌，炭疽菌の基本的な構造と性状を説明する。</li> <li>2) 破傷風菌，ボツリヌス菌，ウエルシュ菌，炭疽菌の感染機構と病原性を説明する。</li> <li>3) 破傷風，ボツリヌス食中毒，ガス壊疽，炭疽の予防，診断および治療を説明する。</li> </ol>
7月14日	田代有美子	ユニット13：抗酸菌	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) <i>Mycobacterium</i>属の基本的な構造と性状を説明する。</li> <li>2) 結核菌の感染機構と病原性を説明する。</li> <li>3) 結核，ハンセン病，非定型抗酸菌症の予防，診断および治療を説明する。</li> </ol>

# 解剖学

月曜日 10:40~12:10

## 本学期的学習目標 (GIO)

医の倫理・生命の尊厳をふまえ、人体の正常構造と機能について系統的に学び、人体の正常構造を3次元的に理解する。  
解剖学用語の基礎を学び、人体を構成する骨・筋・神経・内臓の正常構造と機能を理解する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
前田健康 他編	口腔解剖学	第2版	医歯薬出版
阿部伸一 他編	口腔顎顔面解剖ノート	第1版	学建書院
坂井建雄 他訳	プロメテウス解剖学アトラス 口腔・頭頸部	第2版	医学書院
伊藤 隆 著	解剖学講義	第3版	南山堂
竹内修二 著	解剖トレーニングノート	第7版	医学教育出版社

## 担当者一覧

春原正隆, 井出吉昭, 鈴木金吾, 前田祐貴, 坂井建雄

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [90%]       論述試験 [10%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 毎週月曜日 16:30~18:00  
場所: 本館3階 解剖学第1講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
4月7日	春原 正隆	ユニット1: 解剖学総論, 骨学総論	1) 系統解剖学の概要を説明する。 2) 解剖学用語を列記する。 3) 骨学の概要を説明する。
4月14日	鈴木 金吾	ユニット2: 全身の骨	1) 体幹 (頭部を除く) の骨の名称と形態学的特徴を説明する。 2) 上肢・下肢の骨の名称と形態学的特徴を説明する。 3) 関節の基本構造を説明する。 4) 全身の主要な関節を列挙する。
4月21日	前田 祐貴	ユニット3: 筋学総論, 全身の筋	1) 筋学の概要を説明する。 2) 体幹 (頭部を除く) を構成する筋の名称と形態学的特徴を説明する。 3) 上肢・下肢の筋の名称と形態学的特徴を説明する。
5月12日	井出 吉昭	ユニット4: 神経学総論, 中枢神経系	1) 神経学の概要を説明する (神経系の分類, 神経系の組織構造)。 2) 中枢神経系の概要を説明する。 3) 脳の区分と構造を説明する。 4) 脳室と脳脊髄液を説明する。 5) 大脳の構造を説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標 (SB0s)
5月19日	井出 吉昭	ユニット5：中枢神経系, 末梢神経系	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 脳幹の構造と脳神経核の位置を説明する。</li> <li>2) 脊髄の構造を説明する。</li> <li>3) 伝導路の経路とその意義を説明する。</li> <li>4) 大脳皮質の機能局在について説明する。</li> <li>5) 末梢神経系の概要を説明する。</li> <li>6) 脊髄神経の名称と走行を説明する。</li> <li>7) 自律神経の概要を説明する。</li> </ul>
5月26日	鈴木 金吾	ユニット6：内臓学総論, 消化器系	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 内臓学の概要を説明する。</li> <li>2) 消化管について説明する。</li> <li>3) 消化腺について説明する。</li> </ul>
6月2日	井出 吉昭	ユニット7：脳神経の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 脳神経の概要を説明する。</li> <li>2) 脳神経の走行と主な働きを説明する。</li> <li>3) 脳神経が通る頭蓋底の孔を列記する。</li> </ul>
6月9日	坂井 建雄	ユニット8：脈管学総論, 心臓, 動脈	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 脈管学の概要を説明する。</li> <li>2) 心臓の構造を説明する。</li> <li>3) 全身の主要な動脈を説明する。</li> </ul>
6月16日	坂井 建雄	ユニット9：動脈, 静脈, リンパ系	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 全身の主要な動脈を説明する。</li> <li>2) 全身の主要な静脈を説明する。</li> <li>3) リンパ系の概要を説明する。</li> </ul>
6月23日	春原 正隆	ユニット10：脈管のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 心臓の構造を説明する。</li> <li>2) 全身の主要な動脈を説明する。</li> <li>3) 全身の主要な静脈を説明する。</li> <li>4) リンパ系の概要を説明する。</li> </ul>
6月30日	春原 正隆	ユニット11：頭頸部の内臓①	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 口腔の区分と構造を説明する。</li> <li>2) 舌の構造と神経支配を説明する。</li> <li>3) 唾液腺の構造と支配神経を説明する。</li> </ul>
7月7日	春原 正隆	ユニット12：頭頸部の内臓②	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 口蓋の構造を説明する。</li> <li>2) 口蓋の筋の構造と支配神経を説明する。</li> <li>3) 咽頭の構造を説明する。</li> <li>4) 咽頭の筋を説明する。</li> <li>5) 喉頭の構造を説明する。</li> <li>6) 喉頭の筋を説明する。</li> </ul>
7月14日	春原 正隆	ユニット13：総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 学習項目を列記する。</li> <li>2) 各項目の理解度を調べる。</li> <li>3) 習得した知識を適用する。</li> </ul>

# 解剖学実習

月曜日 13:10~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

解剖学実習を通じ、献体の理念と意義、生命の尊厳および医の倫理を学び、全身の骨、筋、脈管、神経および頭頸部の諸構造の形態的特徴と機能を理解する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
J. W. Rohen 他著	解剖学カラーアトラス	原書第8版	医学書院
前田健康 他編	口腔解剖学	第2版	医歯薬出版
阿部伸一 他編	口腔顎顔面解剖ノート	第1版	学建書院
坂井建雄 他訳	プロメテウス解剖学アトラス 口腔・頭頸部	第2版	医学書院
伊藤 隆 著	解剖学講義	第3版	南山堂
竹内修二 著	解剖トレーニングノート	第7版	医学教育出版社

## 担当者一覧

春原正隆, 井出吉昭, 鈴木金吾, 前田祐貴, 上野隆治, 山下恭嗣, 坂井建雄, 隅田由香, 河合泰輔, 小倉 晋

## 学習方略

- 講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [40%]       論述試験 [--%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [10%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 (提出物 [50%])

## オフィスアワー

日時: 毎週金曜日 16:30~18:00  
 場所: 本館3階 解剖学第1講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月7日	鈴木 金吾 井出 吉昭	ユニット1: 骨学実習 (全身の骨格, 頭蓋骨)	1) 全身の骨格を構成する骨の名称を列挙する。 2) 頭蓋骨15種23個を説明する。
4月14日	鈴木 金吾 井出 吉昭	ユニット2: 骨学実習 (体幹の骨格, 頭蓋骨)	1) 椎骨の部位の名称を列挙する。 2) 椎骨の基本的な形態を説明する。 3) 胸郭の構成要素と骨名を説明する。 4) 体幹の主要な関節の名称と構成要素を説明する。 5) 頭蓋骨15種23個を説明する。
4月21日	鈴木 金吾	ユニット3: 骨学実習 (体肢の骨格)  <講堂> 画像問題演習	1) 上肢・下肢を構成する骨の名称を列挙する。 2) 上肢・下肢の骨の形態を説明する。 3) 体肢の主要な関節の名称と構成要素を説明する。
5月12日	坂井 建雄	ユニット4: 解剖学実習入門 (講堂)	1) 人体解剖の歴史を説明する。 2) 献体の理念と意義を説明する。 3) 医の論理と献体を関連づける。 4) 解剖学実習における注意事項を述べる。
5月19日	春原 正隆	ユニット5: 体幹, 上・下肢の剥皮  <講堂> 画像問題演習	1) 人体の指標となる部位を体表で調べる。 2) 体幹, 上・下肢の剥皮を実施する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月26日	春原 正隆	ユニット6：体幹，上・下肢の皮静脈，皮神経の観察	1) 皮静脈の走行を調べる。 2) 皮神経の走行を調べる。
		<講堂> 画像問題演習	
6月2日	春原 正隆	ユニット7：体幹，上・下肢浅層の筋の観察	1) 上・前腕浅層の屈筋と伸筋を調べる。 2) 大腿浅層の伸筋，屈筋，内転筋を調べる。 3) 下腿浅層の伸筋，屈筋，腓骨筋を調べる。 4) 大胸筋の起始と停止について調べる。 5) 腹直筋について調べる。 6) 外腹斜筋について調べる。 7) 寛骨外筋浅層の大殿筋を調べる。
		<講堂> 画像問題演習	
6月9日	春原 正隆	ユニット8：体幹，上・下肢深層の筋の観察	1) 上・前腕深層の屈筋と伸筋を調べる。 2) 大腿浅層の伸筋，屈筋，内転筋を調べる。 3) 下腿浅層の伸筋，屈筋を調べる。 4) 側腹筋の起始と停止について調べる。 5) 側腹筋と腹直筋群について調べる。 6) 開胸・開腹の準備として大胸筋，小胸筋と側腹筋を切断する。 7) 寛骨外筋浅層の中・小殿筋と梨状筋を調べる。
		<講堂> 特別講義：顎顔面補綴にかかわる解剖学（隅田由香先生 歯科補綴学第1講座）	
6月16日	春原 正隆	ユニット9：開胸・開腹	1) 鎖骨を外し，鎖骨下にある動・静脈の走行について調べる。 2) 開胸・開腹を実施する。 3) 胸膜・心膜・腹膜について調べる。 4) 心臓・肺・肝臓・胃・小腸・大腸の位置関係について調べる。
		<講堂> 画像問題演習	
6月23日	春原 正隆	ユニット10：頭頸部の剥皮	1) 頭頸部の剥皮を行う。 2) 頭頸部皮静脈の走行を調べる。 3) 頭頸部皮神経の走行を調べる。
		<講堂> 画像問題演習	
6月30日	春原 正隆	ユニット11：頭頸部浅層の観察	1) 主な顔面筋（表情筋）を剖出する。 2) 顔面筋（表情筋）と顔面神経との関係を調べる。 3) 胸鎖乳突筋と支配神経について調べる。 4) 耳下腺・顎下腺の位置と形態を確認する。
		<講堂> 画像問題演習	
7月7日	春原 正隆	ユニット12：頭頸部の深層の観察	1) 咀嚼筋を剖出する。 2) 総頸動脈，外・内頸静脈，迷走神経の3次元的位置関係と走行について調べる。 3) 外頸動脈の分枝を剖出する。
		<講堂> 特別講義：解剖学と歯科インプラント（河合泰輔先生，歯科放射線学講座／小倉晋先生，口腔インプラント診療科）	
7月14日	春原 正隆	ユニット13：まとめ（講堂）	1) 献体の意義を説明する。 2) 剖出部の名称を列挙する。 3) CBT形式で実習試験を実施する。

## 本学期的学習目標 (GIO)

従来の歯科医療にスポーツ医学の知識を加えた健康歯科医学として理解するために、スポーツ歯学についての知識を修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
上野俊明 他 編	要説 スポーツ歯科医学	第2版	医学情報社
編集 日本スポーツ歯科医学会	スポーツ歯科臨床マニュアル	第1版	医学情報社
石上恵一 編著	カスタムメイドタイプ 新マウスガードのつくり方	第1版	医学情報社
大山喬史 監修	実践スポーツマウスガード	第1版	医学情報社

## 担当者一覧

五味治徳, 安井利一, 森谷順子, 塩谷伊毅, 山瀬 勝, 松野智宣, 北村和夫, 石垣佳希, 白瀬敏臣, 高橋 睦, 宮下 渉

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [70%]     論述試験 [30%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 第1, 第3火曜日 16:30~17:30  
 場所: 歯科補綴学第2講座 (100周年記念館4階)

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
4月8日	安井 利一	ユニット1: スポーツ歯学の概要	1) スポーツ歯学の概要を説明する。(B-1)-① 2) スポーツデンティストの役割を説明する。(A-5-1)-② 3) スポーツ医・科学サポートの概要を述べる。(B-1)-① 4) 運動・スポーツと生活習慣病との関わりを説明する。(B-1)-②
4月15日	森谷 順子	ユニット2: スポーツのための栄養補給	1) スポーツのための栄養の目的と特徴を説明する。(B-1)-③ 2) 一般的なスポーツ選手の食事を説明する。(B-1)-③
4月22日	塩谷 伊毅	ユニット3: ドーピング・コントロール	1) 禁止物質を列挙する。(C-6-1)-① 2) ドーピング防止プログラムを説明する。(C-6-4)-①
5月13日	山瀬 勝	ユニット4: スポーツのためのデンタルチェック	1) デンタルチェックの目的と意義を理解する。(E-1-1)-① 2) デンタルチェックの診査および検査項目を説明する。(E-1-1)-⑥

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月20日	安井 利一	ユニット5：咬合と全身との関わり	1) 神経・筋機能および平衡機能の運動生理を説明する。(E-2-1)-③) 2) 咬合と運動機能ならびに平衡機能との関係を説明する。(E-2-2)-④)
5月27日	松野 智宣	ユニット6：口腔顎顔面領域のスポーツ障害(1)	1) 口腔顎顔面領域のスポーツ障害の特徴と種類を説明する。(E-2-4)-(2)-①) 2) 口腔顎顔面領域のスポーツ障害の診断・治療を説明する。(E-2-4)-(2)-④)
6月3日	北村 和夫	ユニット7：口腔顎顔面領域のスポーツ障害(2)	1) 歯冠破折の診断・治療について述べる。(E-2-4)-(2)-③) 2) 歯根破折の診断・治療について述べる。(E-2-4)-(2)-③) 3) 歯の脱臼の対応と処置について述べる。(E-2-4)-(2)-③)
6月10日	白瀬 敏臣	ユニット8：小児におけるスポーツ外傷	1) 小児の歯の外傷の特徴を説明する。(E-4-2)-⑦) 2) 乳歯の外傷に対する処置について述べる。(E-4-2)-⑦) 3) 幼若永久歯の外傷に対する処置について述べる。(E-4-2)-⑦)
6月17日	石垣 佳希	ユニット9：スポーツ障害に対する救急対応	1) スポーツ現場における救急処置を説明する。(E-1-6)-②) 2) 救急処置の基本的な手技を述べる。(E-1-6)-②) 3) 顎口腔系以外のスポーツ障害に対する基本的救急処置を説明する。(E-1-6)-②)
6月24日	五味 治徳	ユニット10：スポーツ障害の安全対策	1) 健康管理について述べる。(B-1)-①) 2) スポーツの種目特性を説明する。(B-1)-①) 3) 防具の種類を列記する。(D-2)-②) 4) マウスガードの目的と意義を説明する。(D-2)-①) 5) マウスガードの種類およびその特徴を説明する。(D-2)-②)
7月1日	高橋 睦	ユニット11：スポーツデンティスト活動	1) スポーツ医・科学サポートの概要を説明する。(B-1)-①) 2) 口腔と身体機能との関連を説明する。(B-1)-②)
7月8日	宮下 渉	ユニット12：マウスガード(1)	1) マウスガード用材料の構造と特性を説明する。(D-1)-②) 2) サーモフォーミングマシンの特性と基本的操作を説明する。(D-1)-①)
7月15日	五味 治徳	ユニット13：マウスガード(2)	1) マウスガードの製作に必要な検査および前処置を説明できる。(E-1-1)-①) 2) マウスガードの使用上の注意事項とメンテナンスを説明する。(D-2)-②)

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科材料の概念を理解するために、一般教育科目で履修した知識を整理し、その作製法や使用法についての知識を修得する。

## 教科書・参考書

### 著者・編集

### 書名

### 版

### 出版社

中嶋 裕, 宮崎 隆,  
米山隆之: 編集幹事

スタンダード歯科理工学  
—生体材料と歯科材料—

第8版

学建書院

## 担当者一覧

新谷明一, 石田祥己, 三浦大輔, 高橋英和

## 学習方略

- 講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [60%]       論述試験 [30%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 (プレ・ポストテスト [10%])

## オフィスアワー

日時: 毎週 火曜日 12:10~13:00

場所: 本館4階 歯科理工学講座実習室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月8日	高橋 英和	ユニット1: 臨床を支える歯科材料	1) 歯科理工学の目的・意義を理解する。
4月15日	高橋 英和	ユニット2: 歯科材料の種類と構造	1) 物理的性質を説明する。 2) 化学的性質を説明する。 3) 材料の生体刺激性, アレルギーを説明する。
4月22日	高橋 英和	ユニット3: 歯科材料の機械的性質	1) 応力とひずみを説明する。 2) 応力-ひずみ曲線と関連する諸性質の材料選択上の意義を説明する。 3) 塑性変形を説明する。
5月13日	高橋 英和	ユニット4: 歯科材料のその他の物理的性質, 化学的性質, 生物学的性質	1) 強さの種類, 性質を説明する。 2) 硬さの種類, 性質を説明する。 3) 粘弾性を説明する。
5月20日	石田 祥己	ユニット5: 演習問題および解説	1) 小テストによりユニット1~4の学習内容の理解度を認識する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月27日	石田 祥己	ユニット6：印象採得	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 印象材トレーの種類を説明する。</li> <li>2) 印象材の硬化時間を説明する。</li> <li>3) 印象材の寸法安定性を説明する。</li> <li>4) 印象材の細部再現性を説明する。</li> <li>5) 印象材の粘弾性を説明する。</li> </ol>
6月3日	石田 祥己	ユニット7：印象材の分類，ハイドロコロイド印象材	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 印象材の分類，種類を説明する。</li> <li>2) 印象材の所要性質を説明する。</li> <li>3) 寒天印象材の特徴を説明する。</li> <li>4) アルジネート印象材の特徴を説明する。</li> </ol>
6月10日	石田 祥己	ユニット8：ゴム質印象材，非弾性印象材，ダイナミック印象材	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) シリコーンゴム印象材の特徴を説明する。</li> <li>2) ポリエーテルゴム印象材の特徴を説明する。</li> <li>3) ポリサルファイドゴム印象材の特徴を説明する。</li> <li>4) 酸化亜鉛ユージノール印象材の特徴を説明する。</li> <li>5) モデリングコンパウンド印象材の特徴を説明する。</li> <li>6) ダイナミック印象材の特徴を説明する。</li> </ol>
6月17日	石田 祥己	ユニット9：演習問題および解説	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 小テストによりユニット5～7の学習内容の理解度を認識する。</li> </ol>
6月24日	三浦 大輔	ユニット10：模型材	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯科用石膏の所要性質を説明する。</li> <li>2) 石膏の原料と製造法を説明する。</li> <li>3) 歯科用石膏を分類する。</li> <li>4) 歯科用石膏の硬化機構を説明する。</li> <li>5) 歯科用石膏の性質を説明する。</li> <li>6) 石膏系模型材の使用時の注意を記述する。</li> <li>7) レジン系模型材の種類，硬化機構，性質を説明する。</li> </ol>
7月1日	三浦 大輔	ユニット11：義歯用材料Ⅰ 加熱重合型床用レジン	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 加熱重合レジンの組成を説明する。</li> <li>2) 加熱重合レジンの硬化機構を説明する。</li> <li>3) 加熱重合レジンの性質を説明する。</li> <li>4) 加熱重合レジンの特徴を説明する。</li> <li>5) 粉液重合法を説明する。</li> </ol>
7月8日	三浦 大輔	ユニット12：義歯用材料Ⅱ 常温重合型床用レジン，その他の床用レジンおよび人工歯	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 常温重合レジンの組成を説明する。</li> <li>2) 常温重合レジンの硬化機構を説明する。</li> <li>3) 常温重合レジンの性質を説明する。</li> <li>4) 常温重合レジンの特徴を記述する。</li> <li>5) 射出成型レジンについて説明する。</li> </ol>
7月15日	三浦 大輔	ユニット13：演習問題および解説	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 小テストによりユニット10～12の学習内容の理解度を認識する。</li> </ol>

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医学と歯科医療を理解するために必要な生体の正常機能（全身機能および口腔機能）に関する具体的な知識を修得する。

### 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
岩田幸一, 井上富雄, 舩橋 誠, 加藤隆史 編	基礎歯科生理学	第7版	医歯薬出版
黒川 清, 春日雅人, 北村 聖, 大西宏明 編	臨床検査データブック [コンパクト版]	第12版	医学書院

### 担当者一覧

佐伯周子, 肖 黎, 井出良治, 橋爪那奈, 佐藤義英

### 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

### 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [70%]     論述試験 [20%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 (中間試験 [10%])

### オフィスアワー

日時: 月~金曜日 16:30~17:30  
 場所: 本館5階 生理学講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月8日	井出 良治	ユニット1: 細胞	1) 細胞内小器官を列記する。 2) 細胞内小器官の役割を記述する。 3) 細胞接着の機構を説明する。 4) ホルモン, 成長因子, サイトカイン等の受容体を介する細胞情報伝達機構を説明する。
4月15日	佐伯 周子	ユニット2: 生理学総論・興奮性膜	1) 神経の活動電位の発生と伝導の機序を説明する。 2) 電位依存性イオンチャネルの特性を述べる。 3) 活動電位の発生とイオンコンダクタンスの関係を述べる。 4) ニューロンとグリアの構造と機能を説明する。
4月22日	佐伯 周子	ユニット3: 神経の興奮伝導・伝達	1) 有髄・無髄神経の興奮伝導について述べる。 2) 興奮伝導の法則について列記する。 3) 化学及び電気シナプスの概念を説明する。 4) シナプスにおける伝達物質の放出機構を述べる。 5) シナプス伝達の機序と神経伝達物質を説明する。 6) 細胞間のシグナル伝達と受容体について記述する。 7) 細胞内情報伝達物質について列記する。
5月13日	橋爪 那奈	ユニット4: 感覚総論①	1) 特殊感覚, 体性・内臓感覚の違いを説明する。 2) 末梢神経について説明する。 3) 閾値, 適刺激, 順応について述べる。 4) 一次体性感覚野の特徴を記述する。 5) 痛覚の生理的意義について列記する。 6) 炎症性, 神経因性疼痛について説明する。 7) アロデニア, 痛覚過敏を対比する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月20日	橋爪 那奈	ユニット5：感覚総論②	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 口腔・顔面の感覚受容器分布とその特徴を述べる。</li> <li>2) 歯髄で生じる感覚の特徴を列記する。</li> <li>3) 歯根膜感覚の特徴と生理的役割を列記する。</li> </ol>
5月27日	肖 黎	ユニット6：自律神経	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自律神経の機能的特徴を列記する。</li> <li>2) 各臓器に対する自律神経の作用を記述する。</li> <li>3) 自律神経系の神経伝達物質を列記する。</li> <li>4) 自律神経反射の具体例を記述する。</li> </ol>
6月3日	佐伯 周子	ユニット7：中間試験	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 前回までの学習内容を整理・再確認する。</li> </ol>
6月10日	井出 良治	ユニット8：筋の収縮	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 筋について説明する。</li> <li>2) 筋組織の分類について説明する。</li> <li>3) 興奮収縮関連について述べる。</li> <li>4) 筋収縮の型について述べる。</li> <li>5) 筋紡錘, <math>\gamma</math>-運動ニューロンの機能を説明する。</li> </ol>
6月17日	佐藤 義英	ユニット9：顎運動・咀嚼	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 顎運動と咀嚼筋の関連について述べる。</li> <li>2) 咀嚼運動の神経機構について説明する。</li> </ol>
6月24日	肖 黎	ユニット10：味覚	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 味覚閾値に影響する因子を列記する。</li> <li>2) 味覚受容器と味覚情報変換機構を説明する。</li> <li>3) 味覚情報の中枢性伝達経路を説明する。</li> <li>4) 嗅覚細胞における嗅いの受容機構を説明する。</li> <li>5) 特殊感覚を分類する。</li> </ol>
7月1日	肖 黎	ユニット11：視覚・聴覚・平衡感覚	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 特殊感覚を分類する。</li> <li>2) 視覚の受容機構を説明する。</li> <li>3) 聴覚の中枢性伝導路を述べる。</li> <li>4) 平衡感覚について説明する。</li> </ol>
7月8日	橋爪 那奈	ユニット12：唾液腺	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 唾液の生理的役割を列記する。</li> <li>2) 唾液分泌に対する自律神経の役割を述べる。</li> <li>3) 唾液分泌反射経路を指摘する。</li> <li>4) 唾液と口腔疾患について記述する。</li> </ol>
7月15日	肖 黎	ユニット13：心臓と循環	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 心筋の興奮伝導性を説明する。</li> <li>2) 正常心電図の波形を説明する。</li> <li>3) 細動脈・毛細血管・静脈の構造と機能を述べる。</li> <li>4) 体循環の血行力学を説明する。</li> <li>5) 循環調節機構を分類する。</li> <li>6) 動脈圧受容器反射を説明する。</li> </ol>

# プロフェッショナルリズム2

火曜日 14:50~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

総合的に患者・生活者を支える歯科医療を提供していくために、自己研鑽に努め、社会の一員として果たすべき役割と国際社会における多様性を理解し、生涯を通じて歯科医師としての職責を果たすための自覚と知識・態度を修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

講義担当者	講義配布資料 (プリント)		
-------	---------------	--	--

## 担当者一覧

添野雄一, 葛城啓彰, 鈴木章弘, 前野雅彦, 井出吉昭, 井出勝久, 田副真美, 武田裕子, 秋山仁志, 角 忠輝, 鈴木將之, 石黒一美, 河合泰輔, 岩田 洋, 浅海利恵子, 永浦まどか, 岡田智雄, 赤間亮一, 相澤直依

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験       論述試験       口頭試験       レポート [80%]  
 ポートフォリオ       シミュレーションテスト       実地試験       観察記録 [20%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( )

## オフィスアワー

日時: 授業後~18時

場所: 各ユニット講義室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月8日	添野 雄一	ユニット1: 対話型鑑賞①	1) 絵画を見て, 観察力・推察力を磨く。(A-2-1)-①) 2) 絵画から得られる情報を元に, 論理的思考力, 多面的思考力, 批判的思考を養う。(A-2-1)-③) 3) 自分の考えを言語化して他者に伝える。(A-4-1)-②) 4) 多様性のある他者の意見を受容する。(A-2-1)-④)
4月15日	添野 雄一	ユニット2: 対話型鑑賞②	1) 絵画を見て, 観察力・推察力を磨く。(A-2-1)-①) 2) 絵画から得られる情報を元に, 論理的思考力, 多面的思考力, 批判的思考を養う。(A-2-1)-③) 3) 自分の考えを言語化して他者に伝える。(A-4-1)-②) 4) 多様性のある他者の意見を受容する。(A-2-1)-④) 5) 想像したことを他者と協調して具現化する表現力を身に着ける。(A-2-1)-④)
4月22日	田副 真美	ユニット3: ストレスマネジメント	1) 自分にとってのストレスを考える。 2) ストレスによって自身に生じる身体的, 精神的変化を考える。 3) 自分のストレスと向き合い, 対応する方法を考える。
5月13日	添野 雄一 秋山 仁志 河合 泰輔	ユニット4: キャリアプランニング①	1) 歯科医師としてのキャリアを考える。 2) ライフステージに応じた働き方を考える。 3) ダイバーシティを尊重した個人と社会の取り組みを考える 4) ワーク・ライフ・バランスを考える。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月20日	井出 勝久	ユニット5：歯科医療機器に求められる要件①	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) PMDA（医薬品医療機器総合機構）について説明する。(B-2-1)-④, ⑤)</li> <li>2) 歯科治療で使用する製品について法規制の対象範囲を考える。(B-2-1)-④, ⑤)</li> <li>3) 歯科医療機器を適切に使用する上で必要な情報の収集方法を理解する。</li> </ol>
5月27日	井出 勝久	ユニット6：歯科医療機器に求められる要件②	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 市販前の歯科医療機器の安全性及び有効性の評価方法を理解する。(B-2-1)-④, ⑤)</li> <li>2) 理想的な歯科医療機器の創造のために、活用可能な評価指標とその情報収集方法を理解する。</li> <li>3) 歯科医師のキャリアパスに応じて必要となる歯科医療機器に関する知識を考える。</li> </ol>
6月3日	休 講	(次週連続で実施)	
6月10日	角 忠輝 (4・5限連続)	ユニット7・ユニット8：社会が求めるプロフェッションとは（仮）？	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯科医師に課せられた法的責任と社会的責任(刑事責任, 民事責任, 歯科医師法と健康保険法に基づく行政処分)を理解している。(C-1-2-5)</li> <li>2) 医の倫理と生命倫理, 患者の権利に関する規範, 国際規範の歴史的経緯と諸問題を理解している。(C-1-1-1)</li> <li>3) 医療, 保健, 福祉, 介護における多職種連携と歯科医師の役割を理解している。(C-1-3-3)</li> </ol>
6月17日	前野 雅彦	ユニット9：キャリアプランニング②	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯科医師としてのキャリアを考える。</li> <li>2) ライフステージに応じた働き方を考える。</li> <li>3) ダイバーシティを尊重した個人と社会の取り組みを考える</li> <li>4) ワーク・ライフ・バランスを考える。</li> </ol>
6月24日	石黒 一美	ユニット10：健康の社会的決定要因(SDH)①	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 健康格差の現状を説明できる。(B-2-2)-①, ②, ③)</li> <li>2) 健康格差をもたらす社会的要因について列挙できる。(B-2-2)-④, ⑤)</li> <li>3) 健康格差の社会的要因に対し, 歯科医療者として役割を果たせるか述べるができる。(B-2-2)-⑦, ⑧)</li> </ol>
7月1日	武田 裕子	ユニット11：健康の社会的決定要因(SDH)②	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) SDHに関する他者の意見を聞き, 自分の考えとの相違を考察する。(A-2-2)-②)</li> <li>2) 得られた情報から自身の考えを発表できる。(A-2-2)-③)</li> </ol>
7月8日	休 講	(次週連続で実施)	
7月15日	鈴木 将之 (4・5限連続)	ユニット12・ユニット13：国際医療への貢献	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 我が国と他国の文化的背景や価値観の多様性を知る。(A-7-2)-①, ②)</li> <li>2) 日本の医療の特徴を理解し, 国際社会への貢献の意義を理解している。(A-7-2)-④)</li> <li>3) 医療に関わる国際協力の重要性を理解し, 仕組みを説明できる。(A-7-2)-⑤)</li> </ol>

## 本学期的学習目標 (GIO)

生体における主要な構成物質の代謝経路を生化学的・分子生物学的基盤に立脚して理解し、各種疾患との関連性を考察する。

### 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

P. C. Champ他 著, 石崎秦樹 他 訳 イラストレイテッド生化学

第8版

丸善

### 担当者一覧

美原希美, 千葉忠成

### 学習方略

- 講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

### 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [70%]       論述試験 [30%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

### オフィスアワー

日時: 毎週月曜日 17:00~18:00

場所: 本館6階 生化学講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
4月9日	千葉 忠成	ユニット1: 生体を構成する主要な物質	1) 生体を構成する無機化合物を列記する。 2) 生体に含有する微量成分の機能を説明する。 3) 生体を構成する主要な機能物質から構成される化合物の構造と機能を説明する。
4月16日	千葉 忠成	ユニット2: アミノ酸の構造と機能	1) アミノ酸の化学構造を記述する。 2) アミノ酸を分類する。 3) アミノ酸の生体内での機能を説明する。
4月23日	千葉 忠成	ユニット3: タンパク質の構造と機能	1) タンパク質を構成するアミノ酸の結合様式を説明する。 2) タンパク質の種類を列記する。 3) タンパク質の機能を説明する。
5月7日	千葉 忠成	ユニット4: 酵素の分類・機能	1) 酵素反応の概要を記述する。 2) 酵素の分類と命名法を記述する。 3) 酵素の活性部位を説明する。 4) アイソザイムを説明する。
5月14日	千葉 忠成	ユニット5: 酵素の特性	1) 酵素の最適温度を記述する。 2) 酵素の最適pHを記述する。 3) 酵素の基質特異性を記述する。 4) 補因子と補酵素を説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
5月21日	千葉 忠成	ユニット6：酵素活性の調整	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 酵素反応速度論を説明する。</li> <li>2) 競合阻害と非競合阻害を説明する。</li> <li>3) フィードバック阻害を記述する。</li> <li>4) 酵素の活性化機構を説明する。</li> </ol>
5月28日	千葉 忠成	ユニット7：デンプンの消化と吸収	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 糖質の分類と構造を記述する。</li> <li>2) 糖質の化学的特性を記述する。</li> <li>3) デンプンの消化・吸収を記述する。</li> <li>4) 細胞でのグルコース取り込み機構を説明する。</li> </ol>
6月4日	千葉 忠成	ユニット8：解糖と発酵	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 解糖の経路を説明する。</li> <li>2) 解糖の調整機構を説明する。</li> <li>3) ピルビン酸の嫌氣的代謝を説明する。</li> <li>4) 乳酸発酵と醗酵を説明する。</li> </ol>
6月11日	千葉 忠成	ユニット9：クエン酸回路と電子伝達系	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) クエン酸回路を説明する。</li> <li>2) アセチルCoAの合成を記述する。</li> <li>3) シヤトルを記述する。</li> <li>4) 電子伝達系によるATP産生を説明する。</li> </ol>
6月18日	千葉 忠成	ユニット10：グリコーゲン代謝と血糖調整	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) グリコーゲンの合成経路を説明する。</li> <li>2) グリコーゲン分解の経路を説明する。</li> <li>3) ホルモンによる血糖の調整機構を説明する。</li> <li>4) グリコーゲン代謝と疾患との関連を考察する。</li> </ol>
6月25日	千葉 忠成	ユニット11：他の糖の代謝経路と疾患	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ペントースリン酸経路を理解し、生物学的機能との関連を考察する。</li> <li>2) グルクロン酸経路を理解し、生物学的機能との関連を考察する。</li> <li>3) 糖新生を説明する。</li> <li>4) 糖尿病の病態を述べる。</li> </ol>
7月2日	千葉 忠成	ユニット12：脂質の消化・吸収・輸送	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 脂質の定義と種類を述べる。</li> <li>2) 脂質の脂肪酸の化学構造を記述する。</li> <li>3) 脂質の消化と吸収経路を説明する。</li> <li>4) 血中リポタンパク質の臨床的意義を説明する。</li> </ol>
7月9日	千葉 忠成	ユニット13：脂肪酸とケトン体の代謝	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 脂肪酸の吸収経路を説明する。</li> <li>2) <math>\beta</math>酸化による代謝経路とATP産生を記述する。</li> <li>3) ケトン体の生合成経路および代謝経路を記述する。</li> <li>4) ケトン体の生体内での機能を説明する。</li> </ol>

## 本学期的学習目標 (GIO)

「地域の公衆衛生の向上・増進および健康の維持・増進に寄与すること」は歯科医師の重要な任務の一つであることを認識する。衛生学・公衆衛生学の基本事項を理解し、実践活動への応用方法を修得する。さらに、国民の保健・福祉の向上のための指導者としての責任を認識する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

杉原直樹, 福田雅臣, 川戸貴行 編	口腔衛生学2024	第1版	一世出版
--------------------	-----------	-----	------

## 担当者一覧

田中とも子, 堀江哲郎, 山下万美子, 佐藤勝弘, 奥平晴子, 岡田実緒

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [60%]       論述試験 [40%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 毎週火曜日 16:00~17:00, および登校日は随時  
場所: 本館5階 衛生学講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月9日	林田 尚斗	ユニット1: 衛生・公衆衛生学の概論	1) 衛生・公衆衛生の歴史を記述する。 2) 衛生・公衆衛生の考え方と意義を説明する。 3) 医の倫理を説明する。
4月16日	林田 尚斗	ユニット2: 予防医学の考え方	1) 健康と疾病の概念を説明する。 2) 健康障害の発生要因を説明する。 3) 疾病の自然史と予防の段階を対比する。
4月23日	田中とも子	ユニット3: 人口統計 (1)	1) 人口情報の把握の意義を述べる。 2) 人口動態統計と国勢調査について説明する。 3) わが国の人口の現状と将来推計について説明する。 4) 人口と保健, 医療, 福祉との関連性を述べる。
5月7日	田中とも子	ユニット4: 人口統計 (2)	1) 人口動態統計を説明する。 2) 出生および死亡統計の現状を述べる。 3) 生命表を説明する。 4) 平均寿命の推移を述べる。
5月14日	佐藤 勝弘	ユニット5: 疫学概論	1) 疫学の概念と要因を述べる。 2) 疫学的因果関係の判定基準を列挙する。 3) 疫学の調査方法を概説する。 4) 臨床疫学を概説する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月21日	田中とも子	ユニット6：疫学各論（1）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 疾病頻度を表す指標を列挙する。</li> <li>2) 危険曝露人口について説明する。</li> <li>3) 記述疫学を説明する。</li> <li>4) 分析疫学を説明する。</li> </ul>
5月28日	田中とも子	ユニット7：疫学各論（2）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 介入研究について説明する。</li> <li>2) 無作為化比較試験について説明する。</li> <li>3) 臨床疫学について説明する。</li> <li>4) スクリーニングについて説明する。</li> <li>5) 疫学研究における倫理問題を述べる。</li> </ul>
6月4日	堀江 哲郎	ユニット8：感染症総論	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 感染と発症を説明する。</li> <li>2) 病原体を列記する。</li> <li>3) 感染経路を説明する。</li> <li>4) 宿主の感受性を説明する。</li> </ul>
6月11日	堀江 哲郎	ユニット9：感染症各論	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 主な感染症の流行状況とその予防対策を説明する。</li> <li>2) 新興・再興感染症を説明する。</li> <li>3) 感染源と感染経路対策を述べる。</li> <li>4) 予防接種について説明する。</li> </ul>
6月18日	奥平 晴子	ユニット10：生活習慣病	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 生活習慣病の有病状況を説明する。</li> <li>2) 生活習慣病の背景因子を述べる。</li> <li>3) 健康日本21における生活習慣病の目標値を列記する。</li> <li>4) 特定健康診査・特定保健指導を説明する。</li> </ul>
6月25日	岡田 実緒	ユニット11：国際協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 国際協力の現状を述べる。</li> <li>2) 国際医療援助に携わる国際機関の役割を説明する。</li> <li>3) 持続可能な開発目標（SDGs）を列記する。</li> <li>4) ユニバーサル・ヘルス・カバレッジを説明する。</li> <li>5) WHO国際口腔保健プログラムについて説明する。</li> </ul>
7月2日	山下万美子	ユニット12：食品保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 食品安全の意義を述べる。</li> <li>2) わが国の食中毒の現状を説明する。</li> <li>3) 食品の安全確保対策を列記する。</li> </ul>
7月9日	山下万美子	ユニット13：国民栄養	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 国民栄養の現状を述べる。</li> <li>2) 日本人の食事摂取基準を説明する。</li> <li>3) 食育について概説する。</li> <li>4) 食事バランスガイドについて説明する。</li> <li>5) 栄養と疾病・異常を述べる。</li> </ul>

# コミュニケーション概論実習

水曜日 13:10~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

将来、歯科医師として患者と良好な人間関係を構築し全人的医療を行うため、またチーム医療を円滑に行うために必要な態度、マナーおよびコミュニケーション技法を修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

--	--	--	--

## 担当者一覧

岩田 洋, 石川結子, 石田祥己, 井出吉昭, 大澤銀子, 大津光寛, 岡田智雄, 小川智久, 川本沙也華, 北村和夫, 永浦まどか, 仲谷 寛, 西田太郎, 根岸 翼, 八田みのり, 前田祐貴, 安田麻子, 横澤 茂, 梅津糸由子, 鰐原賀子, 倉賀野楓, 元開早絵, 児玉実穂, 酒井有沙, 代田あづさ, 高島良代, 高橋育美, 田谷雄二, 土井百合香, 滑川初枝, 西脇恵子, 前野雅彦, 町田麗子, 村松健司, 山口みなみ, 横山知美

## 学習方略

- 講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [--%]       論述試験 [--%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [90%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 (ふりかえり・事前課題の提出 [10%])

## オフィスアワー

日時: 水曜日 16:20~ (実習終了後)  
場所: 131講堂

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月16日	岩田 洋	ユニット1: グループ討議 (1)	1) 医療コミュニケーションについて説明する。 2) 討議のプロセスを振り返る。
4月23日	安田 麻子	ユニット2: 接遇・マナー (1)	1) 正しい言葉遣いをする。 2) 医療現場に即した敬語を使い分ける。 3) 伝達の方法を討議する。 4) 正しい電話応対を実施する。
5月7日	前田 祐貴	ユニット3: 接遇・マナー (2)	1) 医療従事者としての適切な身だしなみを評価する。(F-2-1)-① 2) 患者の立場で接遇を体感する。(A-1-2)-① 3) 医療現場での接遇, マナーを評価する。 4) プレゼンテーションを体験する。(A-2-2)-③ 5) フィードバックをする。
5月14日	永浦まどか	ユニット4: コミュニケーションスキル (1)	1) コミュニケーションにおける環境設定の重要性を体感する。 2) 傾聴のスキルが与える影響を体感する。 3) 傾聴のスキルを実施する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月21日	岩田 洋	ユニット5：コミュニケーションスキル（2）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 承認のスキルが与える影響を体感する。</li> <li>2) 承認のスキルを実施する。</li> <li>3) 質問方法の違いによる影響を体感する。</li> <li>4) 質問方法を使い分ける。</li> <li>5) 提案のスキルを実施する。</li> </ul>
5月28日	井出 吉昭	ユニット6：コミュニケーションスキル（コーチング）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) コミュニケーションの基本スキルを使い分ける。</li> <li>2) コーチングの基本概念について述べる。</li> <li>3) コーチングの基本ステップを述べる。</li> <li>4) コーチングを実施する。</li> </ul>
6月4日	大津 光寛	ユニット7：ヒューマンリレーションズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 相手の立場に配慮する。</li> <li>2) 自己を開示する。（A-2-2）-②）</li> <li>3) 価値観について討議する。</li> <li>4) 相手を受容する。</li> </ul>
6月11日	横澤 茂	ユニット8：医療面接	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 模擬的な医療面接を実施する。（F-2-1）-②）</li> <li>2) 患者の立場を模擬的に体験する。（A-1-3）-②）</li> <li>3) 質問法の使い分けを医療面接に応用する。</li> <li>4) 傾聴技法を医療面接に応用する。（A-4-1）-③）</li> <li>5) 医療面接を評価する。</li> </ul>
6月18日	児玉 実穂	ユニット9：コミュニケーション障がい を有した患者さんとのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) コミュニケーション障がいを説明する。（F-2-1）-④）</li> <li>2) コミュニケーション障がいを有する患者さんとのコミュニケーション法を述べる。</li> <li>3) コミュニケーション障がいを有する患者さんとのコミュニケーション法を実施する。</li> </ul>
6月25日	大澤 銀子	ユニット10：アンプロフェッショナル	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) プロフェッションが社会契約の基づくことを認識する。（A-1-3）-①）</li> <li>2) プロフェッショナリズムの受け止め方の多様性を認識する。</li> <li>3) アンプロフェッショナルな行動を討議する。</li> <li>4) 生命歯学部学生としての自律的態度・行動を醸成する。</li> </ul>
7月2日	岡田 智雄	ユニット11：アドバンス・ケア・プランニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) アドバンス・ケア・プランニングについて説明する。</li> <li>2) 自分の終末期の過ごし方について述べる。</li> <li>3) 他者の終末期の過ごし方について傾聴する。</li> </ul>
7月9日	永浦まどか	ユニット12：対話型鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 対話型鑑賞について説明する。</li> <li>2) 自分の意見を述べる。</li> <li>3) 他者の意見を傾聴する。</li> <li>4) 多様性を尊重する。</li> </ul>
7月16日	仲谷 寛	ユニット13：LGBTQ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 自分の意見を述べる。</li> <li>2) 他者の意見を傾聴する。</li> <li>3) 多様性を尊重する。</li> </ul>

# 歯学英语

木曜日 9:00~10:30

## 本学期的学習目標 (GIO)

国際社会に適応する歯科医師になるために、歯科医療現場に必要な英語によるコミュニケーション能力を身につけ、将来の歯科治療を想定した歯科医療英語を修得する。

## 教科書・参考書

### 著者・編集

### 書名

### 版

### 出版社

Neil Patel 監,  
影山幾男・羽村 章 編

歯科学生のための医学英語

第二版

学建書院

## 担当者一覧

横山知美, 石田祥己

## 学習方略

- 講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [40%]       論述試験 [30%]       口頭試験 [--%]       レポート [20%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 (小テスト [10%])

## オフィスアワー

日時: 木曜日 10:30~10:40

場所: 142講堂, 本館4階歯科理工学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月10日	横山 知美	ユニット1: Dental Terminology①	1) 医学・歯学分野と関連する言葉について、列挙する。 2) 専門用語について、分類する。 3) 学んだ知識について、一般化する。
4月17日	横山 知美	ユニット2: Dental Terminology②・Oral Hygiene ①	1) 英文を読んで、記述する。 2) 学んだ言葉について、説明する。 3) 専門用語について、具体的に述べる。
4月24日	横山 知美	ユニット3: Oral Hygiene ②	1) 医学・歯学分野と関連する言葉について、列挙する。 2) 口腔衛生に関する言葉について、列挙する。 3) 英語を聞いて、内容について記述する。
5月8日	横山 知美	ユニット4: Toothache ①	1) 英文を読んで、内容について記述する。 2) 学んだ言葉について、説明する。 3) 専門用語について、具体的に述べる。
5月15日	横山 知美	ユニット5: Toothache ②	1) 医学・歯学分野と関連する言葉について、列挙する。 2) 歯痛に関する言葉について、分類する。 3) 学んだ知識について、一般化する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月22日	横山 知美	ユニット6：Severe Dental Anxiety ①	1) 医学・歯学分野と関連する言葉について、列挙する。 2) 歯科恐怖症に関する言葉について、分類する。 3) 学んだ知識について、一般化する。
5月29日	横山 知美	ユニット7：Severe Dental Anxiety ②	1) 英文を読んで、内容について記述する。 2) 学んだ言葉について、説明する。 3) 専門用語について、具体的に述べる。
6月5日	横山 知美	ユニット8：Periodontal Disease ①	1) 英文を読んで、内容について記述する。 2) 専門用語について、具体的に述べる。 3) 歯周病に関する言葉について、列挙する。
6月12日	横山 知美	ユニット9：Periodontal Disease ②	1) 英語を聞いて、内容について記述する。 2) 歯周病に関する言葉について、列挙する。 3) 学んだ知識について、一般化する。
6月19日	石田 祥己	ユニット10：Dental Implant ①	1) 医学・歯学分野と関連する言葉について、列挙する。 2) 歯痛に関する言葉について、分類する。 3) 学んだ知識について、一般化する。
6月26日	石田 祥己	ユニット11：Dental Implant ②	1) インプラントに関する言葉について、列挙する。 2) 英語を聞いて、内容について記述する。 3) 学んだ知識について一般化する。
7月3日	横山 知美	ユニット12：Cleft Lip ①	1) 英文を読んで、内容について記述する。 2) 学んだ言葉について説明する。 3) 口唇裂について、具体的に述べる。
7月10日	横山 知美	ユニット13：Cleft Lip ②	1) 口唇裂に関する言葉について、列挙する。 2) 英語を聞いて、内容について記述する。 3) 学んだ知識について一般化する。

# 歯の解剖学

木曜日 10:40~12:10

## 本学期的学習目標 (GIO)

顎顔面の形態的な基礎知識を身に着けるために、解剖学を総括した知識を習得する。また、第1学年で学んだ永久歯の形態学的な特徴を基に、永久歯と乳歯を対比し、臨床歯学を修得するための基礎知識を身につける。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
藤田恒太郎	歯の解剖学	第22版	金原出版(株)
菊池憲一郎・影山幾男・春原正隆 編著	歯の解剖学と歯型彫刻法	第1版	(株)永末書店
前田健康 他編	口腔解剖学	第2版	医歯薬出版
阿部伸一 他編	口腔顎顔面解剖ノート	第1版	学建書院
坂井建雄 他訳	プロメテウス解剖学アトラス 口腔・頭頸部	第2版	医学書院

## 担当者一覧

春原正隆, 菊池憲一郎, 井出吉昭, 宮坂孝弘, 馬場龍一, 小川清美, 前田祐貴

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [60%]       論述試験 [30%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 (プレ・ポストテスト [10%])

## オフィスアワー

日時: 毎週金曜日 16:30~18:00

場所: 本館3階 解剖学第1講座研究室, 本館6階 解剖学第2講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
4月10日	小川 清美	ユニット1: オリエンテーション, 永久歯 (1)	1) 歯の解剖学の概要を説明する。 2) 上下顎前歯部の歯冠および歯根形態について説明する。
4月17日	小川 清美	ユニット2: 永久歯 (2)	1) 上下顎小臼歯の歯冠および歯根形態について説明する。
4月24日	小川 清美	ユニット3: 永久歯 (3)	1) 上下顎大臼歯の歯冠および歯根形態について説明する。
5月8日	小川 清美	ユニット4: 乳歯	1) 乳歯の歯冠および歯根の形態を理解する。 2) 永久歯と乳歯の鑑別要点を説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月15日	馬場 龍一	ユニット5：歯の異常-矯正歯科学に関連する歯の異常-	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 咬合の種類について分類する。</li> <li>2) 不正咬合の原因を説明する。</li> <li>3) 先天性原因の種類と特徴を述べる。</li> <li>4) 後天的原因の種類と特徴を述べる。</li> <li>5) 先天性および後天的原因と不正咬合とを関係づける。</li> </ol>
5月22日	宮坂 孝弘	ユニット6：歯の異常-口腔外科学に関連する歯の異常-	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 口腔外科に関連する歯の異常を説明する。</li> <li>2) 下顎埋伏智歯の原因を説明する。</li> <li>3) 下顎埋伏智歯の症状の特徴を述べる。</li> <li>4) 上顎埋伏智歯の原因と症状と特徴を述べる。</li> <li>5) 上顎洞と歯との関連する疾患を説明する。</li> </ol>
5月29日	春原 正隆	ユニット7：頭頸部の区分，頭蓋を構成する骨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 頭頸部の区分を説明する。</li> <li>2) 頭蓋骨（15種23個）の名称を列記する。</li> <li>3) 頭蓋冠の縫合と泉門を説明する。</li> </ol>
6月5日	井出 吉昭	ユニット8：上顎骨，下顎骨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 上顎骨の構成要素を説明する。</li> <li>2) 下顎骨の構成要素を説明する。</li> </ol>
6月12日	井出 吉昭	ユニット9：蝶形骨，側頭骨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 蝶形骨の構成要素を説明する。</li> <li>2) 側頭骨の構成要素を説明する。</li> </ol>
6月19日	前田 祐貴	ユニット10：頭蓋骨の前面，内・外頭蓋底	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 頭蓋の前面，内頭蓋底，外頭蓋底の構成要素を説明する。</li> <li>2) 脳神経が通る頭蓋底の孔を説明する。</li> </ol>
6月26日	井出 吉昭	ユニット11：眼窩，鼻腔，骨口蓋，顎関節	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 眼窩の構成要素を説明する。</li> <li>2) 鼻腔の構成要素を説明する。</li> <li>3) 鼻腔と副鼻腔・眼窩の交通路を説明する。</li> <li>4) 骨口蓋を構成する骨を説明する。</li> <li>5) 顎関節を構成する骨を説明する。</li> </ol>
7月3日	井出 吉昭	ユニット12：頭蓋骨に付着する筋とその働き	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 咀嚼筋の付着部を説明する。</li> <li>2) 舌骨上筋の付着部を説明する。</li> <li>3) 舌骨下筋の付着部を説明する。</li> <li>4) 咀嚼・嚥下時の筋の働きを説明する。</li> </ol>
7月10日	井出 吉昭	ユニット13：翼口蓋窩，隙	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 翼口蓋窩の交通路を説明する。</li> <li>2) 主要な隙（翼突下顎隙，顎下隙，舌下隙，オトガイ下隙など）の位置とその内部の構造物を説明する。</li> </ol>

# 歯の解剖学実習

木曜日 13:10~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

口腔における歯の役割を認識し、永久歯の歯冠および歯根の形態的特徴を理解するとともに造形を通して総合的な知識を深め、歯の解剖学的形質の重要性を理解する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
菊池憲一郎・影山幾男・春原正隆 編著	歯の解剖学と歯型彫刻法	第1版	(株)永末書店
藤田恒太郎	歯の解剖学	第22版	金原出版(株)

## 担当者一覧

春原正隆, 菊池憲一郎, 井出吉昭, 鈴木金吾, 上野隆治, 山下恭嗣, 大垣敦則, 谷津利夫, 河野 勉, 野口顕造, 渡辺一博, 藤田俊哉, 川島正人, 藤島 明, 池田利恵, 小川清美, 小川享宏, 青木一之

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [--%]       論述試験 [--%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [50%]       観察記録 [50%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 実習終了時に実習担当者と確認する。  
 場所: 実習終了時に実習担当者と確認する。

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月10日	春原 正隆 菊池憲一郎	ユニット1: 実習オリエンテーション, 手用切削器具の操作方法と彫刻法	1) 歯の解剖学実習の心得を確認する。 2) 実習の取り組み方, 姿勢に関して説明する。 3) 手用切削器具の操作方法および彫刻法の注意点に配慮する。 4) 指定された形を造形する。
4月17日	小川 清美	ユニット2: 上顎中切歯の観察と立体構築(1)	1) 上顎中切歯の特徴を説明する。 2) 上顎中切歯を計測し, 展開図を作製する。 3) 指定された大きさの四角柱を彫刻する。
4月24日	小川 清美	ユニット3: 上顎中切歯の立体構築(2)	1) ワックス棒を用いて, 上顎中切歯を造形する。
5月8日	小川 清美	ユニット4: 上顎中切歯の立体構築(3) および上下顎中切歯・側切歯・犬歯の観察	1) ワックス棒を用いて, 上顎中切歯の解剖学的形態を正確に模倣する。 2) 中切歯・側切歯・犬歯の鑑別要点を説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月15日	小川 清美	ユニット5：上顎第一小臼歯の観察と立体構築(1)	1) 上顎第一小臼歯の特徴を説明する。 2) ワックス棒を用いて、上顎第一小臼歯を造形する。
5月22日	小川 清美	ユニット6：上顎第一小臼歯の立体構築(2)および上下顎小臼歯の観察	1) ワックス棒を用いて、上顎第一小臼歯の解剖学的形態を正確に模倣する。 2) 小臼歯の鑑別要点を説明する。
5月29日	小川 清美	ユニット7：上顎第一大臼歯の立体構築(1)	1) 上顎第一大臼歯の特徴を説明する。 2) ワックス棒を用いて、上顎第一大臼歯を造形する。
6月5日	小川 清美	ユニット8：上顎第一大臼歯の立体構築(2)および上顎大臼歯の観察	1) ワックス棒を用いて、上顎第一大臼歯の解剖学的形態を正確に模倣する。 2) 上顎大臼歯の鑑別要点を説明する。
6月12日	小川 清美	ユニット9：下顎第一大臼歯の立体構築(1)	1) 下顎第一大臼歯の特徴を説明する。 2) ワックス棒を用いて、下顎第一大臼歯の歯型彫刻を造形する。
6月19日	小川 清美	ユニット10：下顎第一大臼歯の立体構築(2)および下顎大臼歯の観察	1) ワックス棒を用いて、下顎第一大臼歯の解剖学的形態を正確に模倣する。 2) 下顎大臼歯の鑑別要点を説明する。
6月26日	小川 清美	ユニット11：永久歯の立体構築と歯種別の特徴	1) 粘土を用いて、指定された歯の造形を行い、習得した解剖学的形態の理解度を確認する。 2) 歯種別の特徴について、知識の理解度を確認する。
7月3日	春原 正隆 菊池憲一郎	ユニット12：歯型彫刻(実習試験)	1) 指定された歯の造形を行い、習得した解剖学的形態の理解度を確認する。 2) 各歯の歯冠・歯根の特徴について、知識の理解度を確認する。
7月10日	春原 正隆 菊池憲一郎	ユニット13：歯の鑑別(実習試験)	1) 各歯の特徴について、知識の理解度を確認し、修得した知識を説明する。

## 本学期的学習目標 (GIO)

薬理学総論一般を理解し、歯科医師国家試験に対応した薬理学総論の諸知識を習得する。

## 教科書・参考書

### 著者・編集

### 書名

### 版

### 出版社

筒井健夫, 著	歯科薬物療法学	第8版	一世出版
戸苅彰史, 他編	現代歯科薬理学	第7版	医歯薬出版

## 担当者一覧

筒井健夫, 鳥居大祐, 神 唯

## 学習方略

- 講義   
  示説 (デモンストレーション)   
  グループワーク (PBL, TBLを含む)   
  実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [60%]   
  論述試験 [30%]   
  口頭試験 [--%]   
  レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]   
  シミュレーションテスト [--%]   
  実地試験 [--%]   
  観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]   
 その他 (中間試験 [10%])

## オフィスアワー

時: 毎週金曜日 16:30~17:30

場所: 本館5階 薬理学研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
4月4日	鳥居 大祐	ユニット1: 薬物療法と薬理作用	1) 薬物療法の目的を述べる。 2) 薬理作用の基本形式と分類を述べる。 3) 用量反応曲線, 治療係数 (安全域) を説明する。
4月11日	神 唯	ユニット2: 薬物の保管・管理	1) 薬物の保管について述べる。 2) 日本薬局方について説明する。
4月18日	神 唯	ユニット3: 薬物の作用部位 (1)	1) 自律神経系の伝達物質と受容体について述べる。
4月25日	神 唯	ユニット4: 薬物の作用部位 (2)	1) 薬物の作用部位を列挙する。 2) 受容体を介する薬理作用について述べる。 3) 喫煙の依存性と身体にもたらす影響について述べる。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月9日	神 唯	ユニット5：薬物の作用機序（1）	1) 受容体の作動薬・拮抗薬の作用様式を説明する。 2) 受容体を介する薬物の作用機序を説明する。
5月16日	神 唯	ユニット6：薬物の作用機序（2）	1) 受容体を介さない薬物の作用機序を説明する。
5月30日	鳥居 大祐	ユニット7：薬物の吸収	1) 薬物の生体膜通過様式を分類する。 2) 薬物の吸収について述べる。
6月6日	鳥居 大祐	ユニット8：薬物の分布と代謝	1) 薬物の分布について述べる。 2) 薬物の生体内変化について説明する。
6月13日	鳥居 大祐	ユニット9：薬物の排泄	1) 薬物の排泄について述べる。 2) 薬物の血中濃度の変化について説明する。
6月20日	筒井 健夫	ユニット10：薬物の相互作用（1）・中間試験	1) 薬力学的相互作用を列挙する。 2) これまでの学習内容を整理・再確認する。
6月27日	筒井 健夫	ユニット11：薬物の相互作用（2）	1) 薬物動態学的相互作用について説明する。
7月4日	鳥居 大祐	ユニット12：薬物の連用と有害作用・薬効に影響を及ぼす因子	1) 薬物の連用による薬理作用の変化について説明する。 2) 治療薬の副作用と有害作用を理解する。 3) 薬効に影響を及ぼす因子について説明する。
7月11日	鳥居 大祐	ユニット13：薬物の適用方法	1) 薬物の適用方法を分類する。 2) 服薬計画と服薬指導を理解する。 3) コンプライアンスとアドヒアランスについて述べる。

## 本学期的学習目標 (GIO)

社会に貢献する歯科医師になるために、進歩し複雑化する医療に関わる社会的問題を認識し、基礎医学的、臨床医学的知識を整理し、歯科法医学に関する事項について理解する。

### 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
佐藤喜宣 編著	臨床法医学テキスト	第2版	中外医学社
高橋雅典 監修 都築民幸, 山田良広, 櫻田宏一 編集	法歯科医学 基礎知識から臨床・災害時の対応まで	第2版	永末書店
池田典昭, 木下博之 編著	標準法医学	第8版	医学書院
佐藤喜宣 監修 岩原香織, 都築民幸 編集	アトラス臨床法医学	第1版	中外医学社
坂井聖二, 奥山真紀子, 井上登生 編著	子ども虐待の臨床 医学的診断と対応	第1版	南山堂

### 担当者一覧

岩原香織, 都築民幸

### 学習方略

- 講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 (演習 )

### 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [75%]     論述試験 [15%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [10%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

### オフィスアワー

日時: 講義実施日 16:30~18:30  
場所: 100周年記念館2階 歯科法医学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
4月4日	岩原 香織	ユニット1: 死の判定とその証明 (演習)	1) 死の定義と判定を説明する。 2) 死亡診断書, 死体検案書の意義, 目的を述べる。 3) 死亡診断書と死体検案書を対比する。 4) 死亡診断書を作成する。
4月11日	岩原 香織	ユニット2: 死因究明と死体の検査	1) 死因を分類する。 2) 検視, 検案を説明する。 3) 病死と異状死を対比する。 4) 法医解剖と関係法令について説明する。
4月18日	岩原 香織	ユニット3: 死体現象 (1)	1) 早期死体現象を分類する。 2) 晚期死体現象を分類する。 3) 早期死体現象, 晚期死体現象を説明する。
4月25日	岩原 香織	ユニット4: 死体現象 (2)	1) 特殊死体現象を分類する。 2) 死体の損壊について説明する。 3) 死後経過時間の推定について説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月9日	都築 民幸	ユニット5：虐待	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 虐待を分類する。</li> <li>2) 暴力・虐待の連鎖について述べる。</li> <li>3) 児童虐待の医科所見を列記する。</li> </ul>
5月16日	都築 民幸	ユニット6：虐待と歯科対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 虐待，マルトリートメントを説明する。</li> <li>2) 虐待やマルトリートメントの歯科所見を説明する。</li> <li>3) 咬傷，咬痕を分類する。</li> <li>4) 虐待の早期発見，防止における歯科医師の役割を説明する。</li> </ul>
5月30日	岩原 香織	ユニット7：窒息	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 窒息を分類する。</li> <li>2) 内窒息と外窒息を対比する。</li> <li>3) 窒息の症状を述べる。</li> <li>4) 窒息と歯科医療との関連を説明する。</li> </ul>
6月6日	岩原 香織	ユニット8：損傷と創傷	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 損傷と創傷について説明する。</li> <li>2) 鋭器損傷と鈍器損傷を対比する。</li> <li>3) 損傷の種類と成傷機序を説明する。</li> <li>4) 損傷の検査と記録について説明する。</li> </ul>
6月13日	岩原 香織	ユニット9：個人識別	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 個人識別について説明する。</li> <li>2) 性別判定，年齢推定について説明する。</li> <li>3) 形態による個人識別を説明する。</li> <li>4) 遺伝形質による個人識別を説明する。</li> </ul>
6月20日	岩原 香織	ユニット10：歯科的個人識別	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 個人識別における歯科情報の有用性を説明する。</li> <li>2) 歯科的個人識別に必要な検査や資料を説明する。</li> <li>3) デンタルチャート（生前・死後歯科記録）を説明する。</li> <li>4) 歯科情報による異同判定について説明する。</li> </ul>
6月27日	岩原 香織	ユニット11：歯科的個人識別の実際（演習）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 身元不明死体の検査資料から死後歯科記録を作成する。</li> <li>2) 該当者の歯科資料から生前歯科記録を作成する。</li> <li>3) 生前・死後歯科情報の照合，異同判定を行う。</li> </ul>
7月4日	岩原 香織	ユニット12：大災害と歯科医療救護	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 災害時における歯科医師の活動を説明する。</li> <li>2) 災害医療について概説する。</li> <li>3) トリアージを説明する。</li> <li>4) 災害時の歯科医療救護を説明する。</li> </ul>
7月11日	岩原 香織	ユニット13：大災害と歯科的個人識別	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 災害時の歯科的個人識別を説明する。</li> <li>2) 平時と災害時の個人識別を対比する。</li> <li>3) 歯科医師の組織的活動と他機関との連携について説明する。</li> </ul>

# 組織学

金曜日 13:10~14:40

## 本学期的学習目標 (GIO)

人体を構成している諸器官の細胞や組織の構造を学び、臨床歯学を修得するための基礎知識を身につける。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

阿部和厚・牛木辰男 著

組織学

改訂20版

南山堂

## 担当者一覧

菊池憲一郎, 江原鮎香, 池田利恵, 小川清美

## 学習方略

- 講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [60%]       論述試験 [30%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 (プレ・ポストテスト [10%])

## オフィスアワー

日時: 毎週金曜日 16:30~18:00

場所: 本館6階 解剖学第2講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
4月4日	池田 利恵	ユニット1: オリエンテーション, 細胞 (1)	1) 組織学の概要を説明する。 2) 形質膜 (細胞膜を含む) の構造と機能について説明する。 3) 細胞小器官の種類, それらの構造と機能について説明する。 4) 核の構造と機能を述べる。
4月11日	池田 利恵	ユニット2: 細胞 (2)	1) 体細胞の増殖 (有糸分裂) と生殖細胞の成熟 (減数分裂) について比較する。 2) 壊死とアポトーシスの細胞死の過程について説明する。
4月18日	池田 利恵	ユニット3: 上皮組織	1) 上皮組織, 支持組織, 筋組織, 神経組織の特徴について述べる。 2) 上皮組織の種類と組織構造について説明する。 3) 上皮細胞の自由面, 隣接面, 基底面にみられる構造について説明する。 4) 腺の構造と分類について述べる。 5) 分泌物の性状と分泌様式について説明する。
4月25日	江原 鮎香	ユニット4: 支持組織 - 結合組織	1) 結合組織, 軟骨組織, 骨組織, 血液の特徴について述べる。 2) 結合組織を構成する細胞と細胞間質について説明する。 3) 結合組織の種類と組織構造について説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月9日	池田 利恵	ユニット5：支持組織 -血液-	1) 血液(リンパを含む)の細胞成分と血漿について説明する。 2) 造血組織について説明する。
5月16日	小川 清美	ユニット6：支持組織 -軟骨組織-	1) 3種類の軟骨組織の細胞間質(基質)の性状を説明する。 2) 軟骨組織の種類と存在部位について説明する。
5月30日	小川 清美	ユニット7：支持組織 -骨組織	1) 骨組織を構成する細胞と骨基質について説明する。 2) 骨の組織発生-膜内骨化と軟骨内骨化-について説明する。
6月6日	池田 利恵	ユニット8：筋組織	1) 筋組織3種類の類似点と相違点を列記する。 2) 神経-筋接合部の構造を述べる。
6月13日	江原 鮎香	ユニット9：神経組織(1)	1) 神経組織の構成細胞を列記する。 2) 神経細胞(ニューロン)の構造と分類について説明する。 3) 軸索流について説明する。 4) シナプスの構造について説明する。
6月20日	江原 鮎香	ユニット10：神経組織(2)	1) 支持細胞(グリア細胞)の種類と構造について説明する。 2) 髄鞘の構成細胞と構造について説明する。 3) 中枢神経系と末梢神経系の組織構造について説明する。
6月27日	池田 利恵	ユニット11：器官系, 血管系, リンパ管系	1) 器官系が同じ機能を営む種々の器官によって構成されていることを説明する。 2) 血管の基本構造, および血管系に属する器官の構造と機能について述べる。 3) リンパ組織, リンパ器官, およびリンパ管系に属する組織や器官の構造と機能について列記する。
7月4日	池田 利恵	ユニット12：免疫系, びまん性リンパ組織, リンパ小節	1) びまん性リンパ組織の微細構造と, びまん性リンパ組織を有する器官の構造上の特性について述べる。 2) リンパ小節の微細構造と, リンパ小節を有する器官の構造上の特性について述べる。 3) 免疫系に属する組織や器官の基本構造について列記する。
7月11日	池田 利恵	ユニット13：胸腺, 脾臓	1) 胸腺の微細構造と機能について述べる。 2) 脾臓の微細構造と機能について述べる。

# 臨床につながる基礎学と教養

金曜日 14:50~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医学の臨床学習を円滑かつ確実に遂行するために、一般教養科目・歯科基礎系科目と、臨床系科目・実習を関連付け、その繋がりと重要性を理解する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

	各講義時の配付資料		
--	-----------	--	--

## 担当者一覧

菊池憲一郎, 添野雄一, 井出吉昭, 伊藤 弘, 岩原香織, 小見野真梨恵, 神尾 崇, 児玉実穂, 佐伯周子, 酒井有沙, 田中とも子, 田谷雄二, 館 晶彦, 高橋幸裕, 神 唯, 戸田智幸, 千葉忠成, 名生幸恵, 八田みのり, 前田宗宏, 柵木寿男, 松野智宣, 三浦大輔, 望月真衣

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験       論述試験       口頭試験       レポート [100%]  
 ポートフォリオ       シミュレーションテスト       実地試験       観察記録  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( )

## オフィスアワー

日時: 講義終了時に担当者へ確認

場所: 講義担当者へ確認

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月4日	化学 戸田 智幸 接着歯科学 柵木 寿男	ユニット1: 歯の修復材料の化学的特徴と修復治療について	1) 歯の修復用複合材料の種類と化学的特徴について述べる。(D-1-①) 2) 化学重合と光重合について説明する。(D-1-①) 3) 歯の修復材料に関する化学反応の働きを記述する。(D-2-①, ③~⑦, E-3-3-(1)-①) 4) 化学が修復治療の支えとなっている実態を具体的に述べる。(D-2-①, ③~⑦)
4月11日	病理学 田谷 雄二 発生再生医科学 望月 真衣	ユニット2: 幹細胞と再生医療	1) 幹細胞と再生について説明する。(A-5-3-1) 2) 再生と修復の機序について説明する。(A-5-3-1) 3) 幹細胞の応用法を説明する。(A-1-1)-⑥) 4) 最新の再生医療を知り, 包括的な治療を創造する。(A-2-1)-③)
4月18日	生化学 千葉 忠成 歯科法医学 岩原 香織	ユニット3: 個人識別における生化学的手法の応用	1) 個人識別について説明する。(B-2-3)) 2) 個人識別に有用な情報を列記する。(B-2-3)) 3) 個人識別に用いられる生化学的手法とその原理について説明する。(C-2-2)-⑤)
4月25日	歯科理工学 三浦 大輔 歯科補綴学II 八田みのり	ユニット4: 歯科材料の特性と歯冠補綴装置への応用	1) 物理的性質を説明する。(D-1-②) 2) 化学的性質を説明する。(D-1-②) 3) 材料の生体刺激性を説明。(D-1-②) 4) 歯冠補綴装置の種類を列記する。(E-3-4)-(1)-②) 5) 歯科材料の歯冠補綴装置への応用について説明する。(E-3-4)-(1)-②)
5月9日	衛生学 田中とも子 小児歯科学 名生 幸恵	ユニット5: 小児期の口腔保健	1) 母子保健法の目的を概説できる。(B-2-2)-①) 2) 歯科における母子健康手帳の役割を説明する。(B-2-2)-①) 3) 学校歯科保健の目的を概説できる。(B-2-2)-①) 4) 学校歯科医の役割を説明する。(B-2-2)-①)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標 (SBOs)
5月16日	微生物学 高橋 幸裕 歯科保存学 前田 宗宏	ユニット6：歯内療法で用いられる消毒薬・抗菌薬	1) 歯内療法で用いられる消毒薬の種類と作用機序を説明する。(C-4-1)-⑤) 2) 歯内療法で用いられる抗菌薬の種類と作用機序を説明する。(C-4-1)-④) 3) 歯内療法における消毒薬の使用法を説明する。(E-3-3)-(2)-①) 4) 歯内療法における抗菌薬の使用法を説明する。(E-3-3)-(2)-①)
5月30日	薬理学 神 唯 歯科麻酔学 酒井 有沙	ユニット7：麻酔	1) 麻酔薬の薬理作用を述べる。(C-6-2) 2) 麻酔薬の体内動態を述べる。(C-6-3) 3) 歯科で用いられる麻酔法を列記する。(E-1-4)-(2)-(4) 4) 局所麻酔法, 精神鎮静法, 全身麻酔法の特徴について述べる。(E-1-4)-(2)①, (3)①, -(4)
6月6日	生理学 佐伯 周子 口腔リハ科 児玉 実穂	ユニット8：加齢と機能	1) 生理的・病的老化について述べる。(C-3-3)-①) 2) 歯科医療に必要な臓器の生理的加齢変化を説明する。(C-3-3)-②) 3) 加齢変化が日常生活に及ぼす影響を列記する。(E-5-1)-①, (E-5-1)-②) 4) 日常生活の評価を説明する。(E-5-1)-①, (E-5-1)-②)
6月13日	解剖学Ⅰ 井出 吉昭 歯科補綴学Ⅰ 小見野真梨恵	ユニット9：義歯と解剖	1) 義歯の意義について説明する。(E-3-4)-(2)-②) 2) 全部床義歯の機能的要件(吸着, 粘着, 維持と安定)を説明する。(E-3-4)-(2)-②) 3) 義歯の維持と脱離に關与する筋について説明する。(E-3-4)-(2)-②)
6月20日	解剖学Ⅱ 菊池憲一郎 歯周病学 伊藤 弘	ユニット10：健康な歯周組織が歯周疾患に進行するまで	1) 歯周組織の発生を述べる。(E-3-1)-⑥) 2) 歯周組織の構造を具体的に述べる。(E-3-1)-⑥) 3) 歯周組織の機能を具体的に述べる。(E-3-1)-⑥) 4) 歯周病の原因を説明する。(E-3-2)-③) 5) 歯周病の発症と病態進行に伴う組織変化について説明する。(C-4-2)-①～④)
6月27日	病理学 添野 雄一 口腔外科学 松野 智宣	ユニット11：口腔粘膜の病変	1) 口腔粘膜の特徴を説明する。(E-2-2)-②) 2) 口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(4)-①) 3) 口腔粘膜の水疱, 潰瘍, 色調の変化を識別する。(E-2-4)-(4)-②) 4) 癌とその前駆状態の特徴を説明する。(E-2-4)-(6)-③, ⑤, ⑥)
7月4日	病理学 添野 雄一 小児歯科学 名生 幸恵	ユニット12：小児期にみられる歯の異常	1) 発生, 発育・交換過程を述べる。(E-3-1)-①) 2) 遺伝的な歯の形成異常を説明する。(E-3-1)-③) 3) 乳歯と永久歯のう蝕の特徴を対比する。(E-4-2)-①) 4) 小児の歯の外傷の特徴を説明する。(E-4-2)-⑦)
7月11日	歯科放射線学 神尾 崇 歯科矯正学 舘 晶彦	ユニット13：矯正歯科治療に関連する基礎学	1) 一般的な矯正治療の概要を説明する。(E-4-1)-①) 2) 矯正歯科治療に必要な画像検査について列記する。(E-4-1)-③) 3) 矯正歯科治療に関連する画像解剖について説明する。(E-1-2)-⑧) 4) 矯正歯科治療に伴う生体反応について説明する。(E-4-1)-⑥)



---

## 後学期授業科目

---

病理学 .....	68
生命歯学探究（講義） .....	70
生命歯学探究（実習） .....	72
衛生・公衆衛生学 .....	74
歯科理工学 .....	76
組織学 .....	78
地域連携・在宅医療概論 .....	80
生理学 .....	84
生化学 .....	86
生化学実習 .....	88
薬理学 .....	90
歯学英语 .....	92
生理学実習 .....	94
微生物学 .....	96
解剖学 .....	98
解剖学実習 .....	100
（計 16科目）	

Pathology .....	68
Research for Life Dental Science .....	70
Research for Life Dental Science .....	72
Public Health .....	74
Dental Materials Science .....	76
Histology .....	78
An introduction to community cooperation and home dental care in Japan .....	80
Physiology .....	84
Biochemistry .....	86
Practice of Biochemistry .....	88
Pharmacology .....	90
English for Dental Medicine .....	92
Practice of Physiology .....	94
Microbiology .....	96
Anatomy .....	98
Practice of Anatomy .....	100
(計 16科目)	

## 令和7年度（第2学年 後学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時間 曜日	9:00 )	10:40 )	13:10 )	14:50 )	16:30 )
	10:30	12:10	14:40	16:20	18:00
月	病理学 (添野)	生命歯学探究 (添野/新谷)	生命歯学探究 (実習:添野/新谷)		※
火	衛生・公衆衛生学 (講座代表者)	歯科理工学 (新谷)	組織学 (菊池)	地域連携・在宅医療概論 (田村)	※
水	生理学 (佐伯)	生化学 (美原)	生化学 (実習:千葉)		※
木	薬理学 (筒井)	歯学英语 (横山)	生理学 (実習:佐伯)		※
金	微生物学 (高橋)	解剖学 (春原)	解剖学 (実習:春原)		※

- 1) 授業期間 令和7年9月22日(月)～令和7年12月23日(火)  
 令和8年1月5日(月)～令和8年1月9日(金)  
 (令和8年1月7日(水)～令和8年1月9日(金)は授業予備日)  
 (令和7年12月24日(水)～令和8年1月4日(日)は冬期休業)

2) 講 堂 142講堂

- 3) そ の 他 ①「※」は補講，特別授業，相互学習（ピア・サポート）等。  
 ②12月23日（火）は，月曜日時間割を実施する。

4) 年間総合単位数 46.5単位

# 準備学習 課題一覧

## 使い方

授業内容を確実に理解・修得できるよう、事前に各自で取り組んでおく課題を掲載します。各授業ユニットの受講前に確認・実施してください。単位科目の修得には、受講のみならず予習・復習を含めた十分な学習時間が必要です。

## 病理学

月曜日 1限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	「スタンダード病理学」p1, p14—32を読み, 要点を確認する。	
ユニット2	「スタンダード病理学」p1, p14—32を読み, 要点を確認する。	
ユニット3	「スタンダード病理学」p190—215を読み, 要点を確認する。	
ユニット4	「スタンダード病理学」p14—40を読み, 要点を確認する。	
ユニット5	「スタンダード病理学」p42—56を読み, 要点を確認する。	
ユニット6	「スタンダード病理学」p56—62を読み, 要点を確認する。	
ユニット7	「スタンダード病理学」p216—243を読み, 要点を確認する。	
ユニット8	「スタンダード病理学」p74—77, p81—89を読み, 要点を確認する。	
ユニット9	「スタンダード病理学」p74—81, p89—106を読み, 要点を確認する。	
ユニット10	「スタンダード病理学」p110—129を読み, 要点を確認する。	
ユニット11	「スタンダード病理学」p129—157, p182, p188, p189を読み, 要点を確認する。	
ユニット12	「スタンダード病理学」p244—248, p259—262を読み, 要点を確認する。	
ユニット13	「スタンダード病理学」p248—275を読み, 要点を確認する。	

## 生命歯学探究

月曜日 2限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	科学(サイエンス)や研究の概念, 現代の課題や問題点について調べる。	
ユニット2	演者の所属分野と演題のキーワードについて調べる。	
ユニット3	演者の所属分野と演題のキーワードについて調べる。	
ユニット4	演者の所属分野と演題のキーワードについて調べる。	
ユニット5	演者の所属分野と演題のキーワードについて調べる。	
ユニット6	演者の所属分野と演題のキーワードについて調べる。	
ユニット7	演者の所属分野と演題のキーワードについて調べる。	
ユニット8	演者の所属分野と演題のキーワードについて調べる。	
ユニット9	演者の所属分野と演題のキーワードについて調べる。	
ユニット10	演者の所属分野と演題のキーワードについて調べる。	
ユニット11	演者の所属分野と演題のキーワードについて調べる。	
ユニット12	グループで取り組んだ研究内容を口頭で説明できるように準備する。	
ユニット13	半年間の研究活動を振り返り, 成果や課題を整理する。	

# 生命歯学探究実習

月曜日 3・4限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	本学ホームページを参照し、生命歯学部各講座の特色について調べる。	
ユニット2	配属先研究室の研究課題についてホームページ等で調べる。	
ユニット3	前ユニットで検討した課題を踏まえ、実施予定課題・実験の内容を確認する。	
ユニット4	前ユニットで検討した課題を踏まえ、実施予定課題・実験の内容を確認する。	
ユニット5	前ユニットで検討した課題を踏まえ、実施予定課題・実験の内容を確認する。	
ユニット6	前ユニットで検討した課題を踏まえ、実施予定課題・実験の内容を確認する。	
ユニット7	前ユニットで検討した課題を踏まえ、実施予定課題・実験の内容を確認する。	
ユニット8	前ユニットで検討した課題を踏まえ、実施予定課題・実験の内容を確認する。	
ユニット9	前ユニットで検討した課題を踏まえ、実施予定課題・実験の内容を確認する。	
ユニット10	前ユニットで検討した課題を踏まえ、実施予定課題・実験の内容を確認する。	
ユニット11	これまでのユニットで得た成果を振り返り、発表マテリアルの構想を練る。	
ユニット12	研究内容について口頭で説明し、質疑に答えられるよう発表データを確認する。	
ユニット13	半年間の研究活動を振り返り、成果や課題を整理する。	

## 衛生・公衆衛生学

火曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット2	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット3	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット4	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット5	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット6	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット7	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット8	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット9	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット10	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット11	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット12	「社会保障と医療」について調べる。	
ユニット13	「口腔衛生学2024」を参考に講義テーマについて学習する。	

## 歯科理工学

火曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	スタンダード歯科理工第8版の「成形修復材料」の「概論」,「コンポジットレジン」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット2	スタンダード歯科理工第8版の「成形修復材料」の「グラスアイオノマーセメント」,「歯科用アマルガム」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット3	スタンダード歯科理工第8版の「歯冠補綴用レジン」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット4	ユニット1～3の学習テーマについて復習する。	
ユニット5	スタンダード歯科理工第8版の「歯科用金属材料」の「概要」,「合金の状態図」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット6	スタンダード歯科理工第8版の「歯科用金属材料」の「歯科用合金」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット7	スタンダード歯科理工第8版の「歯科用金属材料」の「歯科用合金」,「歯科用磁性合金」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット8	ユニット5～7の学習テーマについて復習する。	
ユニット9	スタンダード歯科理工第8版の「歯科用ワックス」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット10	スタンダード歯科理工第8版の「鋳造用材料」の「概要」,「鋳造用パターン材」,「鋳造用埋没材」,「石膏系埋没材」,「高温鋳造用埋没材」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット11	スタンダード歯科理工第8版の「鋳造用材料」の「鋳造体の製作工程」,「鋳造体の精度」,「鋳造欠陥とその対策」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット12	スタンダード歯科理工第8版の「歯科用金属材料」の「金属の成形加工」,「熱処理」を参考に学習テーマについて学習する。	
ユニット13	ユニット9～12の学習テーマについて復習する。	

# 組織学

火曜日 3 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p327-329,p346-348を読み, 要点を確認する。	
ユニット2	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p348-364を読み, 要点を確認する。	
ユニット3	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p364-379を読み, 要点を確認する。	
ユニット4	ユニット1～3について, 要点を再確認する。	
ユニット5	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p197-212を読み, 要点を確認する。	
ユニット6	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p213-222,p348-353を読み, 要点を確認する。	
ユニット7	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p381-387,p346-347を読み, 要点を確認する。	
ユニット8	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p387-395を読み, 要点を確認する。	
ユニット9	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p397-417を読み, 要点を確認する。	
ユニット10	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p419-459を読み, 要点を確認する。	
ユニット11	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p253-274を読み, 要点を確認する。	
ユニット12	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p275-296を読み, 要点を確認する。	
ユニット13	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p276-310を読み, 要点を確認する。	

# 地域連携・在宅医療概論

火曜日 4 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニックについて調べておく。 ( <a href="https://www.tky.ndu.ac.jp/hospital/tama_clinic/">https://www.tky.ndu.ac.jp/hospital/tama_clinic/</a> )	
ユニット2	:障害者歯科医療の概念について予習しておくこと。医療ソーシャルワーカーについて調べておく。	
ユニット3	日本障害者歯科学会発行の小児在宅歯科医療の手引き (file:///C:/Users/FHT/Dropbox/PC/Downloads/guideline.pdf)に目を通しておく。	
ユニット4	日本障害者歯科学会発行の小児在宅歯科医療の手引き (file:///C:/Users/FHT/Dropbox/PC/Downloads/guideline.pdf)に目を通しておく。	
ユニット5	有病児の歯科医療や小児の緩和ケアについて予習しておく。	
ユニット6	日本歯科大学在宅ケア新潟クリニックにおける訪問歯科について調べておく。 ( <a href="https://www.ngt.ndu.ac.jp/hospital/clinic/index.html">https://www.ngt.ndu.ac.jp/hospital/clinic/index.html</a> )	
ユニット7	地域医療支援病院の役割について予習しておく。	
ユニット8	口腔保健支援センターの役割について調べておく。	
ユニット9	人生の終末期における歯科のかかわりについて調べておくこと。ホスピスケアについて予習しておく。	
ユニット10	病院歯科の役割について調べておく。	
ユニット11	周術期口腔機能管理について予習しておく。	
ユニット12	誤嚥性肺炎予防と歯科の役割について予習しておく。	
ユニット13	一次医療における歯科訪問診療について調べておく。	

# 生理学

水曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	講義資料をダウンロードする。教科書p400-412, p419-425を参考に要点を確認する。	
ユニット2	講義資料をダウンロードする。教科書p200-206, p343-355を参考に要点を確認する。	
ユニット3	講義資料をダウンロードする。教科書第5章(p103-122)を参考に要点を確認する。	
ユニット4	講義資料をダウンロードする。教科書p233-245を参考に要点を確認する。	
ユニット5	講義資料をダウンロードする。教科書p356-372, p379-399を参考に要点を確認する。	
ユニット6	講義資料をダウンロードする。教科書第7章(p132-150)を参考に要点を確認する。	
ユニット7	講義資料をダウンロードする。教科書第7, 8章(p132-156)を参考に要点を確認する。	
ユニット8	教科書, 講義資料等に目を通してこれまでの授業内容を把握する。	
ユニット9	講義資料をダウンロードする。教科書p157-179を参考に要点を確認する。	
ユニット10	講義資料をダウンロードする。教科書p51-59を参考に要点を確認する。	
ユニット11	講義資料をダウンロードする。教科書p51-59を参考に要点を確認する。	
ユニット12	講義資料をダウンロードする。教科書p246-273, p278を参考に要点を確認する。	
ユニット13	講義資料をダウンロードする。教科書p123-131を参考に要点を確認する。	

# 生化学

水曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	「イラストレイテッド生化学」p.491～514を読んで要点を確認する。	
ユニット2	「イラストレイテッド生化学」p.317～335を読んで要点を確認する。	
ユニット3	「イラストレイテッド生化学」p.379～395を読んで要点を確認する。	
ユニット4	イラストレイテッド生化学(第8版)の第30章を読んで要点を確認する。	
ユニット5	イラストレイテッド生化学(第8版)の第30章を読んで要点を確認する。	
ユニット6	イラストレイテッド生化学(第8版)の第31, 33章を読んで要点を確認する。	
ユニット7	イラストレイテッド生化学(第8版)の第31, 33章を読んで要点を確認する。	
ユニット8	イラストレイテッド生化学(第8版)の第32章を読んで要点を確認する。	
ユニット9	イラストレイテッド生化学(第8版)の第32章を読んで要点を確認する。	
ユニット10	イラストレイテッド生化学(第8版)p548—554を読み, 要点を確認する。	
ユニット11	イラストレイテッド生化学(第8版)p617—621,634—640を読み, 要点を確認する。	
ユニット12	イラストレイテッド生化学(第8版)p617—646を読み, 要点を確認する。	
ユニット13	イラストレイテッド生化学(第8版)の第34章を読んで要点を確認する。	

# 生化学実習

水曜日 3・4限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	「生化学実習書」p.1～15, p.171～174を読んで要点を確認する。	
ユニット2	「生化学実習書」p.17～23, p.175～176を読んで要点を確認する。	
ユニット3	「生化学実習書」p.25～27, p.177～178を読んで要点を確認する。	
ユニット4	「生化学実習書」p.29～31, p.179～181を読んで要点を確認する。	
ユニット5	「生化学実習書」p.39～45, p.183～186を読んで要点を確認する。	
ユニット6	「生化学実習書」p.47～58, p.187～190を読んで要点を確認する。	
ユニット7	「生化学実習書」p.59～65, p.191～194を読んで要点を確認する。	
ユニット8	「生化学実習書」p.67～69, p.195～196を読んで要点を確認する。	
ユニット9	「生化学実習書」p.72～83, p.197～199を読んで要点を確認する。	
ユニット10	「生化学実習書」p.89～90, p.201～202を読んで要点を確認する。	
ユニット11	「生化学実習書」p.125～151, p.203～204を読んで要点を確認する。	
ユニット12	「生化学実習書」p.153～159, p.161～165, p.205～210を読んで要点を確認する。	
ユニット13	「生化学実習書」p.167～170, p.211～212を読んで要点を確認する。	

# 薬理学

木曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	歯科薬物療法学 p89-99 を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット2	歯科薬物療法学 p103-120を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット3	歯科薬物療法学 p186-190 を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット4	歯科薬物療法学 p190-196 を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット5	歯科薬物療法学 p196-199 を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット6	歯科薬物療法学 p121-133 を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット7	歯科薬物療法学 p201-225 を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット8	歯科薬物療法学 p201-209 を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット9	歯科薬物療法学 p209-225 を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット10	中間試験の準備をする。Key Words (p227-228の範囲)を理解する。	
ユニット11	歯科薬物療法学 p228-233 を読み, Key Wordsを理解する。	
ユニット12	歯学教育入門編を読み, 漢方医学の概要と漢方薬の応用を理解する。	
ユニット13	内容をまとめた動画を視聴し, 漢方の役割と副作用を理解する。	

# 歯学英语

木曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	歯科学生のための医学英語『Leukoplakia』の項を確認する。	
ユニット2	歯科学生のための医学英語『Leukoplakia』の項を確認する。	
ユニット3	歯科学生のための医学英語『Herpes Simplex』の項を確認する。	
ユニット4	歯科学生のための医学英語『Herpes Simplex』の項を確認する。	
ユニット5	歯科学生のための医学英語『The Temporomandibular Joint』の項を確認する。	
ユニット6	歯科学生のための医学英語『The Temporomandibular Joint』の項を確認する。	
ユニット7	歯科学生のための医学英語『Sialolithiasis』の項を確認する。	
ユニット8	歯科学生のための医学英語『Sialolithiasis』の項を確認する。	
ユニット9	歯科学生のための医学英語『Inferior Alveolar Nerve Block』の項を確認する。	
ユニット10	歯科学生のための医学英語『Trigeminal Neuralgia』の項を確認する。	
ユニット11	歯科学生のための医学英語『Trigeminal Neuralgia』の項を確認する。	
ユニット12	歯科学生のための医学英語『Paranasal Sinusitis』の項を確認する。	
ユニット13	歯科学生のための医学英語『Paranasal Sinusitis』の項を確認する。	

# 生理学実習

木曜日 3・4限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	生理学実習書IV-1. 神経の興奮を参考に要点を確認する。	
ユニット2	生理学実習書IV-11. 脈拍と血圧の測定を参考に要点を確認する。	
ユニット3	生理学実習書IV-8. 味覚(全口腔法)を参考に要点を確認する。	
ユニット4	生理学実習書IV-6. ①触・圧点の分布, ②二転弁別関を参考に要点を確認する。	
ユニット5	生理学実習書IV-10. 摂食と嚥下を参考に要点を確認する。	
ユニット6	生理学実習書IV-14. 酸素飽和度と呼吸ガス分圧, IV-4. 腱反射と原始反射を参考に要点を確認する。	
ユニット7	生理学実習書IV-12. 心電図検査を参考に要点を確認する。	
ユニット8	生理学実習書IV-13. スパイロメリーによる換気機能検査を参考に要点を確認する。	
ユニット9	生理学実習書IV-2. 骨格筋の収縮を参考に要点を確認する。	
ユニット10	生理学実習書IV-7. 口腔機能検査, IV-15聴覚と振動覚(音叉を使った測定)を参考に要点を確認する。	
ユニット11	生理学実習書IV-5咀嚼筋電図の記録・顎反射を参考に要点を確認する。	
ユニット12	実習書, 実習中のメモ等に目を通して要点を確認する。	
ユニット13	実習書, 教科書, 実習中のメモ等に目を通してこれまでの実習授業内容を把握する。	

# 微生物学

金曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	配付資料および教科書 pp.85-87 101-105 を参照し予習する。	
ユニット2	配付資料および教科書 pp.105-110 を参照し予習する。	
ユニット3	配付資料および教科書 pp.111-113 を参照し予習する。	
ユニット4	配付資料および教科書 pp.113-122 を参照し予習する。	
ユニット5	配付資料および教科書 pp.123-140 を参照し予習する。	
ユニット6	配付資料および教科書 pp.2-14 191-208 410-412を参照し予習する。	
ユニット7	配付資料および教科書 pp.2-14 141-144 を参照し予習する。	
ユニット8	配付資料および教科書 pp.144-150を参照し予習する。	
ユニット9	配付資料および教科書 pp.150-157 189 413-417 を参照し予習する。	
ユニット10	配付資料および教科書 pp.158-163 189を参照し予習する。	
ユニット11	配付資料および教科書 pp.164-172 185-190 を参照し予習する。	
ユニット12	配付資料および教科書 pp.179-185 を参照し予習する。	
ユニット13	配付資料および教科書 pp.173-178 を参照し予習する。	

# 解剖学

金曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	口腔解剖学第3版P98を読み要点を確認する。	
ユニット2	口腔解剖学第3版P89-101, P199-207, P234-239を読み要点を確認する。	
ユニット3	口腔解剖学第3版P234-239を読み要点を確認する。	
ユニット4	口腔解剖学第3版P144-145を読み要点を確認する。	
ユニット5	口腔解剖学第3版P145-149を読み要点を確認する。	
ユニット6	口腔解剖学第3版P181-186を読み要点を確認する。	
ユニット7	口腔解剖学第3版P186-192を読み要点を確認する。	
ユニット8	口腔解剖学第3版P154-161を読み要点を確認する。	
ユニット9	口腔解剖学第3版P154-161を読み要点を確認する。	
ユニット10	口腔解剖学第3版P162-169を読み要点を確認する。	
ユニット11	口腔解剖学第3版P189-195を読み要点を確認する。	
ユニット12	ユニット1-11で学習した内容を改めて確認する。	
ユニット13	口腔解剖学第3版P266-270を読み要点を確認する。	

# 解剖学実習

金曜日 3・4限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	Moodle上にある解剖学自習室プリントを参照し、実習の手順を確認する。	
ユニット2	Moodle上にある解剖学自習室プリントを参照し、実習の手順を確認する。	
ユニット3	Moodle上にある解剖学自習室プリントを参照し、実習の手順を確認する。	
ユニット4	Moodle上にある解剖学自習室プリントを参照し、実習の手順を確認する。	
ユニット5	Moodle上にある解剖学自習室プリントを参照し、実習の手順を確認する。	
ユニット6	Moodle上にある解剖学自習室プリントを参照し、実習の手順を確認する。	
ユニット7	Moodle上にある解剖学自習室プリントを参照し、実習の手順を確認する。	
ユニット8	Moodle上にある解剖学自習室プリントを参照し、実習の手順を確認する。	
ユニット9	Moodle上にある解剖学自習室プリントを参照し、実習の手順を確認する。	
ユニット10	Moodle上にある解剖学自習室プリントを参照し、実習の手順を確認する。	
ユニット11	Moodle上にある解剖学自習室プリントを参照し、実習の手順を確認する。	
ユニット12	Moodle上にある解剖学自習室プリントを参照し、実習の手順を確認する。	
ユニット13	実習試験に向けた準備を行う。	

# 病理学

月曜日 9:00~10:30

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医師として必要な疾患概念と病態の知識を得るために、病理学総論として疾患の成り立ちと病態を説明するうえで必須な用語とその定義を整理し、病因論・細胞傷害・代謝障害・組織修復・異物処理・循環障害・炎症・遺伝性疾患・腫瘍の病変について理解する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
下野正基 編	スタンダード病理学	第1版	学建書院
日本歯科大学病理学講座 編 (添野雄一 監修)	ポイントレビュー 病理学・口腔病理学	第1版	キタ・メディア出版
日本歯科大学病理学講座 編 (青葉孝昭 監修)	歯学生のための最新・病態病理学入門 (冊子版)	第2版	杏林舎
日本歯科大学病理学講座 編 (青葉孝昭 監修)	歯学生のための最新・病態病理学入門 (epub版)	第1版	杏林舎
	Webサイト <a href="http://www.ndu.ac.jp/~pathhome/patho06.html">http://www.ndu.ac.jp/~pathhome/patho06.html</a>		

## 担当者一覧

添野雄一, 田谷雄二, 工藤朝雄

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [50%]     論述試験 [30%]     口頭試験     レポート  
 ポートフォリオ     シミュレーションテスト     実地試験     観察記録  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 (中間試験 [20%])

## オフィスアワー

日時: 毎週月曜日 16:30~18:30  
場所: 本館6階 病理学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月22日	添野 雄一	ユニット1: 病理学序論	1) 本授業の概要と目的を述べる。 2) 健康と病気の概念を述べる。(B-1)-① 3) 個体死と死因を説明する。(C-5-7)-①
9月29日	添野 雄一	ユニット2: 病因論	1) 疾患概念と病気の成り立ちを概説する。(B-1)-① 2) 外因と内因を分類する。(C-5-1)-①, ② 3) 疾患に対する外因と内因の関わりを述べる。(C-5-1)-①, ②
10月6日	田谷 雄二	ユニット3: 代謝障害と疾患	1) 代謝障害に関わる病変を分類する。(C-5-2)-② 2) 細胞内と細胞外の物質の蓄積の病態を対比する。(C-5-2)-② 3) 病的石灰化と色素沈着を概説する。(C-5-2)-②
10月20日	田谷 雄二	ユニット4: 細胞傷害と疾患	1) 細胞傷害と組織傷害を説明する。(C-5-2)-① 2) 萎縮の病態を分類する。(C-5-2)-④ 3) 細胞死を類別する。(C-2-3)-④, (C-5-2)-③

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標 (SB0s)
10月27日	田谷 雄二	ユニット5：細胞の増殖・分化と疾患	1) 肥大と過形成を対比する。(C-5-3)-②) 2) 組織の再生能を述べる。(C-5-3)-③) 3) 化生について説明する。(C-5-3)-①)
11月10日	田谷 雄二	ユニット6：修復と異物処理	1) 異物処理を類別する。(C-5-3)-⑤) 2) 肉芽組織の構成要素を列記する。(C-5-3)-⑤) 3) 創傷治癒と抜歯創治癒の過程を説明する。(C-5-3)-④)
11月17日	添野 雄一	ユニット7：遺伝性疾患 [ 中間試験予定 ]	1) 遺伝性疾患を類別する。(C-2-2)-④) 2) 遺伝子変異による疾患を述べる。(C-5-1)-①) 3) 染色体異常による疾患を述べる。(C-5-1)-①)
12月1日	工藤 朝雄	ユニット8：循環障害 (1)	1) 虚血の原因と病態を説明する。(C-5-4)-①) 2) 充血とうっ血の病態を対比する。(C-5-4)-①) 3) 出血の原因、種類及び転帰を説明する。(C-5-4)-②)
12月8日	工藤 朝雄	ユニット9：循環障害 (2)	1) 血栓症と塞栓症を説明する。(C-5-4)-③) 2) 梗塞の発症機序を説明する。(C-5-4)-④) 3) ショックと浮腫の原因と病態を述べる。(C-5-4)-⑤, ⑥)
12月15日	工藤 朝雄	ユニット10：炎症 (1)	1) 炎症の定義を述べる。(C-5-5)-①) 2) 炎症に関わる細胞の種類とその役割を述べる。(C-5-5)-②) 3) 炎症反応の時間経過と予後を説明する。(C-5-5)-①) 4) 急性炎症と慢性炎症の違いを説明する。(C-5-5)-①)
12月22日	工藤 朝雄	ユニット11：炎症 (2)	1) 滲出性炎を分類する。(C-5-5)-③) 2) 化膿性炎を説明する。(C-5-5)-③) 3) 肉芽腫性炎を列記する。(C-5-5)-④) 4) 結核結節の成り立ちを説明する。(C-5-5)-④)
12月23日	工藤 朝雄	ユニット12：腫瘍 (1)	1) 自律的増殖の意味を理解する。(C-5-6)-①) 2) 腫瘍の発育様式と異型性を説明する。(C-5-6)-④) 3) 良性腫瘍と悪性腫瘍の鑑別点を列記する。(C-5-6)-⑥)
1月5日	工藤 朝雄	ユニット13：腫瘍 (2)	1) 転移の様式を分類する。(C-5-6)-⑥) 2) 腫瘍分類を列記する。(C-5-6)-⑤) 3) 腫瘍化の仕組みと多段階発癌を説明する。(C-5-6)-②)



授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
11月10日	研究実施者	ユニット6：生命歯学研究の実際（5）	1）研究者の話から重要事項を抽出する。（A-2-2）-①） 2）研究者が挙げた問題点に対して自分の考えを述べる。（A-2-2）-②） 3）得られた気づきを自分の活動に適用する。
11月17日	研究実施者	ユニット7：生命歯学研究の実際（6）	1）研究者の話から重要事項を抽出する。（A-2-2）-①） 2）研究者が挙げた問題点に対して自分の考えを述べる。（A-2-2）-②） 3）得られた気づきを自分の活動に適用する。
12月1日	研究実施者	ユニット8：生命歯学研究の実際（7）	1）研究者の話から重要事項を抽出する。（A-2-2）-①） 2）研究者が挙げた問題点に対して自分の考えを述べる。（A-2-2）-②） 3）得られた気づきを自分の活動に適用する。
12月8日	研究実施者	ユニット9：生命歯学研究の実際（8）	1）研究者の話から重要事項を抽出する。（A-2-2）-①） 2）研究者が挙げた問題点に対して自分の考えを述べる。（A-2-2）-②） 3）得られた気づきを自分の活動に適用する。
12月15日	研究実施者	ユニット10：生命歯学研究の実際（9）	1）研究者の話から重要事項を抽出する。（A-2-2）-①） 2）研究者が挙げた問題点に対して自分の考えを述べる。（A-2-2）-②） 3）得られた気づきを自分の活動に適用する。
12月22日	研究実施者	ユニット11：生命歯学研究の実際（10）	1）研究者の話から重要事項を抽出する。（A-2-2）-①） 2）研究者が挙げた問題点に対して自分の考えを述べる。（A-2-2）-②） 3）得られた気づきを自分の活動に適用する。
12月23日	添野 雄一 新谷 明一	ユニット12：探究成果の発表	1）各トピックスの探究成果をプレゼンテーションする。（A-2-2）-③） 2）発表方法を習得する。 3）探究成果を討議する。 4）探究成果を評価する。
1月5日	添野 雄一 新谷 明一	ユニット13：探究活動の自己評価	1）探究成果の再確認と自己評価を実施する。 2）成果報告書を作成する。（A-2-2）-③） 3）歯科医学研究の重要性を説明する。 （A-1-1）-⑥，（A-9-1）-③）

# 生命歯学探究実習

月曜日 13:10~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

生涯にわたって歯科医学の発展と歯科医療の質の向上に寄与するために、興味ある研究・調査に参画することによって、科学的根拠の必要性を認識し、具現化に必要な基本的態度・技能・知識を身につける。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

	特記すべき書籍なし		
--	-----------	--	--

## 担当者一覧

添野雄一, 新谷明一, 田谷雄二, 名生幸恵, 葛城啓彰, 井出吉昭, 鈴木章弘, 前野雅彦, 中原 貴, 望月真衣, 小林朋子, 春原正隆, 鈴木金吾, 菊池憲一郎, 池田利恵, 小川清美, 井出良治, 肖 黎, 橋爪那奈, 千葉忠成, 美原希美, 根岸 翼, 高橋幸裕, 才木桂太郎, 田代有美子, 山中 幸, 佐藤かおり, 工藤朝雄, 埴 太宥, 神 唯, 鳥居大祐, 三浦大輔, 石田祥己, 伊井久貴, 山下万美子, 林田尚斗, 加藤雄一, 岡本亜祐子, 田中聖至, 新井一仁, 栃木啓佑, 河本 芽, 中澤美和, 前田宗宏, 西田太郎, 関谷美貴, 三枝慶祐, 村山文康, 村檉悦子, 五十嵐寛子, 里見貴史, 岡村武志, 稲田 諒, 小柳昌央, 筒井友花子, 横山正起, 八田みのり, 渡邊 慧, 河合泰輔, 浅海利恵子, 神尾 崇, 永浦まどか

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験       論述試験       口頭試験       レポート  
 ポートフォリオ       シミュレーションテスト       実地試験       観察記録 [50%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 (探究活動の取り組み・プロダクトの評価) [50%]

## オフィスアワー

日時: 各領域の支援担当者との協議に従う。

場所: 各領域の支援担当者との協議に従う。

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月22日	添野 雄一 新谷 明一 領域担当者	ユニット1: 各領域の探究トピックス (説明会)	1) 各領域の探究トピックスを判断する。(A-2-2)-⑤ 2) 各領域のトピックス内容を比較する。 3) 興味あるトピックスの詳細を理解する。 4) 参画したい探究トピックスを選択する。
9月29日	領域担当者	ユニット2: 選択領域におけるグループ討議	1) 配属先提示のトピックスを対比し, 選択する。(A-2-2)-⑤ 2) 各トピックスの研究方法を討議する。 3) 各トピックスの探究計画を立案する。 4) 各トピックスから得られる成果を予測する。 ※以下必要に応じた対応 5) 文献の検索法を実施する。 6) 学術雑誌からトピックス関連資料を収集する。 7) 文献を熟読し内容を説明する。
10月6日	領域担当者	ユニット3: 選択トピックスの研究手法	1) 各種研究・調査手法を述べる。(A-2-2)-① 2) 用いる機器の構造・動作原理を説明する。 3) 各種装置を操作する。
10月20日	領域担当者	ユニット4: 選択トピックスの研究・調査 (1)	1) トピックスに沿った研究・調査を工夫する。(A-2-2)-① 2) 研究・調査実施法を説明する。 3) 研究・調査を分担する。 4) データを測定する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月27日	領域担当者	ユニット5：選択トピックスの研究・調査（2）	1) 研究・調査実施上の問題点を列挙する。 （A-2-2）-① 2) 問題の解決法を討議する。 3) データの収集法を説明する。 4) データを収集する。
11月10日	領域担当者	ユニット6：選択トピックスの研究・調査（3）	1) 研究・調査結果を討議する。（A-2-2）-① 2) 不足するデータを列挙する。 3) データ整理を実施する。 4) データ収集を追加実施する。
11月17日	領域担当者	ユニット7：選択トピックスの研究・調査（4）	1) 研究・調査結果を討議する。（A-2-2）-① 2) 不足するデータを列挙する。 3) データ整理を実施する。 4) データ収集を追加実施する。
12月1日	領域担当者	ユニット8：選択トピックスの研究・調査（5）	1) 研究・調査結果を討議する。（A-2-2）-① 2) 不足するデータを列挙する。 3) データ整理を実施する。 4) データ収集を追加実施する。
12月8日	領域担当者	ユニット9：選択トピックスの研究・調査（6）	1) 研究・調査結果を討議する。（A-2-2）-① 2) 不足するデータを列挙する。 3) データ整理を実施する。 4) データ収集を追加実施する。
12月15日	領域担当者	ユニット10：選択トピックスの研究・調査（7）	1) 研究・調査結果を討議する。（A-2-2）-① 2) 不足するデータを列挙する。 3) データ整理を実施する。 4) データ収集を追加実施する。
12月22日	領域担当者	ユニット11：成果の取りまとめ	1) データの整理法を工夫する。 （A-2-2）-②, A-8-1）-① 2) トピックスの探究背景・目的・方法・結果・考察・結論を討議する。 3) 探究活動の成果を抄録（緒言・材料および方法・結果・考察・結論）にまとめる。 4) プレゼンテーション用の媒体を作成する。
12月23日	添野 雄一 新谷 明一 領域担当者	ユニット12：選択トピックス探究成果の発表	1) 各トピックスの探究成果を発表する（ポスタープレゼンテーション）。（A-2-2）-③ 2) 発表方法を習得する。 3) 探究成果を討議する。 4) 探究成果を評価する。
1月5日	領域担当者	ユニット13：選択トピックス探究成果のまとめ	1) 各トピックスの探究成果報告書を書式に基づいて作成する。（A-2-2）-③ 2) 報告書作成方法を習得する。 3) 探究成果を再確認する。 4) 各探究についての自己評価を行う。

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医師法第1条が定める歯科医師最大の任務「公衆衛生の向上に寄与する歯科医師」に必要な公衆衛生を、一層深く洞察する能力を修得するため、健康を妨げる社会・環境的諸因子、そして健康を増進する社会システムを理解する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

杉原直樹, 福田雅臣, 川戸貴行 編	口腔衛生学2024	第1版	一世出版
--------------------	-----------	-----	------

## 担当者一覧

田中とも子, 佐藤勝弘, 大島克郎, 堀江哲郎, 山下万美子

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [60%]       論述試験 [40%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 毎週火曜日 16:00~17:00 および登校日は随時  
場所: 本館5階 衛生学講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月30日	佐藤 勝弘	ユニット1: 社会環境と健康	1) 健康を規定する環境要因を述べる。 2) Claude Bernardの提唱した環境と健康の概念を説明する。 3) 環境要因に対する生体機能 (恒常性, 適応, 順化) について説明する。 4) わが国の疾病構造を説明する。
10月7日	堀江 哲郎	ユニット2: 生活環境と健康 (1)	1) 水と健康との関わり合いを述べる。 2) 上水の水質基準を説明する。 3) 浄水法を説明する。 4) 下水終末処理法について説明する。 5) 水と健康被害について述べる。 6) 温熱環境による健康影響を説明する。
10月14日	堀江 哲郎	ユニット3: 生活環境と健康 (2)	1) 空気成分と健康影響との関連を説明する。 2) 騒音による健康影響について説明する。 3) 振動による健康影響を説明する。 4) 放射線による生体影響について説明する。 5) 住居環境と健康影響を概説する。 6) わが国および国際的な廃棄物対策を述べる。 7) 医療廃棄物について述べる。
10月21日	堀江 哲郎	ユニット4: 地球環境変動と健康	1) 地球温暖化について説明する。 2) 温室効果ガス削減の国際的対策を述べる。 3) 砂漠化について説明する。 4) 酸性雨発生について述べる。 5) オゾン層破壊について述べる。 6) オゾン層保護の国際的取り組み述べる。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月28日	堀江 哲郎	ユニット5：公害	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 環境基本法について説明する。</li> <li>2) 4大公害病について述べる。</li> <li>3) 大気汚染防止対策の概要を説明する。</li> <li>4) 内分泌かく乱化学物質について述べる。</li> <li>5) 生物濃縮について述べる。</li> <li>6) 大気汚染の現状と健康被害について述べる。</li> </ol>
11月4日	田中とも子	ユニット6：母子と健康	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) わが国の母子の健康に関する問題点を述べる。</li> <li>2) 健やか親子21の概要を述べる。</li> <li>3) わが国の母子保健対策の概要を説明する。</li> </ol>
11月11日	大島 克郎	ユニット7：地域社会と健康(健康政策)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地域保健の定義を述べる。</li> <li>2) 地域保健法を述べる。</li> <li>3) 保健所・市町村保健センターを説明する。</li> <li>4) プライマリ・ヘルスケアとヘルスプロモーションを説明する。</li> <li>5) ソーシャル・キャピタルを説明する。</li> <li>6) 健康増進法を説明する。</li> <li>7) 健康増進法の保健事業について説明する。</li> <li>8) 健康日本21の概要を説明する。</li> </ol>
11月18日	山下万美子	ユニット8：学校環境と健康	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学校保健の意義を述べる。</li> <li>2) 学校における健康問題の現状を説明する。</li> <li>3) 保健活動の概要を説明する。</li> <li>4) 学校保健の仕組みと学校歯科医師の役割を述べる。</li> <li>5) 学校感染症と学校病を説明する。</li> </ol>
11月25日	田中とも子	ユニット9：労働環境と健康(1)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 産業保健の意義を述べる。</li> <li>2) わが国の労働災害の現場を説明する。</li> <li>3) 労働者の衛生管理体制について説明する。</li> <li>4) 職業性疾患の概要を述べる。</li> </ol>
12月2日	田中とも子	ユニット10：労働環境と健康(2)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 物理的環境因子による健康障害を説明する。</li> <li>2) 化学的環境因子による健康障害を説明する。</li> <li>3) 作業条件による健康障害を説明する。</li> <li>4) 職業性歯科疾患について述べる。</li> <li>5) トータルヘルスプロモーションプランの概要を説明する。</li> </ol>
12月9日	大島 克郎	ユニット11：成人・高齢者と健康	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 人口の高齢化について述べる。</li> <li>2) 高齢者医療確保法の目的を説明する。</li> <li>3) 高齢者医療確保法の保健事業について説明する。</li> <li>4) 後期高齢者医療制度について説明する。</li> <li>5) 要介護者に関する保健制度・関連法規について説明する。</li> <li>6) 介護サービスの種類を列挙する。</li> <li>7) 歯科に関わりのある介護サービスについて説明する。</li> </ol>
12月16日	大島 克郎	ユニット12：社会保障と医療	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) わが国の社会保障と医療に関する制度・関連法規について説明する。</li> <li>2) 医療保険の種類を列挙する。</li> <li>3) 歯科と医療保険との関わりについて説明する。</li> </ol>
1月6日	大島 克郎	ユニット13：精神保健	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 我が国における精神障害の現状を理解する。</li> <li>2) 地域における精神保健福祉体制を説明する。</li> </ol>

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科材料の概念を理解するために、一般教育科目、2年生前期で履修した知識を整理し、その作製法や使用法についての知識を修得する。

### 教科書・参考書

#### 著者・編集

#### 書名

#### 版

#### 出版社

中嶋 裕, 宮崎 隆,  
米山隆之: 編集幹事

スタンダード歯科理工学  
—生体材料と歯科材料—

第8版

学建書院

### 担当者一覧

新谷明一, 石田祥己, 三浦大輔, 青柳有祐

### 学習方略

- 講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

### 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [60%]       論述試験 [30%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 (プレ・ポストテスト [10%])

### オフィスアワー

日時: 毎週 火曜日 12:10~13:00

場所: 本館4階 歯科理工学講座実習室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月30日	三浦 大輔	ユニット1: 成形修復材料 I	1) コンポジットレジンの説明する。 2) コンポジットレジンの組成, 重合方法, 硬化機構を説明する。
10月7日	三浦 大輔	ユニット2: 成形修復材料 II	1) グラスアイオノマーセメントの説明する。 2) グラスアイオノマーセメントの組成, 重合方法, 硬化機構を説明する。 3) 歯科用アマルガムを説明する。 4) 歯科用アマルガムの組成, 硬化機構, 性質を説明する。 5) 各材料の特徴を列記する。
10月14日	青柳 有祐	ユニット3: 歯冠用硬質レジン	1) 歯冠用硬質レジンの説明する。 2) 歯冠用硬質レジンの組成, 硬化機構, 性質を説明する。 3) レジン前装冠の作製手順を説明する。
10月21日	三浦 大輔	ユニット4: 演習問題および解説	1) 小テストによりユニット1~3の学習内容の理解度を認識し, 定期試験での問題解決に対応できる知識を習得する。
10月28日	石田 祥己	ユニット5: 金属の基礎	1) 金属の特性を説明する。 2) 合金の特性を説明する。 3) 合金の種類を列記する。 4) 結晶粒と結晶粒界を説明する。 5) 結晶成長を説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
11月4日	石田 祥己	ユニット6：合金Ⅰ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯科用合金を分類し列記する。</li> <li>2) 貴金属の基本的性質を説明する。</li> <li>3) 铸造用金合金の組成と性質を説明する。</li> <li>4) 加工用金合金の組成と性質を説明する。</li> <li>5) 陶材焼付用合金の特徴を列記する。</li> <li>6) 銀合金組成の特徴を説明する。</li> <li>7) 金銀パラジウム合金を説明する。</li> <li>8) インジウム添加銀合金およびその他の銀合金について述べる。</li> </ol>
11月11日	石田 祥己	ユニット7：合金Ⅱ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 非貴金属合金の特徴を列記する。</li> <li>2) コバルトクロム合金を説明する。</li> <li>3) チタンおよびチタン合金について説明する。</li> <li>4) ステンレス鋼について説明する。</li> <li>5) 磁性合金について説明する。</li> </ol>
11月18日	石田 祥己	ユニット8：演習問題および解説	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 小テストによりユニット5～7の学習内容の理解度を認識し、定期試験での問題解決に対応できる知識を習得する。</li> </ol>
11月25日	石田 祥己	ユニット9：歯科用ワックス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ワックスの所要性質を説明する。</li> <li>2) ワックスを使用目的により分類する。</li> <li>3) ワックスの組成、特性を説明する。</li> <li>4) ワックスの使用上の注意点を列記する。</li> </ol>
12月2日	三浦 大輔	ユニット10：埋没材	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 石膏系埋没材を分類する。</li> <li>2) 混水比や使用条件による性質の変化を説明する。</li> <li>3) 硬化膨張および熱膨張について説明する。</li> <li>4) リン酸塩系埋没材の組成と特性を述べる。</li> <li>5) その他の埋没材の取り扱い方と特性を述べる。</li> </ol>
12月9日	三浦 大輔	ユニット11：歯科精密铸造・铸造理論と工程	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) パターン製作について説明する。</li> <li>2) 铸込温度と铸型温度の関係を説明する。</li> <li>3) 铸型の加熱速度と方法について説明する。</li> <li>4) 融解金属の流動性と湯流れの基礎を説明する。</li> <li>5) 铸造収縮と寸法補償について説明する。</li> <li>6) 铸造体が不完全な場合の欠陥について説明する。</li> </ol>
12月16日	青柳 有祐	ユニット12：合金の加工と熱処理	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 歯科用合金の加工による諸性質の変化を説明する。</li> <li>2) 焼きなましと再結晶による変化を説明する。</li> <li>3) 熱処理の意義と操作について説明する。</li> <li>4) 歯科用合金の熱処理法を説明する。</li> </ol>
12月23日	三浦 大輔	ユニット13：演習問題および解説	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 小テストにより全範囲の学習内容の理解度を認識し、定期試験での問題解決に対応できる知識を習得する。</li> </ol>

# 組織学

火曜日 13:10~14:40

## 本学期的学習目標 (GIO)

前学期で学んだ細胞と組織の基本構造を基に、人体を構成している諸器官の細胞や組織の構造と機能を理解し、臨床歯学を修得するための基礎知識を身につける。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

阿部和厚・牛木辰男 著

組織学

改訂20版

南山堂

## 担当者一覧

菊池憲一郎, 辻村麻衣子, 池田利恵

## 学習方略

- 講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [60%]       論述試験 [30%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 (プレ・ポストテスト [10%])

## オフィスアワー

日時: 毎週火曜日 16:30~18:00

場所: 本館6階 解剖学第2講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月30日	池田 利恵	ユニット1: オリエンテーション, 消化器系, 消化管 (口腔, 咽頭, 食道)	1) 組織学の概要を説明する。 2) 消化管の基本構造について記述する。 3) 口腔の基本構造について述べる。 4) 咽頭の基本構造について説明する。 5) 食道の微細構造と機能について述べる。
10月7日	池田 利恵	ユニット2: 消化器系, 消化管 (胃, 小腸, 大腸)	1) 胃の微細構造と機能について述べる。 2) 小腸の微細構造と機能について述べる。 3) 大腸の微細構造と機能について述べる。
10月14日	池田 利恵	ユニット3: 消化器系, 消化腺 (肝臓, 膵臓)	1) 消化腺の基本構造について記述する。 2) 肝臓の微細構造と機能について述べる。 3) 膵臓の微細構造と機能について述べる。
10月21日	池田 利恵	ユニット4: 演習	1) ユニット1~3の学習内容を再確認し, 問題解決に対応できる知識を説明する。 2) 修得した知識を記述する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月28日	菊池憲一郎	ユニット5：内分泌器（1）	1) 内分泌器の基本構造について説明する。 2) 下垂体の微細構造と機能について述べる。 3) 甲状腺の微細構造と機能について述べる。
11月4日	菊池憲一郎	ユニット6：内分泌器（2）	1) 上皮小体の微細構造と機能について述べる。 2) 副腎の微細構造と機能について述べる。 3) 胃腸に分布する内分泌細胞について述べる。
11月11日	辻村麻衣子	ユニット7：呼吸器系（気管）	1) 呼吸器系に属する器官の基本構造について述べる。 2) 気管の微細構造と機能について述べる。
11月18日	菊池憲一郎	ユニット8：呼吸器系（肺），喫煙と健康	1) 肺の微細構造と機能について述べる。 2) 喫煙が健康にもたらす影響を説明する。
11月25日	菊池憲一郎	ユニット9：泌尿器系	1) 泌尿器系に属する器官の名称について述べる。 2) 泌尿器系に属する器官の基本構造について述べる。 3) 腎臓の微細構造と機能について述べる。
12月2日	菊池憲一郎	ユニット10：生殖器系	1) 男性生殖器の微細構造と機能について説明する。 2) 女性生殖器の微細構造と機能について説明する。 3) 卵胞形成と月経周期を述べる。
12月9日	菊池憲一郎	ユニット11：感覚器（1） 皮膚とその付属器	1) 皮膚を構成する組織について述べる。 2) 皮膚の付属器である爪，毛，皮膚腺の組織構造について述べる。 3) 皮膚の感覚受容器と体性感覚の神経路について述べる。
12月16日	菊池憲一郎	ユニット12：感覚器（2） 視覚器	1) 視覚器の基本構造について述べる。 2) 眼の微細構造と機能を説明する。
1月6日	菊池憲一郎	ユニット13：感覚器（3） 平衡聴覚器	1) 平衡聴覚器の基本構造について述べる。 2) 外耳の微細構造を述べる。 3) 中耳の微細構造を説明する。 4) 内耳を構成する骨迷路と膜迷路の構造について述べる。

# 地域連携・在宅医療概論

火曜日 14:50~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

患者が居住する地域の中で自分らしい生活を送るために必要な支援体制と、在宅における歯科医療を理解するために、地域における医療・福祉・保健などの実際を学習し、将来の臨床で必要な多職種連携と地域包括ケアの知識を身につける。

## 教科書・参考書

### 著者・編集 書名

著者・編集	書名	版	出版社
菊谷 武	歯科と栄養が出会うとき 診療室から始める！フレイル予防の食事指導	第1版	医歯薬出版
米山 武義	口にかかわるすべての人のための誤嚥性肺炎予防	第1版	医歯薬出版
日本障害者歯科学会	小児在宅歯科医療の手引き	第1版	医歯薬出版
菊谷 武	実践！在宅摂食嚥下リハビリテーション診療 (MB Medical Rehabilitation No.267 増刊号)	第1版	全日本病院出版会
大井 裕子	〈暮らしの中の看取り〉準備講座	第1版	中外医学社

## 担当者一覧

田村文誉, 菊谷 武, 山田裕之, 宮下直也, 水越新人, 今井庸子, 梅津糸由子, 小方清和, 白野美和, 児玉実穂, 石井良昌, 福井智子, 大井裕子, 吉田光由, 久野彰子, 米山武義, 五島朋幸

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [70%]     論述試験 [20%]     口頭試験 [--%]     レポート [10%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 毎週火曜日授業終了後 または 附属病院口腔リハビリテーション科へ連絡  
 場所: 授業終了後は講義室 または 附属病院口腔リハビリテーション科

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月30日	菊谷 武 山田 裕之	ユニット1: 大学附属クリニックにおける地域ハブ拠点が行なう地域連携・在宅医療の現状	1) 地域包括ケアにおける歯科の役割を述べる。(A-7-1)-③) 2) 地域連携の意義について述べる。(A-5-1)-①, (A-5-1)-②, (A-5-1)-③, (E-5-1)-⑦) 3) 在宅医療の意義について述べる。(A-5-1)-①, (A-5-1)-②, (A-5-1)-③, (E-5-1)-⑦) 4) 口腔リハビリテーション多摩クリニックの活動を説明する。(E-5-1)-⑤, (E-5-2)-③)
10月7日	宮下 直也 水越 新人	ユニット2: 地域におけるスペシャリストニーズデンティストリー	1) 有病児・障害児の歯科医療について説明する。(E-5-2)-③) 2) 有病児・障害児の歯科医療と地域連携を述べる。(A-7-1)-③) 3) 医療ソーシャルワーカーの役割を説明する。(G-4)-③)
10月14日	田村 文誉 今井 庸子	ユニット3: 小児在宅医療と医療的ケア児の理解	1) 小児在宅歯科医療活動と地域連携を説明する。(E-2-4)-(11)-②, (E-5-2)-②, (E-5-2)-③, (E-5-2)-④, (E-5-2)-⑤, (E-5-2)-⑥) 2) 在宅医療が必要な小児の特徴を述べる。(E-2-4)-(1)-①, (E-2-4)-(11)-②, (E-5-2)-①) 3) 医療的ケアについて説明する。(E-5-2)-⑤, (E-5-2)-⑥)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月21日	町田 麗子 梅津糸由子	ユニット4：小児在宅歯科医療の実際	1) 小児在宅歯科医療における摂食嚥下の支援を説明する。(E-5-2)-⑤, (E-5-2)-⑥) 2) 小児在宅歯科医療における歯科診療を説明する。(E-5-2)-①, (E-5-2)-②, (E-5-2)-③, (E-5-2)-④)
10月28日	小方 清和	ユニット5：小児医療拠点病院における歯科の役割	1) 小児拠点病院における小児歯科の機能について説明する。(E-5-2)-③, (E-5-2)-④, (E-6-②) 2) 小児医療拠点病院における歯科の役割を述べる。(E-6-②) 3) 小児医療との連携について説明する。(E-6-②)
11月4日	白野 美和	ユニット6：日本歯科大学大学新潟病院における歯科訪問診療	1) 歯科教育機関における歯科訪問診療について説明する。(E-5-1)-⑦) 2) 地方型歯科訪問診療の留意点を記述する。(E-5-1)-⑥) 3) 大学附属病院の機能について述べる。(E-5-1)-⑥, (E-5-1)-⑦)
11月11日	児玉 実穂 石井 良昌	ユニット7：高齢者歯科医療を行うための地域医療支援病院における歯科の活動	1) 歯科教育機関における歯科訪問診療について説明する。(E-5-1)-⑦) 2) 附属病院における在宅歯科医療活動を説明する。(E-5-1)-⑨) 3) 地域医療支援病院について述べる。(A-7-1)-②) 4) 地域医療支援病院における歯科の役割を述べる。(A-7-1)-⑤) 5) NSTについて説明する。(E-5-1)-⑩)
11月18日	福井 智子	ユニット8：地域口腔保健センターにおける在宅歯科医療	1) 口腔保健支援センターと歯科医療の関係を述べる。(A-7-1)-③) 2) 地域の口腔保健センターにおける在宅歯科医療活動について説明する。(A-7-1)-②)
11月25日	大井 裕子 菊谷 武	ユニット9：在宅・ホスピスにおける緩和ケアのアプローチと在宅歯科医療	1) 死の過程を説明する。(A-5-1)-⑦) 2) 緩和ケアについて述べる。(A-5-1)-⑦) 3) 地域連携におけるホスピスや在宅緩和ケアの役割を説明する。(A-5-1)-⑦) 4) 人生の最終段階での歯科医療者の関わりを述べる。(A-5-1)-⑦) 5) 終末期における口腔の変化と対応について説明する。(A-5-1)-⑦), (E-2-3)-④), (E-5-1)-⑥)
12月2日	吉田 光由 菊谷 武	ユニット10：病院歯科における急性期入院患者に対する歯科の役割	1) 急性期リハビリテーションが必要な患者の歯科医療について説明する。(E-5-1)-②), (E-5-1)-⑤), (E-5-1)-⑥) 2) 医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明する。(E-6-②)
12月9日	久野 彰子	ユニット11：医学部付属病院における周術期等口腔機能管理	1) 医科病院における院内多職種連携、および地域連携について述べる。(A-5-1)-②, (A-5-1)-③, (E-6-②), (E-6-③) 2) 周術期等口腔機能管理について説明する。(E-6-②)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
12 月 16 日	米山 武義	ユニット12：地域包括ケアシステムにおける歯科医療	1) 地域連携について説明する。 (A-5-1)-①, A-5-1)-②, A-5-1)-③, E-5-1)-⑦) 2) 在宅医療について説明する。 (A-5-1)-①, A-5-1)-②, A-5-1)-③, E-5-1)-⑦) 3) 地域包括ケアにおける歯科の役割を述べる。 (A-7-1)-③)
1 月 6 日	五島 朋幸	ユニット13：地域に根差した歯科訪問診療	1) 一次歯科医療者が行う歯科訪問診療を述べる。 (E-5-1)-⑦) 2) 一次歯科医療に必要な多職種との連携の必要性を述べる。(A-5-1)-②, A-5-1)-③, E-5-1)-⑦) 3) 都市型歯科訪問診療の留意点を記述する。 (E-5-1)-⑥, 5-1)-⑦)



## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医学と歯科医療を理解するために必要な生体の正常機能（全身機能および口腔機能）に関する具体的な知識を修得する。

### 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
岩田幸一, 井上富雄, 舩橋 誠, 加藤隆史 編	基礎歯科生理学	第7版	医歯薬出版
黒川 清, 春日雅人, 北村 聖, 大西宏明 編	臨床検査データブック [コンパクト版]	第12版	医学書院

### 担当者一覧

佐伯周子, 肖 黎, 橋爪那奈, 福田智英, 山田好秋, 杉浦むつみ

### 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

### 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [70%]       論述試験 [20%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 (中間試験 [10%])

### オフィスアワー

日時: 月~金曜日 16:30~17:30  
場所: 本館5階 生理学講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月24日	山田 好秋	ユニット1: 摂食・嚥下・嘔吐	1) 嚥下反射を説明する。 2) 嘔吐反射を説明する。 3) 摂食・嚥下中枢と関連する末梢神経の機構を説明する。 4) 嚥下関連筋の働きについて説明する。
10月1日	杉浦むつみ	ユニット2: 耳鼻咽喉領域の機能	1) 耳の生理について具体的に説明する。 2) 鼻の生理について具体的に説明する。 3) 口腔・咽頭の生理について具体的に説明する。
10月8日	橋爪 那奈	ユニット3: 呼吸	1) 呼吸の概念を説明する。 2) 肺の形態と機能を具体的に述べる。 3) 肺におけるガス交換を説明する。 4) 呼吸調節機構を具体的に列挙する。
10月15日	佐伯 周子	ユニット4: 運動制御	1) 運動系の構成を列記する。 2) 反射について説明する。 3) 大脳皮質連合野と大脳皮質運動野について説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月22日	福田 智英	ユニット5：咀嚼と筋電図	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 咀嚼筋について列記する。</li> <li>2) 顎運動の神経機構について記述する。</li> <li>3) 顎反射について説明する。</li> <li>4) 咀嚼の意義と制御機構を説明する。</li> </ol>
10月29日	橋爪 那奈	ユニット6：内分泌①	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 視床下部ホルモンを列記し、説明する。</li> <li>2) 下垂体前葉ホルモンの分類を説明する。</li> <li>3) 下垂体後葉ホルモンについて記述する。</li> <li>4) インスリンとグルカゴンの作用を対比する。</li> <li>5) 甲状腺ホルモンについて説明する。</li> <li>6) 副腎皮質ホルモンと副腎髄質ホルモンについて説明する。</li> </ol>
11月5日	橋爪 那奈	ユニット7：内分泌②	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 消化管ホルモンについて説明する。</li> <li>2) 内分泌疾患を評価する。</li> <li>3) 性ホルモンについて記述する。</li> <li>4) 生殖器系の構成を説明する。</li> <li>5) 性ホルモンの分泌器官と作用を説明する。</li> <li>6) 女性ホルモンの分泌と性周期の関係を説明する。</li> <li>7) 受精から着床までの流れを説明する。</li> <li>8) ヒトの性の決定について説明する。</li> </ol>
11月12日	佐伯 周子	ユニット8：中間試験	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 前回までの学習内容を整理・再確認する。</li> </ol>
11月19日	肖 黎	ユニット9：消化と吸収	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 三大栄養素の消化と吸収について具体的に記述する。</li> <li>2) 口腔から大腸におよぶ消化吸収過程について具体的に説明する。</li> <li>3) 胃・小腸および大腸の運動について具体的に述べる。</li> </ol>
11月26日	佐伯 周子	ユニット10：血液①（血球・血漿）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 血液と血漿の組成を分類する。</li> <li>2) 血球・血漿の機能を列挙する。</li> <li>3) 造血機構を説明できる。</li> <li>4) 白血病を評価する。</li> </ol>
12月3日	佐伯 周子	ユニット11：血液②（止血機序・血液型）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 血小板の機能を説明する。</li> <li>2) 血液凝固・線溶系および止血機序を説明する。</li> <li>3) 血液型を分類する。</li> <li>4) 輸血時の交叉適合試験を説明する。</li> <li>5) 血友病の病態を記述する。</li> </ol>
12月10日	肖 黎	ユニット12：中枢神経系	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大脳皮質の機能局在について述べる。</li> <li>2) 調節中枢について説明する。</li> </ol>
12月17日	肖 黎	ユニット13：体温調節	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 体温の調節機序を説明する。</li> <li>2) 体温調節中枢を説明する。</li> <li>3) 熱産生について説明する。</li> </ol>

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医学・医療の基礎を生化学的・分子生物学的基盤に立脚して理解するために、生体における主要な代謝経路と遺伝物質の存在様式・異常・検査法について考察する。

### 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

P. C. Champ他 著, 石崎泰樹 他 訳	イラストレイテッド生化学	第8版	丸善
--------------------------	--------------	-----	----

### 担当者一覧

美原希美, 千葉忠成, 根岸 翼

### 学習方略

- 講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

### 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [70%]       論述試験 [30%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

### オフィスアワー

日時: 毎週月曜日 17:00~18:00

場所: 本館6階 生化学講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月24日	千葉 忠成	ユニット1: ビタミン	1) ビタミンを分類する。 2) ビタミンの化学構造と生理作用を記述する。 3) ビタミン欠乏症を列記する。 4) ビタミンの栄養学的意義を述べる。
10月1日	千葉 忠成	ユニット2: アミノ酸代謝	1) アミノ酸の合成経路を説明する。 2) アミノ酸の再利用と代謝経路を説明する。 3) 尿素回路を説明する。 4) アミノ酸代謝の異常による疾患を列記する。
10月8日	千葉 忠成	ユニット3: 核酸代謝	1) 核酸の生合成経路を列記する。 2) 核酸の再利用と代謝経路を説明する。
10月15日	美原 希美	ユニット4: 遺伝物質としての核酸	1) セントラルドグマを説明する。 2) DNAとRNAの化学構造を比較する。 3) ヌクレオソームを説明する。 4) 染色体の構造を記述する。
10月22日	美原 希美	ユニット5: ゲノムDNAの複製	1) ゲノムDNAの複製様式を説明する。 2) 複製フォークの構造を述べる。 3) 複製フォークで働く分子の機能を具体的に述べる。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
10月29日	美原 希美	ユニット6：遺伝子発現の制御	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) プロモーター，エンハンサーおよびサイレンサーを説明する。</li> <li>2) RNAポリメラーゼの種類と働きを比較する。</li> <li>3) クロマチンのリモデリングを述べる。</li> <li>4) エピジネティックな遺伝子発現の制御を説明する。</li> <li>5) 基本転写因子とTATAボックスを説明する。</li> </ol>
11月5日	美原 希美	ユニット7：RNAのプロセッシング	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) RNAの種類と構造を列記する。</li> <li>2) mRNAのプロセッシングを説明する。</li> <li>3) mRNAの選択的スプライシングを記述する。</li> <li>4) 真核細胞と原核細胞のmRNAの違いを説明する。</li> </ol>
11月12日	美原 希美	ユニット8：RNAの翻訳	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) コドンの特徴を記述する。</li> <li>2) 翻訳のメカニズムを説明する。</li> <li>3) アミノアシルtRNAを説明する。</li> <li>4) mRNAのコード領域を説明する。</li> </ol>
11月19日	美原 希美	ユニット9：タンパク質の翻訳語修飾と分泌機構	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 翻訳語修飾の種類と特徴を記述する。</li> <li>2) シグナル配列と特別輸送との関連を説明する。</li> <li>3) タンパク質の分泌機構を説明する。</li> </ol>
11月26日	根岸 翼	ユニット10：遺伝子の異常と修復	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 遺伝子の再構成と点突然変異を説明する。</li> <li>2) 遺伝子異常の修復を述べる。</li> <li>3) 癌遺伝子，プロト癌遺伝子および癌抑制遺伝子を説明する。</li> <li>4) 一塩基多型（SNP）を述べる。</li> </ol>
12月3日	根岸 翼	ユニット11：分子生物学的実験法-1	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ポリメラーゼ連鎖反応（PCR）を説明する。</li> <li>2) 逆転写酵素と制限酵素を記述する。</li> <li>3) ベクターとcDNAクローニングを説明する。</li> <li>4) RNA干渉を説明する。</li> <li>5) 遺伝子組換え動物を述べる。</li> </ol>
12月10日	根岸 翼	ユニット12：分子生物学的実験法-2	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 逆転写PCR法を説明する。</li> <li>2) リアルタイムPCR法を説明する。</li> <li>3) qRT-PCR法を説明する。</li> <li>4) RNA発現解析の方法を述べる。</li> <li>5) タンパク質発現解析法を説明する。</li> </ol>
12月17日	美原 希美	ユニット13：遺伝子検査法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) DNA塩基配列決定法を説明する。</li> <li>2) 制限酵素断片長多型（RFLP）とマイクロサテライト多型を述べる。</li> <li>3) マイクロアレイを述べる。</li> <li>4) 遺伝子診断と遺伝子治療を説明する。</li> </ol>

# 生化学実習

水曜日 13:10~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医学・医療の基礎を分子レベルから理解するために、タンパク質の精製・構造解析、酵素活性測定を実施する。また、唾液成分の検出・分子生物学の基本操作などを実習し、生体成分の機能を修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

生化学講座 編	生化学実習書	2025年版	
---------	--------	--------	--

## 担当者一覧

千葉忠成, 美原希美, 根岸 翼, 今井一志, 水沼秀樹, 宮澤 淳, 岡崎真大, 橋本孝志, 笹谷和伸, 山崎典孝, 柴田征紀, 宮坂芳弘, 毛呂文紀, 薄葉博史

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [30%]       論述試験 [--%]       口頭試験 [--%]       レポート [50%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [20%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 毎週火曜日 16:30~17:30

場所: 本館6階 生化学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月24日	千葉 忠成	ユニット1: 実習ガイダンス	1) 実験器具および機器の基本的な操作を説明する。 2) 実習を安全に行う心得を説明する。 3) 廃棄物, 使用後の器具の取り扱いを説明する。 4) レポートの書き方を説明する。
10月1日	千葉 忠成	ユニット2: ビウレット法によるタンパク質の比色定量	1) ビウレット法による比色定量を実施する。 2) 試料中のタンパク質濃度を計算する。 3) 定量実験における留意点を具体的に述べる。
10月8日	千葉 忠成	ユニット3: イオン交換クロマトグラフィーによるタンパク質の精製	1) クロマトグラフィーによるタンパク質精製の原理を説明し, 実施する。 2) 精製したタンパク質を同定する。 3) 精製したタンパク質の回収率を求める。
10月15日	千葉 忠成	ユニット4: SDS-ポリアクリルアミドゲル電気泳動 (PAGE) 法によるタンパク質の分離	1) SDS-PAGE法を実施する。 2) SDS-PAGE法の原理を説明する。 3) タンパク質分解酵素について考察する。
10月22日	千葉 忠成	ユニット5: タンパク質の一次構造解析	1) 薄層クロマトグラフィーを実施する。 2) コラーゲンに含まれるアミノ酸を同定する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
10月29日	千葉 忠成	ユニット6：酵素の最適pHと最適温度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 酵素の最適pHを測定する。</li> <li>2) 酵素の最適温度を測定する。</li> <li>3) 酵素反応の最適条件について考察する。</li> </ol>
11月5日	千葉 忠成	ユニット7：酵素の反応速度と阻害剤	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 反応速度を測定する。</li> <li>2) Lineweaver-Burk式を適用する。</li> <li>3) Km値とVmaxを計算する。</li> <li>4) 酵素のインヒビターについて説明する。</li> </ol>
11月12日	千葉 忠成	ユニット8：ELISA法による微生物生体物質の検出	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 抗原抗体反応の原理を理解する。</li> <li>2) 抗原抗体反応について酵素免疫測定法を用いて、実習する。</li> <li>3) 病原体の拡散を追跡することで、集団内での感染症集団発生について考察する。</li> </ol>
11月19日	千葉 忠成	ユニット9：唾液成分の検出	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ムチンのアミノ糖を検出する。</li> <li>2) ムチンのシアル酸を検出する。</li> <li>3) 合成基質を用いて、唾液アミラーゼの活性を求める。</li> <li>4) 唾液アミラーゼの機能を調べる。</li> </ol>
11月26日	千葉 忠成	ユニット10：口腔内の乳酸産生	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 酵素法によりグルコース含嗽唾液内に含まれる乳酸を定量する。</li> <li>2) グルコース量に対する乳酸生成率を計算する。</li> <li>3) 唾液・プラークにおける乳酸産生の意義を具体的に述べる。</li> <li>4) う蝕に対する乳酸酸s寧の意義を具体的に述べる。</li> </ol>
12月3・10日	千葉 忠成	ユニット11：バイオインフォマテックス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 塩基配列に対応する遺伝子を同定する。</li> <li>2) 遺伝子のアミノ酸配列を決定し、タンパク質の同定を行う。</li> <li>3) 同定されたタンパク質の機能を調べる。</li> <li>4) 同定されたタンパク質と疾患について考察する。</li> </ol>
12月3・10日	千葉 忠成	ユニット12：ゲノムDNAの遺伝子解析-1	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 遺伝子組み換え実験の概念と注意点を説明する。</li> <li>2) 遺伝子の塩基配列解析の原理を説明する。</li> <li>3) PCRによる遺伝子の増幅の原理を理解し、実施する。</li> <li>4) DNAの制限酵素による切断を説明する。</li> </ol>
12月17日	千葉 忠成	ユニット13：ゲノムDNAの遺伝子解析-2	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) プラスミド DNA の機能と発現されたタンパク質を観察する。</li> <li>2) アメロゲニン遺伝子の遺伝子座の特徴と応用について考察する。</li> <li>3) アメロゲニン遺伝子の STR(Shirt Tandem Repeat) 解析を実施する。</li> </ol>

## 本学期的学習目標 (GIO)

薬理学各論一般を理解し、歯科医師国家試験に対応した薬理学各論の諸知識を習得する。

### 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

筒井健夫, 著	歯科薬物療法学	第8版	一世出版
戸苅彰史, 他編	現代歯科薬理学	第7版	医歯薬出版

### 担当者一覧

筒井健夫, 鳥居大祐, 神 唯, 矢久保修嗣, 伊藤亜希, 二宮一智

### 学習方略

- 講義   
  示説 (デモンストレーション)   
  グループワーク (PBL, TBLを含む)   
  実習  
 その他 ( )

### 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [60%]   
  論述試験 [30%]   
  口頭試験 [--%]   
  レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]   
  シミュレーションテスト [--%]   
  実地試験 [--%]   
  観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]  
 その他 (中間テスト [10%] ※ 定期試験は前期における学習内容を含む。)

### オフィスアワー

日時: 毎週金曜日 16:30~17:30  
 場所: 本館5階 薬理学研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月25日	鳥居 大祐	ユニット1: 薬物の適用上の注意	1) 適用上の留意事項を列挙する。 2) 妊婦, 小児, 高齢者への薬物投与方法を述べる。 3) 全身疾患を有する患者への薬物投与について述べる。 4) 後発医薬品を述べる。 5) 処方せんについて説明する。
10月2日	神 唯	ユニット2: 消毒薬・腐蝕薬・収斂薬	1) 消毒薬の作用機序を述べる。 2) 効果を左右する条件を列挙する。 3) 効力の判定について述べる。 4) 消毒薬を分類する。 5) 各消毒薬について述べる。 6) 腐蝕薬・収斂薬について説明する。
10月9日	鳥居 大祐	ユニット3: 抗炎症薬 (1)	1) 抗炎症薬の分類を列挙する。 2) ステロイド性抗炎症薬の作用機序および薬理作用を述べる。
10月16日	筒井 健夫	ユニット4: 抗炎症薬 (2)	1) 非ステロイド性抗炎症薬の作用機序・薬理作用について述べる。 2) 抗リウマチ薬・抗アレルギー薬について述べる。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月23日	神 唯	ユニット5：鎮痛薬	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 麻薬性・非麻薬性鎮痛薬の分類を列挙する。</li> <li>2) 麻薬性・非麻薬性鎮痛薬の作用機序・薬理作用について述べる。</li> <li>3) オータコイドについて説明する。</li> </ol>
10月30日	筒井 健夫	ユニット6：麻酔薬	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 麻酔前投薬を述べる。</li> <li>2) 全身麻酔薬の分類を述べる。</li> <li>3) 局所麻酔薬の分類を述べる。</li> <li>4) 局所麻酔薬の薬理作用を説明する。</li> <li>5) 局所麻酔薬中毒を述べる。</li> </ol>
11月6日	二宮 一智	ユニット7：交換講義（新潟生命歯学部薬理学講座）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 病原微生物の種類による感染症薬の分類と特徴を説明する。</li> <li>2) 抗菌薬投与による血中濃度，抗菌作用の関係を説明する。</li> <li>3) 抗菌薬の種類，作用機序，副作用について説明する。</li> <li>4) 抗真菌薬の分類，作用機序について説明する。</li> <li>5) 抗ウイルス薬の分類，作用機序について説明する。</li> </ol>
11月13日	鳥居 大祐	ユニット8：感染症治療薬（1）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 抗菌薬の薬理作用について述べる。</li> <li>2) 抗菌薬の作用機序と特徴について述べる。</li> </ol>
11月20日	鳥居 大祐	ユニット9：感染症治療薬（2）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 各抗菌薬における特徴，作用機序，および薬理作用を述べる。</li> <li>2) 抗真菌薬と抗ウイルス薬の種類と特徴，適用方法を説明する。</li> </ol>
11月27日	鳥居 大祐	ユニット10：悪性腫瘍治療薬（1）・中間試験	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 悪性腫瘍治療薬の種類と作用機序を説明する。</li> <li>2) 悪性腫瘍治療薬の特徴を述べる。</li> <li>3) これまでの学習内容を整理・再確認する。</li> </ol>
12月4日	鳥居 大祐	ユニット11：悪性腫瘍治療薬（2）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 悪性腫瘍治療薬の種類と作用機序を説明する。</li> <li>2) 悪性腫瘍治療薬の特徴を述べる。</li> </ol>
12月11日	伊藤 亜希 筒井 健夫	ユニット12：漢方薬（1）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 漢方医学の概要について説明する。</li> <li>2) 口腔領域における生薬，漢方薬の応用について述べる。</li> </ol>
12月18日	矢久保修嗣	ユニット13：漢方薬（2）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 生薬からつくられる漢方薬を紹介する。</li> <li>2) 現代医療の中の漢方の役割を説明する。</li> <li>3) 漢方薬の副作用を述べる。</li> </ol>

## 本学期的学習目標 (GIO)

国際社会に適応する歯科医師になるために、歯科医療現場に必要な英語によるコミュニケーション能力を身につけ、将来の歯科治療を想定した歯科医療英語を修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

Neil Patel 監, 影山幾男  
羽村 章 編

歯科学生のための医学英語

第2版

学建書院

## 担当者一覧

横山知美, 石田祥己

## 学習方略

- 講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [40%]       論述試験 [30%]       口頭試験 [--%]       レポート [20%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 (小テスト [10%])

## オフィスアワー

日時: 木曜日 12:10~12:20

場所: 142講堂, 本館4階歯科理工学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月25日	横山 知美	ユニット1: Leukoplakia ①	1) 英文を読んで、内容について記述する。 2) 学んだ言葉について説明する。 3) 白板症について、具体的に述べる。
10月2日	横山 知美	ユニット2: Leukoplakia ②	1) 白板症に関する言葉について、列挙する。 2) 英語を聞いて、内容について記述する。 3) 学んだ知識について、一般化する。
10月9日	横山 知美	ユニット3: Herpes Simplex①	1) 英文を読んで、内容について記述する。 2) 学んだ言葉について、説明する。 3) 単純ヘルペスウイルスについて、具体的に述べる。
10月16日	横山 知美	ユニット4: Herpes Simplex②	1) 単純ヘルペスウイルスに関する言葉について、列挙する。 2) 英語を聞いて、内容について記述する。 3) 学んだ知識について一般化する。
10月23日	横山 知美	ユニット5: The Temporomandibular Joint①	1) 英文を読んで、内容について記述する。 2) 英語を聞いて、内容について記述する。 3) 顎関節に関する言葉について、列挙する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月30日	横山 知美	ユニット6：the Temporomandibular Joint②	1) 英文を読んで、内容について記述する。 2) 顎関節症について、英語で具体的に述べる。
11月6日	横山 知美	ユニット7：Sialolithiasis① (9:00-10-30)	1) 英文を読んで、内容について記述する。 2) 唾液腺に関する言葉について、列挙する。 3) 唾石症について英語で列挙する。
11月13日	横山 知美	ユニット8：Sialolithiasis②	1) 英文を読んで、内容について記述する。 2) 唾石症について、英語で具体的に述べる。
11月20日	横山 知美	ユニット9：Inferior Alveolar Nerve Block①	1) 顎顔面の構造について、英語で列挙する。 2) 英語を聞いて、内容について記述する。 3) 学んだ言葉について説明する。
11月27日	横山 知美	ユニット10：Trigeminal Neuralgia①	1) 脳神経に関する言葉について、英語で列挙する。 2) 専門用語について、英語で具体的に述べる。 3) 学んだ言葉について説明する。
12月4日	横山 知美	ユニット11：Trigeminal Neuralgia②	1) 三叉神経痛に関する言葉について、英語で列挙する。 2) 英文を読んで、内容について記述する。 3) 専門用語について、英語で具体的に述べる。
12月11日	石田 祥己	ユニット12：Paranasal Sinusitis①	1) 副鼻腔炎に関する言葉について、英語で列挙する。 2) 専門用語について、英語で具体的に述べる。 3) 学んだ言葉について説明する。
12月18日	石田 祥己	ユニット13：Paranasal Sinusitis②	1) 学んだ言葉について、英語で説明する。 2) 病院内での会話について、英語で具体的に述べる。

# 生理学実習

木曜日 13:10~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

歯科医学と歯科医療を理解するために人および動物を用いた生理学実習を行うことにより、講義で学んだ様々な生理学の知識を統合し、体験を加味して生体機能に関する考え方を身につける。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
日本歯科大学生命歯学部 生理学講座	生理学実習書	令和7(2025) 年度版	日本歯科大学
岩田幸一, 井上富雄, 舩橋 誠, 加藤隆史 編	基礎歯科生理学	第7版	医歯薬出版

## 担当者一覧

佐伯周子, 肖 黎, 井出良治, 橋爪那奈, 小林菊生, 加藤健一, 萩原和明, 福田智英, 山田好秋, 小林則之, 河内嘉道, 平島潤子, 池田水脈, 吉田清輝, 角井 淳, 牧野真也, 牧野尚子, 岩崎浩介, 北島躍一郎

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [30%]     論述試験 [20%]     口頭試験 [--%]     レポート [40%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [10%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 月~金曜日 16:30~17:30

場所: 本館5階 生理学講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月25日	佐伯 周子	ユニット1: イントロダクション, オンデマンド実習「神経の興奮(複合活動電位)」	1) 生理学実習の目的を述べる。 2) 動物実験を行う上での注意点を列記する。 3) 生命倫理を説明する。 4) 複合活動電位を測定する。 5) 伝導速度の算出法と機能を説明する。 6) 不応期を述べる。 7) 細胞内電位の記録法を述べる。 8) 静止膜電位の成因を説明する。 9) 活動電位の発生とNa <sup>+</sup> との関係を説明する。
10月2日	橋爪 那奈	ユニット2: 脈拍と血圧の測定	1) 脈拍と血圧の測定法を説明する。 2) 収縮期・拡張期血圧を測定する。 3) 血圧測定に影響する諸因子と血圧調節機序を説明する。
10月9日	小林 則之	ユニット3: 味覚 (全口腔法)	1) 味覚検査の方法について述べる。 2) 検知閾値と認知閾値について説明する。 3) 味覚異常の原因, 診察, 検査, 診断を説明する。
10月16日	小林 菊生	ユニット4: 触・圧点の分布, 二点弁別閾	1) 痛・触・圧・温・冷覚の測定法を説明する。 2) 二点弁別閾の測定法を説明する。 3) 感覚の順応と適刺激について説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月23日	牧野 尚子	ユニット5：摂食と嚥下	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 嚥下の意義と制御機構を説明する。</li> <li>2) 顎・顔面の構造と働きについて説明する。</li> <li>3) 嚥下反射の機序を説明する。</li> <li>4) 嚥下と関連して起こる誤嚥や窒息について述べる。</li> </ol>
10月30日	佐伯 周子	ユニット6：酸素飽和度と呼吸ガス分圧，腱反射と原始反射	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 動脈血酸素飽和度測定（パルスオキシメトリ）の目的と適応を列挙する。</li> <li>2) 筋収縮力と運動単位との関係を述べる。</li> <li>3) 加重による筋収縮力の変化と完全強縮を測定する。</li> <li>4) 筋の長さが収縮力に与える効果を測定する。</li> </ol>
11月6日	北島躍一郎	ユニット7：心電図検査	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 心電図の記録法について述べる。</li> <li>2) 心電図の概念を説明する。</li> <li>3) 心電図の結果と疾患の関係を説明する。</li> </ol>
11月13日	井出 良治	ユニット8：スパイロメトリーによる換気機能検査	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 呼吸測定法について説明する。</li> <li>2) 呼吸機能測定結果と疾患の関係を説明する。</li> </ol>
11月20日	佐伯 周子	ユニット9：オンデマンド実習「骨格筋の収縮	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 筋収縮力と運動単位との関係を述べる。</li> <li>2) 加重による筋収縮力の変化と完全強縮を測定する。</li> <li>3) 筋の長さが収縮力に与える効果を測定する。</li> </ol>
11月27日	加藤 健一	ユニット10：口腔機能検査，聴覚と振動覚（音叉を使った測定）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 唾液腺の開口部を説明する。</li> <li>2) 唾液の基礎分泌量を説明する。</li> <li>3) 唾液腺に各種の刺激物質を与えたときの分泌量の変化を評価する。</li> <li>4) 唾液分泌能検査を説明する。</li> <li>5) 聴覚受容器について説明する。</li> </ol>
12月4日	福田 智英	ユニット11：咀嚼筋筋電図の記録，顎反射	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 閉口筋，開口筋の活動を筋電図として測定する。</li> <li>2) 咬合力増大に関わる因子を列記する。</li> <li>3) 下顎張反射の反射経路を述べる。</li> <li>4) 咀嚼運動と末梢性感覚入力との関係を述べる。</li> </ol>
12月11日	佐伯 周子	ユニット12：まとめ・質疑応答・レポート返却	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ユニット2～11の内容を説明する。</li> <li>2) 疑問点を列記する。</li> </ol>
12月18日	佐伯 周子	ユニット13：実習試験	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 実習項目に学んだ内容を記述する。</li> </ol>

## 本学期的学習目標 (GIO)

寄生物としての微生物を理解するために、前期に引き続き、細菌、さらに真菌の形態、構造、機能、病原因子を理解し、疾患の診断、治療、及び予防を行うのに必要な知識を修得する。また、ウイルスの基本的性状、病原性と感染によって生じる病態を理解する。

## 教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

石原和幸 他 編集

口腔微生物学

第8版

学建書院

## 担当者一覧

高橋幸裕, 田代有美子

## 学習方略

- 講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験 [50%]       論述試験 [40%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 (小テスト [10%])

## オフィスアワー

日時: 月~金 16:30~18:00  
 場所: 本館5階 微生物学研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月26日	田代有美子	ユニット1: グラム陰性菌-1	1) <i>Neisseria</i> 属, <i>Pseudomonas</i> 属, <i>Legionella</i> 属, <i>Brucella</i> 属, <i>Bordetella</i> 属の基本的な構造と性状を説明する。 2) 上記菌属の感染機構と病原性を説明する。 3) 上記菌属による感染症の種類, 予防, 診断および治療を説明する。
10月3日	田代有美子	ユニット2: グラム陰性菌-2	1) 腸内細菌科の基本的な構造と性状を説明する。 2) <i>Shigella</i> , <i>Escherichia</i> の感染機構と病原性を説明する。 3) <i>Shigella</i> , <i>Escherichia</i> が原因となる感染症の種類, 予防, 診断および治療を説明する。
10月10日	田代有美子	ユニット3: グラム陰性菌-3	1) 腸内細菌科の基本的な構造と性状を説明する。 2) <i>Salmonella</i> および <i>Yersinia</i> の感染機構と病原性を説明する。 3) <i>Salmonella</i> および <i>Yersinia</i> が原因となる感染症の種類, 予防, 診断および治療を説明する。
10月17日	田代有美子	ユニット4: グラム陰性菌-4	1) <i>Vibrio</i> 属, <i>Haemophilus</i> 属, <i>Campylobacter</i> 属, <i>Helicobacter pylori</i> の基本的な構造と性状を説明する。 2) 上記菌属の感染機構と病原性を説明する。 3) 上記菌属による感染症の種類, 予防, 診断および治療を説明する。
10月24日	田代有美子	ユニット5: スピロヘータ・リケッチア・クラミジア・マイコプラズマ	1) スピロヘータ, リケッチア, クラミジア, マイコプラズマを分類する。 2) 上記菌群の基本的な構造と性状を説明する。 3) 上記菌群の感染機構と病原性を説明する。 4) 上記菌群が原因となる感染症の種類, 予防, 診断および治療を説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月31日	高橋 幸裕	ユニット6：真菌・原虫学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 真菌・原虫の基本的な構造と性状を説明する。</li> <li>2) 真菌・原虫と他の微生物を比較する。</li> <li>3) 真菌・原虫を分類する。</li> <li>4) 医学的に重要な真菌・原虫の基本的な構造と性状を説明する。</li> <li>5) 医学的に重要な真菌・原虫の感染機構と病原性を説明する。</li> <li>6) 医学的に重要な真菌・原虫感染症の種類、予防、診断および治療を説明する。</li> </ol>
11月7日	高橋 幸裕	ユニット7：ウイルスの基本構造	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ウイルス学の歴史を説明する。</li> <li>2) ウイルスの基本的な構造と性状を説明する。</li> <li>3) ウイルスを分類する。</li> <li>4) ウイルスの感染経路を述べる。</li> </ol>
11月14日	高橋 幸裕	ユニット8：ウイルスの増殖様式	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ウイルスの宿主細胞への吸着，侵入，脱殻について説明する。</li> <li>2) ウイルスの遺伝子複製の過程を説明する。</li> <li>3) ウイルスの放出・出芽，およびプロセッシングを説明する。</li> </ol>
11月21日	高橋 幸裕	ユニット9：ウイルス感染症の診断と予防および抗ウイルス薬	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ウイルス感染症の診断について説明する。</li> <li>2) ウイルス感染症の予防接種について述べる。</li> <li>3) ウイルスの消毒に対する抵抗性について説明する。</li> <li>4) 抗ウイルス薬について説明する。</li> </ol>
11月28日	高橋 幸裕	ユニット10：DNAウイルス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) DNAウイルスの基本的な構造と性状を説明する。</li> <li>2) ヘルペスウイルス科の基本的な構造と性状を説明する。</li> <li>3) ヘルペスウイルス科の感染機構と病原性を説明する。</li> <li>4) ヘルペスウイルス感染症の予防，診断および治療を説明する。</li> </ol>
12月5日	高橋 幸裕	ユニット11：RNAウイルス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) RNAウイルスを分類する。</li> <li>2) RNAウイルスの基本的な構造と性状を説明する。</li> <li>3) RNAウイルスの感染機構と病原性を説明する。</li> <li>4) RNAウイルス感染症の種類，予防，診断および治療を説明する。</li> </ol>
12月12日	高橋 幸裕	ユニット12：レトロウイルス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) レトロウイルスを分類する。</li> <li>2) レトロウイルス科の基本的な構造と性状を説明する。</li> <li>3) HIV，HTLV-1の感染機構と病原性を説明する。</li> <li>4) AIDS，ATLの予防，診断および治療を説明する。</li> </ol>
12月19日	高橋 幸裕	ユニット13：肝炎ウイルス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 肝炎ウイルスを分類する。</li> <li>2) 肝炎ウイルスの基本的な構造と性状を説明する。</li> <li>3) 肝炎ウイルスの感染機構と病原性を説明する。</li> <li>4) ウイルス性肝炎の予防，診断および治療を説明する。</li> </ol>

# 解剖学

金曜日 10:40~12:10

## 本学期的学習目標 (GIO)

医の倫理・生命の尊厳をふまえ、人体の正常構造と機能について系統的に学び、人体の正常構造を3次元的に理解する。  
解剖学用語の基礎を学び、人体を構成する脈管・神経・内臓・内分泌の正常構造と機能および頭頸部発生学の基礎を理解する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
前田健康 他編	口腔解剖学	第2版	医歯薬出版
阿部伸一 他編	口腔顎顔面解剖ノート	第1版	学建書院
坂井建雄 他訳	プロメテウス解剖学アトラス 口腔・頭頸部	第2版	医学書院
伊藤 隆 著	解剖学講義	第3版	南山堂
竹内修二 著	解剖トレーニングノート	第7版	医学教育出版社

## 担当者一覧

春原正隆, 井出吉昭, 鈴木金吾, 前田祐貴, 伊藤正裕, 井出吉信

## 学習方略

講義       示説 (デモンストレーション)       グループワーク (PBL, TBLを含む)       実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [90%]       論述試験 [10%]       口頭試験 [--%]       レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]       シミュレーションテスト [--%]       実地試験 [--%]       観察記録 [--%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]       その他 ( [--%] )

## オフィスアワー

日時: 毎週金曜日 16:30~18:00  
場所: 本館3階 解剖学第1講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月26日	前田 祐貴	ユニット1: 呼吸器系	1) 呼吸器系の構造と役割を説明する。
10月3日	鈴木 金吾	ユニット2: 感覚器, 内分泌器, 泌尿器, 生殖器	1) 感覚器の構造と役割を説明する。 2) 内分泌器の構造と働きを説明する。 3) 泌尿器の構造と働きを説明する。 4) 生殖器の構造と働きを説明する。
10月10日	伊藤 正裕	ユニット3: 内分泌器, 泌尿器, 生殖器	1) 内分泌器の構造と働きを説明する。 2) 泌尿器の構造と働きを説明する。 3) 生殖器の構造と働きを説明する。
10月17日	春原 正隆	ユニット4: 頭部の筋 (表情筋, 咀嚼筋)	1) 頭部の筋 (表情筋, 咀嚼筋) の起始, 停止, 作用, 神経支配を説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標 (SB0s)
10月24日	春原 正隆	ユニット5：頸部の筋（舌骨上筋，舌骨下筋，胸鎖乳突筋，斜角筋）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 頸部の筋（舌骨上筋，舌骨下筋，胸鎖乳突筋，斜角筋）の起始，停止，作用，神経支配を説明する。</li> <li>2) 頸部三角の名称と構成する筋を説明する。</li> </ol>
10月31日	井出 吉昭	ユニット6：頭頸部の神経（三叉神経）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 三叉神経が関与する副交感神経節を説明する。</li> <li>2) 眼神経の走行とその枝を説明する。</li> <li>3) 上顎神経の走行とその枝を説明する。</li> <li>4) 下顎神経の走行とその枝を説明する。</li> </ol>
11月7日	井出 吉昭	ユニット7：頭頸部の神経（顔面神経）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 顔面神経の走行とその枝を説明する。</li> </ol>
11月14日	春原 正隆	ユニット8：頭頸部の動脈1	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 外頸動脈の分枝の名称を列挙する。</li> <li>2) 頸動脈について説明する。</li> </ol>
11月21日	春原 正隆	ユニット9：頭頸部の動脈2	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 浅側頭動脈を説明する。</li> <li>2) 舌動脈を説明する。</li> <li>3) 顔面動脈を説明する。</li> <li>4) その他の外頸動脈の分枝を説明する。</li> </ol>
11月28日	春原 正隆	ユニット10：頭頸部の静脈とリンパ系	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 頭頸部の主要な静脈を説明する。</li> <li>2) 頭頸部のリンパ節の部位とリンパ管の経路を説明する。</li> </ol>
12月5日	井出 吉昭	ユニット11：頭頸部の神経（舌咽神経，迷走神経，副神経，舌下神経，頸神経など）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 舌咽神経の走行とその枝を説明する。</li> <li>2) 迷走神経の走行とその枝を説明する。</li> <li>3) 副神経の走行とその枝を説明する。</li> <li>4) 舌下神経の走行とその枝を説明する。</li> <li>5) 頸神経の走行とその枝を説明する。</li> </ol>
12月12日	春原 正隆	ユニット12：総括	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学習項目を列記する。</li> <li>2) 各項目の理解度を調べる。</li> <li>3) 修得した知識を適用する。</li> </ol>
12月19日	井出 吉信	ユニット13：摂食・嚥下の解剖学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 摂食・嚥下の概要を説明する。</li> <li>2) 摂食・嚥下に関与する筋の名称と作用を説明する。</li> <li>3) 摂食・嚥下に関与する神経の名称を列挙する。</li> </ol>

# 解剖学実習

金曜日 13:10~16:20

## 本学期的学習目標 (GIO)

後期の人体解剖学実習は新たなご遺体をもちいて、頭頸部、特に顎顔面領域の解剖を主に行うことにより、その基本構造を総合的に理解し、観察力、表現力、協調性を養い、かつ、医の倫理・生命の尊厳について修得する。

## 教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
J. W. Rohen 他著	解剖学カラーアトラス	原書第8版	医学書院
前田健康 他編	口腔解剖学	第2版	医歯薬出版
阿部伸一 他編	口腔顎顔面解剖ノート	第1版	学建書院
坂井建雄 他訳	プロメテウス解剖学アトラス 口腔・頭頸部	第2版	医学書院
伊藤 隆 著	解剖学講義	第3版	南山堂
竹内修二 著	解剖トレーニングノート	第7版	医学教育出版社

## 担当者一覧

春原正隆, 井出吉昭, 鈴木金吾, 前田祐貴, 上野隆治, 山下恭嗣, 鶴澤一弘, 丹沢秀樹, 倉治竜太郎

## 学習方略

講義     示説 (デモンストレーション)     グループワーク (PBL, TBLを含む)     実習  
 その他 ( )

## 成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験 [40%]     論述試験 [--%]     口頭試験 [--%]     レポート [--%]  
 ポートフォリオ [--%]     シミュレーションテスト [--%]     実地試験 [--%]     観察記録 [10%]  
 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]     その他 (提出物 [50%])

## オフィスアワー

日時: 毎週金曜日 16:30~18:00  
 場所: 本館3階 解剖学第1講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月26日	春原 正隆	ユニット1: 剥皮と皮下組織の除去	1) 頭頸部の浅層の筋, 血管, 神経を剖出する。 2) 人体の指標となる部位を体表で調べる。 3) 体幹, 上・下肢の剥皮を実施する。
		<講堂> 画像問題演習	
10月3日	春原 正隆	ユニット2: 開胸・開腹	1) 開胸・開腹を実施する。 2) 心臓・肺の位置を確認する。 3) 腹部内臓の位置を確認する。 4) 心臓の構造を調べる。 5) 心膜・胸膜および腹膜について説明する。 6) 食道の位置を調べる。 7) 肺と縦隔の位置を確認する。
		<講堂> 画像問題演習	
10月10日	春原 正隆	ユニット3: 神経叢, 交感神経幹, リンパ本幹の剖出	1) 頸・腕・腰神経叢を剖出する。 2) 交感神経幹と主要な神経節を剖出する。 3) 右リンパ本幹, 胸管の形態と静脈への流入部を確認する。
		<講堂> 講義 (復習): 泌尿器, 生殖器, 内分泌器 (鈴木金吾)	
10月17日	春原 正隆	ユニット4: 頭頸部浅層の観察	1) 主要な表情筋を剖出する。 2) 口角周囲の表情筋の作用を調べる。 3) 顔面神経の枝を剖出する。 4) 耳下腺神経叢を剖出する。 5) 耳下腺管の走行を確認する。 6) 舌骨上下筋群を剖出する。
		<講堂> 画像問題演習	

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10 月 24 日	春原 正隆	ユニット5：頭頸部の深層の観察	1) 咀嚼筋を剖出する。 2) 咀嚼筋の作用を調べる。 3) 下顎神経咀嚼筋枝を剖出する。 4) 翼突筋静脈叢を剖出する。 5) 顎動脈の枝を剖出する。
		<講堂> 画像問題演習	
10 月 31 日	春原 正隆	ユニット6：顎関節の観察	1) 顎関節の関節包を剖出する。 2) 外側靭帯の形態を調べる。 3) 顎関節の関節腔を開放する。 4) 関節円板を観察する。 5) 外側翼突筋と顎関節との関係を明らかにする。
		<講堂> 画像問題演習	
11 月 7 日	春原 正隆	ユニット7：開頭と脳の摘出	1) 開頭を実施する。 2) 脳を摘出する。 3) 脳の区分について説明する。 4) 脳神経の通路を内頭蓋底で説明する。
		<講堂> 画像問題演習	
11 月 14 日	春原 正隆	ユニット8：頭頸部の半裁	1) 頭頸部を半裁する。 2) 頭部内臓の区分を正中断面で説明する。 3) 頸部内臓の区分を正中断面で説明する。
		<講堂> 画像問題演習	
11 月 21 日	春原 正隆	ユニット9：頭頸部深部の形態観察	1) 正中断面で内・外翼突筋を剖出する。 2) 頬筋の走行とはたらきを説明する。 3) 正中断面で下顎神経の枝を説明する。 4) 正中断面で顎動脈の枝を説明する。
		<講堂> 特別講義：顎顔面臨床解剖学（鶴澤一弘先生，千葉大学大学院医学研究院 先端がん治療学研究講座 口腔科学）	
11 月 28 日	春原 正隆	ユニット10：口腔および口腔隣接部の形態観察	1) 正中断面で鼻腔の形態について説明する。 2) 口腔を区分する。 3) 口腔前庭と固有口腔の構造について説明する。 4) 口蓋の形態について説明する。 5) 舌の形態について説明する。
		<講堂> 画像問題演習	
12 月 5 日	春原 正隆	ユニット11：口峽，咽頭，喉頭の観察	1) 口峽の構成要素を列挙する。 2) 咽頭を区分する。 3) 咽頭の形態的特徴について説明する。 4) 喉頭を構成する軟骨と筋について説明する。 5) 発声器の構造について説明する。 6) 喉頭に分布する神経を剖出する。
		<講堂> 特別講義：歯周外科と臨床的解剖（倉治竜太郎先生，歯周病学講座）	
12 月 12 日	春原 正隆	ユニット12：感覚器	1) 外眼筋を剖出する。 2) 眼球に分布する神経を調べる。 3) 中耳の構造を調べる。 4) 内耳の構造を調べる。
		<講堂> 特別講義：安全で侵襲の少ない下顎・頸部領域手術に必要な解剖学的基礎知識（丹沢秀樹先生，千葉大学名誉教授）	
12 月 19 日	春原 正隆	ユニット13：まとめ	1) 献体の意義を説明する。 2) 剖出部の名称を列挙する。 3) CBT形式で実習試験を実施する。

## 実務経験のある教員等による授業科目について\_臨床系科目抜粋【生命歯学部】

科目名 (授業の方法)	時間数	単位数	実務担当教員	どのような実務経験を持つ教員がどのような教育を行うか
全部床義歯補綴学（講義）	39	3	隅田由香、横山正起、上杉華子、小見野真梨恵、水橋 史	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。咀嚼系の形態と機能を理解するために、基礎学科で履修した知識を整理するとともに、歯科補綴学の概念および基礎的知識を修得する。また、無歯顎における形態と機能の変化に対する全部床義歯補綴の考え方を理解する。
部分床義歯補綴学（実習）	45	1	隅田由香、横山正起、石田鉄光、中島邦久、上杉華子、小見野真梨恵、秋山 洋、岡山浩美、川名弘剛、渡邊慧子、寺沼樹里、山川茉里萌、安部結美、寺辺やよひ、萩原 彰、岩波行紀、高草木章、仁村秀由喜、小島健一郎、芳賀景嗣、塙 悦郎、荒川一郎、千切一恵、田村響子、倉持淳子、齋藤真子、仁村可奈、門田千晶	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。部分的な歯の欠損によって失われた咀嚼系の機能と形態を回復し、口腔組織の健康状態を保つために、部分的な歯の欠損によって生じる咀嚼系の形態と機能の変化に関する診査、診断、部分床義歯補綴に関連する基本的な臨床操作を修得する。
部分床義歯補綴学（講義）	39	3	隅田由香、横山正起、上杉華子、小見野真梨恵、芳賀景嗣、中島邦久	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。部分的無歯顎の形態と機能を理解し、それに対する部分床義歯の考え方および実際に関する基本的事項について修得する。
内科学（講義）	19.5	1.5	谷 樹昌、渡辺尚彦、古畑 升、権 寧博	大学病院等における医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯科学を修めるにあたり、内科学の基礎知識と内科学疾患の留意すべき点を理解する。

統合臨床基礎学（実習）	44	1	<p>前田宗宏、横澤 茂、五味治徳、柵木寿男、里見貴史、篠原健一郎、岩田 洋、梅津糸由子、鈴木章弘、内藤 明</p> <p>【医療面接】大津光寛、井出吉昭、大澤銀子、北村和夫、仲谷 寛、西田太郎、前野雅彦、石川結子、石田鉄光、代田あづさ、滑川初枝、光安廣記、内田裕子、安田麻子、窪田大祐、川本沙也華、根岸 翼、土持 宇、岡田智雄</p> <p>【補綴】新谷明一、八田みのり、渡邊 慧、横山正起、上杉華子、小見野真梨恵、秋山仁志、石川結子</p> <p>【歯内】西田太郎、北村和夫、関谷美貴、三枝慶祐、杉田浩一、濱田康弘、山崎孝子、小柳圭史、中山竣太郎、小林 鷹、梶原瑞貴、村山文康</p> <p>【修復】小川信太郎、河本 芽、越田清祐、河合貴俊、代田あづさ、杉山怜央、中原由絵、滑川初枝、新田俊彦、林 孝太郎、原 学、前野雅彦、光安廣記、村田卓也</p> <p>【口腔外科】松野智宣、宮坂孝弘、澁井武夫、岡村武志、田中惇平、稲田 諒、小柳昌央</p> <p>【救命救急】安田麻子、小谷田貴之、我妻由梨、村松健司、亀岡 亮、小柳圭史、筒井友花子、酒井有沙、今井智明、阿部恵一、小林清佳、黒岩 聖、大野泰子、清原歩実、石井通勇、篠原健一郎、井坂栄作</p> <p>【放射線】浅海利恵子、神尾 崇、河合泰輔、齋藤圭輔、永浦まどか、林 宗廣</p> <p>【臨床(小児)】村松健司、新見嘉邦、亀岡 亮、芦澤みなみ、西村 歩、出口 崇、宇佐見智里、伊藤春子、河野 南、千 瑛美</p> <p>【臨床(技工)】齋藤勝紀、竹井 潤、岩田健悟、山澤武司、中村美保、飯島孝守、芝崎雅一</p>	<p>大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。第5学年での附属病院における臨床参加型実習において附属病院各科診療室で患者と円滑に接するために、各基礎実習で履修した知識と技能を整理し、臨床実習生として必要な技能・態度を修得する。</p>
全部床義歯補綴学（実習）	39	1	<p>隅田由香、横山正起、石田鉄光、中島邦久、上杉華子、小見野真梨恵、秋山 洋、児玉実穂、岡山浩美、小池未来、川名弘剛、渡邊慧子、寺沼樹里、山川菜里萌、安部結美、亘理奈保子、寺辺やよひ、萩原 彰、岩波行紀、高草木 章、仁村秀由喜、小島健一郎、芳賀景嗣、塙 悦郎、荒川一郎、千切一恵、田村響子、倉持淳子、齋藤眞子、仁村可奈、門田千晶</p>	<p>大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。無歯顎者の全部床義歯補綴に対応するため、製作の実際を修得し、あわせて臨床操作に必要な器具・材料、ならびに器械の基本的な正しい取り扱いを身につける。</p>
小児歯科学（実習）	39	1	<p>苅部洋行、河上智美、田中聖至、名生幸恵、加藤雄一、岡本亜祐子、萩原洋子、米山博己、石井伸明、酒寄浩章、鈴木淳子、小口莉代、内川喜盛、白瀬敏臣、梅津糸由子、村松健司、新見嘉邦、亀岡 亮、山口みなみ、西村 歩、出口 崇、杉澤香恵子、宇佐見智里、伊藤春子、河野 南、千 瑛美、合場奈美、萩原栄和、黒田暁洋、林 陽佳、増田理紗、三宅真帆、波多野宏美、松崎祐樹、三井園子、宮山友紀、松本紗耶、山崎てるみ、松尾恭子</p>	<p>大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。小児の歯科的諸問題に対応するために、患児の一口腔単位の診察、診断、治療計画に基づいた治療と口腔管理の実際を理解し、臨床において求められる知識・技能・態度を修得する。</p>

小児歯科学（講義）	39	3	苅部洋行、河上智美、田中聖至、名生幸恵、加藤雄一、岡本重祐子、小口莉代、鎌田弘明、前田美穂、小方清和、楊 秀慶、荻原栄和	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。成長発達の過程にある小児の顎口腔系器官の形態と機能の成育を目的とし、それを阻害する口腔疾患の予防と治療を行うために、小児歯科診療に必要な精神発達、身体の成長、および全身と口腔の機能的な発達について理解し、さまざまな口腔疾患の予防と治療法の原則を修得する。
障害者歯科学（講義）	19.5	1	内川喜盛、大島克郎、加藤雄一、亀岡 亮、西脇恵子、田村文誉、町田麗子、石井隆資、山崎てるみ、村松健司、阿部恵一、白瀬敏臣、梅津糸由子	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯科医療において障害児・者へ必要な医療を行うために、障害者歯科学の基本理念、社会と健康、疾病、障害との関係や地域保健医療について理解し、発達障害者、身体障害者、精神障害者の概要と歯科治療および歯科保健管理について認識する。また、言語・摂食・嚥下障害の概要とリハビリテーションの対応や障害者の行動調整法、障害者歯科治療におけるリスク評価と安全管理を習得する。さらには、地域医療連携の重要性と、二次医療・三次医療の位置づけを認識する。
歯内療法学（実習）	39	1	前田宗宏、西田太郎、関谷美貴、三枝慶祐、村山文康、北村和夫、佐藤友則、濱田康弘、小柳圭史、小林 鷹、中山竣太郎、古田賢太郎、秋知美穂、石川 泰、磯田浩太、興地麗子、小倉陽子、梶原瑞貴、草間博文、小玉裕樹、杉田浩一、関口晃弘、高橋千明、立浪秀幸、辻野貴史、角掛 愛、永井圭子、永島万理子、前田朋己、松島正和、森山 旭、山崎孝子、吉野真弘	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯内療法学を臨床で実践するために、各種の治療法を実施し、臨床における実際の診療ポジションや治療の術式、手順を修得する。
歯内療法学（講義）	58.5	4.5	前田宗宏、西田太郎、関谷美貴、三枝慶祐、興地隆史	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯髄疾患および根尖性歯周疾患の治療法を理解するために、必要な知識を整理し、歯内療法臨床の基本的術式に関する知識を修得する。
歯周病学（実習）	44	1	沼部幸博、伊藤 弘、関野 愉、村樫悦子、五十嵐寛子、倉治竜太郎、林 英昭、沼部真理子、伊藤明子、川村浩樹、大崎忠夫、清信浩一、濱田 亮、高橋亮一、藤田佑三、大久保美佐、石井マイケル大宜、上原 直、和田祐季、三代紗季、宮下幸大、山崎 桂、仲谷 寛、小川智久、鈴木麻美、大澤銀子、加藤智崇、角田憲祐、小玉美也子、齋藤敦史、横山知美、美濃直輝、山本陸矢、阪 奈津子、杉山祐太、岩崎直弥、岡部俊秀、我妻瑞穂、井上修輔、大塚 源、小沼 晃、金森行泰、國分貴子、斉藤文重、斉藤洋一、眞下絢香、亘理 瑛、吉田 聡、石黒一美	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。講義で学んだ理論を踏まえ、歯周病学の臨床における基本的術式を理解するために、必要な基礎的臨床技能および態度を修得する。
歯周病学（講義）	58.5	4.5	沼部幸博、伊藤 弘、関野 愉、村樫悦子、五十嵐寛子、倉治竜太郎、石黒一美、佐藤 聡	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯周病学における全体像（各論）を理解するために、関連の知識を修得し、その要諦と基本事項を学習しながら、臨床で必要な基本術式の知識を身につける。

歯冠補綴学（実習）	39	1	五味治徳、新谷明一、八田みのり、渡邊 慧、黒田聡一、藤島 伸、岡田智雄、石田鉄光、横澤 茂、大津光寛、山瀬 勝、我妻由梨、石川結子、小池未来、丸茂義二、大内秀明、遠山佳之、松尾 豊、長田博史、海渡智義、濱 仁隆、米澤弥生、落合真美、曾布川裕介、磯 亮輔、軍司さおり	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯冠修復の基本的事項を確認するために、各種補綴装置の支台歯形成、印象採得、作業模型の製作、支台築造、プロビジョナルクラウンの製作を通して、臨床において求められる知識・技能・態度を修得する。
歯冠補綴学（講義）	58.5	4.5	五味治徳、新谷明一、片桐慎吾、八田みのり、黒田聡一、秋山仁志、柳井智恵、鈴木貴規、海渡智義、山崎長郎、上田一彦、松田哲治	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯冠補綴学の概要を理解するために、基礎科目で履修した知識を整理し、歯科補綴臨床で求められる知識を修得する。
歯科麻酔・救急処置（講義）	39	3	砂田勝久、塩谷伊毅、今井智明、大橋 誠、筒井友花子、小谷田貴之、酒井有沙、島村直宏	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。患者に苦痛を与えない安全な歯科治療を行うために、患者の評価法、局所麻酔法、精神鎮静法、救急処置に関する知識を修得する。また注意すべき全身疾患を認識し、偶発症発生の予防法と対処法を知る。
歯科放射線学（講義）	58.5	4.5	河合泰輔、浅海利恵子、神尾 崇、永浦まどか、岩田 洋、林 宗廣、柿本直也、飯久保正弘、前野雅一、西川慶一、香川豊宏	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。これまでの知識に加え、歯・顎・顔面領域における特異的な疾患、放射線の人体への影響、がんの放射線治療など、臨床における様々な放射線の活用法を理解すると同時に、病院実習に向けて歯科放射線学の知識の確認を行うために、演習を通じて知識の総まとめを行う。
歯科硬組織修復学（実習）	39	1	柵木寿男、安部美紀、石井通勇、石川明子、小川信太郎、河合貴俊、川本沙也華、北 大樹、河本 芽、神山通孝、古賀俊平、越田清祐、近藤健示、代田あづさ、辛 美輝、杉山征三、高橋彬文、多村美希、角掛 愛、中西生美、中原由絵、中村彰一郎、滑川初枝、新田俊彦、野上 勇、林 孝太郎、原 学、前野雅彦、松嶋千佳、丸山沙絵子、丸山智重、光安廣記、宮本相和子、村田卓也、矢野賢都、義隆伸之、杉山怜央	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。臨床の現場で求められる基本的な修復方法を体得するために、講義から得た知識に基づき、臨床において頻用される代表的な修復に際し求められる技法・取組みについて修得する。さらに、診療参加型臨床実習において求められる医療人として必須の態度・習慣や技能を身につける。
歯科硬組織修復学（講義）	58.5	4.5	柵木寿男、前野雅彦、河本 芽、貴美島 哲、林 孝太郎、越田清祐、原 学、小川信太郎、村田卓也、河合貴俊、新田俊彦、江黒 徹、中村昇司	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。硬組織疾患に対する直接・間接修復法を理解するために、応用する器材の種類・組成を整理し、各修復法の特徴、適応症・禁忌症、窩洞の特徴、修復手順などについて修得し、あわせて変色歯・破折歯・象牙質知覚過敏への対応を身につける。
歯科矯正学（実習）	39	1	新井一仁、磯部真帆、小川絢大、奥田美沙、嘉悦菜美、片岡彩乃、勝浦杏奈、呉屋 龍、古賀一輝、今野喜文、齋藤絵里佳、佐藤瑤子、柴崎絢香、鈴木章弘、鈴木美智子、世古口なつね、舘 晶彦、土持 宇、土井百合香、栃木啓佑、富田理絵、仲谷 豊、久 星子、藤田真澄、藤田由希子、藤原由梨、松原 萌、真鍋 望、矢澤 貴、若山雄一郎、和田健一郎、渡邊大悟、渡邊浩幸	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯科医師として不正咬合を治療する際の必要な要件を身につけるために、基本的な矯正装置の製作および症例分析を通して、臨床において求められる知識・技能・態度を修得する。

歯科矯正学（講義）	39	3	新井一仁、土持 宇、鈴木章弘、栃木啓佑、柴崎絢香、舘 晶彦、中村俊弘	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。前年度に修得した歯科矯正学の基本的知識と不正咬合の診断に関する知識をふまえて、歯科医師として適切な矯正歯科医療を提供するために必要となる治療に関する知識を修得する。
高齢者歯科学（講義）	19.5	1.5	菊谷 武、児玉実穂、磯田友子、高橋賢晃、田村文誉、元開早絵、戸原 雄、西脇恵子、筒井健夫	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。高齢者に対する歯科における対応を理解するために、高齢者を取り巻く環境や身体、特性、心理、行動に関する事項を学習しながら、臨床で必要な知識を身につける。
口腔内科学（講義）	39	3	石垣佳希、松野智宣、澁井武夫、田中淳平、小柳昌央、稲田 諒、戸谷収二、安田卓史	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。有病者歯科学においては、歯科に関連する全身疾患と有病者に対する歯科医療を知り、臨床における診断力と対応を身につける。口腔内科学においては、口腔疾患患者の診かた、治療総論、臨床検査、生体機能検査を学び、口腔顎顔面に症状を現す症候群、心因性病態および医療安全と感染予防対策について理解し、臨床における診断力と対応を身につける。
口腔外科の基本手技（実習）	44	1	【口腔外科実習】里見貴史、松野智宣、澁井武夫、岡村武志、稲田 諒、小柳昌央、 莊司洋文、藤城建樹、田中惇平、宮坂彩子、上田康平、岸 碧紀、西崎太郎、黒岩 聖 【歯科麻酔実習】砂田勝久、篠原健一郎、筒井友花子、酒井有沙、島村直宏、三代冬彦、 今井智明、阿部恵一、小林清佳、小谷田貴之、安田麻子、塩谷伊毅、辻本源太郎、 五井貴大、寒竹容子、岩堀泰子、清原歩実、篠原麻緒 【インプラント実習】柳井智恵、小倉 晋、築瀬麻衣子、是澤和人、川上紗和子、 井坂栄作、近澤俊郎、秋山仁志、山瀬 勝	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。臨床実習を安全かつ確実に履修するために、身に付けておくべき口腔外科、歯科麻酔および口腔インプラントの基本手技についての知識、技能および態度を修得する。
口腔外科学（講義）	39	3	里見貴史、田中 彰、澁井武夫、宮坂孝弘、田中惇平、稲田 諒、岡村武志、小柳昌央、宮坂彩子	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。顎・顔面・口腔領域に発症する奇形・変形を主徴とする疾患、外傷、炎症性疾患について、その原因、病態、症状、処置ならびに予後を総合的に理解する。また、各病態の主な疾患の概要を知り、臨床における診断力を身につける。
口腔インプラント学（講義）	19.5	1.5	柳井智恵、小倉 晋、築瀬麻衣子、是澤和人、川上紗和子、松野智宣、秋山仁志、井出吉昭、佐藤 聡	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯の欠損部に対する補綴法の一つであるインプラント治療を理解するために、基礎および臨床科目で修得した知識をもとにインプラントの基本的事項を修得し、臨床例を通して治療の内容を知る。
外科学（講義）	19.5	1.5	櫻井健一、平野智寛、鈴木周平、小豆畑丈夫、藤崎 滋、山本範子、河原弥生、安達慶太、窪田仁美	大学病院等における医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。日常診療で遭遇する医科的問題に対応ができる知識を修得するために、外科の基礎となる総論を理解する。
合計	1074	60.5		

◎単位換算方法・・・大学設置基準を踏まえ、講義15時間・実習45時間で1単位とした（事前学修及び事後学修を含む）。

